

平成28年度 文部科学省

1). 地域学校協働活動の効果的な推進のための普及啓発方法等についての実証的な調査研究

2). 土曜学習応援団が実施している学習プログラムの周知や普及についての調査研究

地域学校協働活動推進 事業報告書

平成29年3月15日

株式会社キャリアリンク

《目次》

1) 地域学校協働活動の効果的な推進のための普及啓発方法等についての実証的な調査研究	
1. 要項	P. 4
2. 全体総括	P. 5
3. 各地区実施報告	
・地域学校協働活動推進フォーラム in 秋田	P. 8
・地域学校協働活動推進フォーラム in つくば	P. 20
・地域学校協働活動推進フォーラム in 岡山	P. 43
2) 土曜学習応援団が実施している 学習プログラムの周知や普及についての調査研究	
1. 要項	P. 58
2. 全体統括	P. 59
3. 実施報告	
・土曜学習応援団による学習プログラムの実施現状と 課題を含めた情報収集、分析	P. 61
・山形における教育フォーラム（分科会）での事例発表	P. 79

テーマ 1
地域学校協働活動の
効果的な推進のための
普及啓発方法等についての
実証的な調査研究

1. 要項

1. 主旨

地域学校協働活動推進のために積極的に参画する企業・団体及び地域人材の啓発推進を図るため、地域学校協働活動実施における課題把握と課題解決につながる先進事例の収集を行い、地域学校協働活動推進のための普及啓発方法のモデルを示す「全国フォーラム」を3地域で開催する。

2. 概要

内容は、参加者の目的に応じ、事例発表やパネルディスカッションやワークショップ等を取り入れた。詳細は以下の通りである。

	①秋田フォーラム	②つくばフォーラム	③岡山フォーラム
日時	2016年11月26日(土) 13:30~16:30	2017年2月4日(土) 9:00~16:00	2017年2月25日(土) 13:30~16:30
会場	ジョイナス	つくば市立谷田部中学校	倉敷市民会館
協力教育委員会	秋田県教育委員会 大館市教育委員会	つくば市教育委員会	岡山県教育委員会 備前市教育委員会 早島町教育委員会
参加人数	72名	第一部：児童・生徒 325名 第二部：165名	85名
第1部	<p>【事例発表】</p> <p>① <u>大館市</u>：ふるさとキャリア教育 子どもハローワークによる地域の取組み</p> <p>② <u>五城目町</u>：まちづくりにつながる学びの場を目指す共創プロジェクト</p> <p>③ <u>東成瀬村</u>：地域社会全体で子どもたちを育てる「学校おたすけ隊」の取組み</p>	<p>【学習プログラム体験】</p> <p>小学校：5プログラム 中学校：10プログラム</p> <p>*土曜学習応援団登録企業より15企業・団体による学習プログラムの実施</p>	<p>【事例発表】</p> <p>① <u>倉敷市</u>：地域協働型体験教育「倉敷『町衆』プロジェクト(マチ・プロ)の取組</p> <p>② <u>備前市</u>：里海・里山ブランド創生をテーマに地域と世代をつなげる地域学校協働活動</p> <p>③ <u>早島町</u>：地域社会全体で子どもたちを育てる「はやしま学・はやしま塾」の取組</p>
第2部	<p>【パネルディスカッション】</p> <p>テーマ 「変わる日本の教育と地域で育てる地域学校協働活動の意義」</p> <p>パネリスト 4名</p>	<p>【事例発表】</p> <p>横浜市立東山田中学校における地域学校協働活動について</p> <p>【地域学校協働活動の事例研究ワークショップ】</p>	<p>【パネルディスカッション】</p> <p>テーマ 「変わる日本の教育と地域で育てる地域学校協働活動の意義」</p> <p>パネリスト 4名</p>

2. 全体総括

地域学校協働活動とは、保護者や地域人材が学校や子供たちの教育活動に参画し、支援を行うのではなく、「学校と地域協働体制の構築」に基づき、双方にかかわる活動に取り組むことが重要である。しかしながら、現時点では十分にその理解がなされないまま、従来の「支援活動」の位置づけでさまざまな活動が展開されているケースが多いのが実情といえる。

今回の調査研究においては、「地域学校協働活動」の本質理解と地域ごとの特性を生かした多様な実践の視点からモデルとなりうる秋田県、岡山県での情報発信型フォーラムと、「地域学校協働活動」に全市での取り組みを検討するつくば市での土曜学習体験と、全校参加のワークショップによるフォーラムを実施した。

また、秋田、岡山のフォーラムにおける両地域各3つの事例紹介では、通常のスライドによる発表に加えて、活動紹介映像を制作、上映した。この6つの事例紹介映像は、文部科学省関連のWEBサイト等で「地域学校協働活動」の本質理解と導入推進のためのモデル事例紹介として広く活用する。

●地域学校協働活動推進フォーラム in 秋田

秋田県教育委員会の積極的な協力を得て、先進的に取り組む大館市、五城目町、東成瀬村の事例を取り上げた。秋田県では、全国学力・学習状況調査上位を継続していることから、学力向上の面での学校教育に注目が集まりがちだが、その背景には学校教育と社会教育、家庭教育の強い連携と、地域を巻き込んだ継続的な次世代育成への取り組み実践があることが、第一部の事例紹介を通じて伝えられた。

第二部のパネルディスカッションでは、地域学校協働活動の本質を伝える構成とし、パネリストには、秋田県教育庁からは義務教育課指導班 副主幹兼班長、大館市からは教育長、五城目町からは五城目小の校長、東成瀬村からは学校コーディネーター、とそれぞれ立場の違う方々に登壇いただき、学校教育と社会教育の連携の意義、子供たちを地域で育てることの重要性について伝えていただいた。

●地域学校協働活動推進フォーラム in つくば

つくば市は、全市での小中連携や先進的なプログラムの導入などの取り組みを行っている反面、地域との連携という視点では、コミュニティスクールが導入され、まさにこれから、地域学校協働活動の取り組みをスタートする段階だったため、次年度以降の具体的な取り組みを後押しするねらいでのフォーラム内容を企画した。

第一部では、土曜日の教育活動として市内の児童・生徒を対象に、先進的な学習プログラムをもつ土曜学習応援団の協力を得て学習プログラムを実施し、外部専門家による社会のテーマを題材とした質の高いプログラムの意義を検証することができた。

第二部では、つくば市内全校から参加した教員、および保護者や地域の方を含め160名の参加により、学校ごとのグループに分かれ、地域における「地域学校協働活動」のあり方について、先進事例の共有と現状分析ワークショップを通して、地域学校協働活動の本質的な価値と必要性について確認することができた。

●地域学校協働活動推進フォーラム in 岡山

岡山では、地域の課題を解決する担い手ともいえる高校生を対象とした多様な学校地域協働活動の事例も取り上げることにした。

第一部の事例として、地域の経済界を巻き込み、3年間を通して体系的な取り組みをしている岡山県立倉敷南高校と、漁協組合と地域創生をテーマに取り組んでいる備前市の事例に加え、規模自治体の特徴を活かした多様な地域参画の仕組みを実践している早島町の3事例から、地域連携のあり方を伝えることができた。

第二部のパネルディスカッションでは、2020年の学習指導要領の改訂による学校現場に求められる変革と関連づけながら、地域学校協働活動の必要性について確認することができた。

- 秋田・岡山フォーラム、つくばフォーラムでの共通アンケートは、以下の結果となり、地域学校協働活動の理解と共に啓発推進を図ることができたといえる。

【3地域アンケート】

Q：次世代の学校・地域創生に向けて、地域学校協働活動の必要性や、地域学校協働本部の有効性が理解できたか。

⇒97%の方が「とても思う」「思う」と回答

Q：地域学校協働本部等による学習支援が、今後ますます広がってほしいと感じたか。

⇒96%の方が「とても思う」「思う」と回答

Q：自分もできることから「地域協働活動」に協力したいと思う。

⇒96%の方が「とても思う」「思う」と回答

また児童・生徒向けに民間企業・団体等によるプログラム実施を見学した教員アンケートからも外部人材を活用した学習支援への希望が高いことも伺え、地域学校協働活動の推進は学校現場の教員にとっても、以下の結果から、高い期待を寄せられていることが再認識できた。

【つくばフォーラム】*教員を対象としたアンケート結果

Q：民間企業・団体等、外部人材が実施するプログラムの有効性が理解できたか。

Q：民間企業・団体等、外部人材による学習支援がますます広がってほしいと感じたか。

⇒共に100%の教員が「とても思う」「思う」と回答

以上のことから、3回のフォーラムを通して、本事業のねらいにそった成果が得られたといえる。

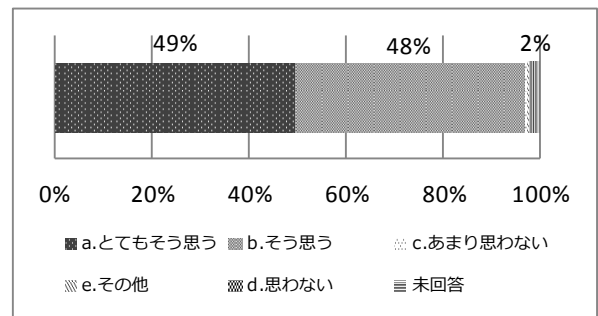
＜アンケートの実施について＞

各フォーラムでは、フォーラム実施による成果を考察するために、アンケートを実施した。ここでは、フォーラム全体の結果を掲載する（各地区でのアンケートについては、「各地区地域学校協働活動推進フォーラム報告」にて掲載する）。

□アンケート結果詳細（3 地域合計）

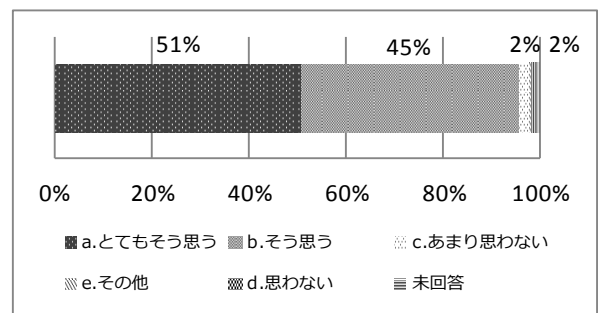
本日のフォーラムに参加して、あらためて、次世代の学校・地域創生に向けて、地域学校協働活動の必要性や、地域学校協働本部の有効性が理解できた。（1つ選択）

回答	回答数	構成比
a.とてもそう思う	116	49%
b.そう思う	112	48%
c.あまり思わない	1	0%
e.その他	1	0%
d.思わない	0	0%
未回答	5	2%
計	235	100%



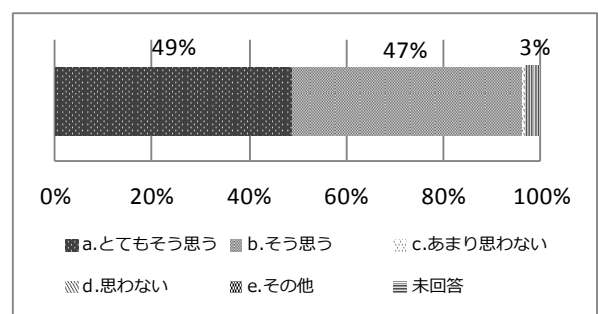
地域学校協働本部等による学習支援が、今後ますます広がってほしいと感じた。（1つ選択）

回答	回答数	構成比
a.とてもそう思う	119	51%
b.そう思う	106	45%
c.あまり思わない	5	2%
e.その他	1	0%
d.思わない	0	0%
未回答	4	2%
計	235	100%



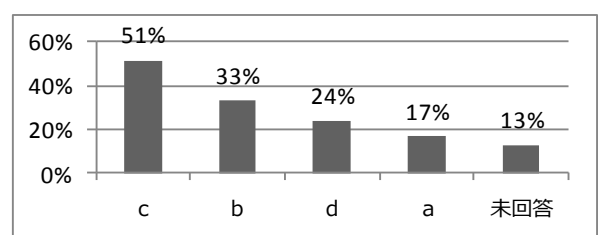
今後、自分もできることから「地域協働活動」に協力したいと思う。（1つ選択）

回答	回答数	構成比
a.とてもそう思う	115	49%
b.そう思う	111	47%
c.あまり思わない	1	0%
d.思わない	1	0%
e.その他	0	0%
未回答	7	3%
計	235	100%



「地域学校協働活動」に協力していくにあたり、課題となることは何ですか。（複数回答可）

回答	回答数	相対度数
c.時間が取れない	121	51%
b.窓口など段取り、手順がわからない	78	33%
d.その他	57	24%
a.自分に何ができるかわからない（テーマや方法など）	40	17%
未回答	31	13%



N=235

3. 地域学校協働活動推進フォーラム

■地域学校協働活動推進フォーラム in 秋田

【概要】

日時	2016年11月26日(土) 13:30-16:30	
会場	ジョイナス 〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町 2-52	
対象	教員、保護者、各地区子どもセンター運営委員、企業・団体、教育委員会 72名	
目的	「子供の未来につながる地域学校協働活動を考える」 多様な経験や技術を持つ人材・企業などの協力により地域学校協働活動を実施している地域の事例を参考に、地域、学校、そして子供たちがどのように変容したか、その成果を共有し、地域学校協働活動の意義と必要性について考える	
実施協力	秋田県教育委員会、大館市教育委員会	
	時間	内容
第1部	13:30～ 13:40	【挨拶・事業主旨説明】
	13:40～ 14:50	【事例発表】 映像8分+事例紹介15分 事例① ふるさとキャリア教育 子どもハローワークによる地域の取組み 大館市教育委員会 学校教育課 課長 山本 多鶴子 氏 事例② まちづくりにつながる学びの場を目指す共創プロジェクト ハバタク株式会社 代表取締役 丑田 俊輔 氏 事例③ 地域社会全体で子どもたちを育てる「学校おたすけ隊」の取組み 東成瀬村学校支援地域本部 地域コーディネーター 高橋 かおる 氏
第2部	15:00～ 16:30	【パネルディスカッション】 「変わる日本の教育と地域で育てる地域学校協働活動の意義」 次期指導要領改訂の動きに合わせて「社会に開かれた教育課程」の本質的理解と、それを支える地域学校協働推進の重要性について理解を深める内容として実施 ●パネリスト ・大館市教育委員会 教育長 高橋 善之 氏 ・秋田県教育庁義務教育課指導班 副主幹(兼)班長 赤川 太 氏 ・五城目町立五城目小学校 学校長 戸部 裕隆 氏 ・東成瀬村学校支援地域本部 地域コーディネーター 高橋 かおる 氏 ●ファシリテーター ・株式会社キャリアリンク 代表取締役 若江 眞紀
	16:30	【挨拶・アンケート記入依頼】

□会場の様子（写真）



挨拶・事業主旨説明



事例①
ふるさとキャリア教育 子ども
ハローワークによる地域の取組み

事例②
まちづくりにつながる学びの場を
目指す共創プロジェクト

事例③
地域社会全体で子どもたちを育てる
「学校おたすけ隊」の取組み



パネルディスカッション

<p>ふるさととキャリア教育</p> <p>子どもハローワークによる地域の取組み</p> <p>2016年11月26日 秋田県 大館市教育委員会</p>	<p>大館市<学校教育推進目標></p> <p>ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開</p> 	<p>大館の子どもたちの実態</p> <p>ズップをそえる 目を開く 集団での学び方 早手やハンドサイン</p> <p>生活の仕方</p> <p>当たり前が当たり前でできている 学びを支える基礎が身に付いている</p>	<p>質の高い授業＝教師の授業力</p> <p>教材や授業の工夫による 考えを表現する楽しさ</p> <p>主体的に学ぶ授業 思考力・判断力・表現力を磨く授業</p> <p>仲間と学ぶことの楽しさ 集団で学び合う授業</p>
<p>大館ふるさととキャリア教育の使命</p>  <p>清潔可能性都市</p>	<p>ふるさと教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさとへの親しみ 生き生きとした活動 <p>キャリア教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 夢や目標をもつ 感動のある学び 体験 体験の行事化 日々の教育活動、授業とのつながりの構築 強い達成感に挑戦 <p>夢をかなえるためには、まず大膽な挑戦が必要だ</p> <p>大館は、大膽な挑戦も、大膽に受け止めてくれる</p> <p>著者の声</p>	<p>ふるさとに生きる基礎を培う ふるさと教育 職業体験</p> <p>自分の人生の理想を描く キャリア教育 夢や目標 動機・職業観</p> <p>融合</p> <p>大館ふるさととキャリア教育</p> <p>少数精鋭の街「大館」を支える人財づくり</p>	<p>大館ふるさととキャリア教育</p> <p>大館地を教室に 市民一人一人</p> <ul style="list-style-type: none"> 大館の良さを知る、身近な人の働き、貢献しようとする姿を知る ふるさとの「ひとものごと」に直接触れる 手応えを実感できる直接体験・実践的キャリア教育 <p>自然の中でできる！ 大館でもできる！</p> <p>園でもできる！ 大館でもできる！</p>
<p>百花繚乱作戦2015</p> <p>企業・地域が行う仕事やイベントのお手伝い、ボランティアへの参加などの「働く体験」を紹介</p> <p>企業からの体験を受け、募集要項を作成</p> <p>子どもハローワーク展示会やHPを通して募集。申込はFAXで。</p>	<p>大人の本気と子どものやる気が地域を変える</p> <p>～きりたんぼまつりを支える1000人のボランティア～</p> <p>本場大館きりたんぼまつり</p> <p>宮文化の継承 郷土への愛着</p> <p>地域貢献の喜び</p> <p>達成感・充実感</p>	<p>大人の本気と子どものやる気が地域を変える</p> <p>～きりたんぼまつりを支える1000人のボランティア～</p> <p>職業体験</p> <p>地域貢献の喜び</p> <p>達成感・充実感</p>	<p>子どもハローワークの設置</p> <p>子どもハローワークの必要性</p> <p>子ども</p> <p>職業 地域社会 大人 自分の未来</p> <p>つなぐハブ機能</p> <p>未来につながる出会い、新しい自分の発見</p>
<p>子どもハローワークの設置</p> <p>企業・地域が行う仕事やイベントのお手伝い、ボランティアへの参加などの「働く体験」を紹介</p> <p>企業からの体験を受け、募集要項を作成</p> <p>子どもハローワーク展示会やHPを通して募集。申込はFAXで。</p>	<p>職場体験の課題</p> <p>学校が実施する「職場体験」の限界</p> <ul style="list-style-type: none"> 0日間の連続の体験 1つの学校では限られた体験のみ 教師の多忙化 <p>現実離れしたままの「夢」</p> <ul style="list-style-type: none"> 届かぬ夢を見ている 働く楽しさや苦労を知らない 働く機会、経験の不足(アルバイト等) 自分の適性やかけ離れた夢 最終的に決めた夢に挑戦 	<p>子どもハローワークのポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> 未来につながる出会いがある 自分が興味のある内容を選べる 地域の役に立てる <p>子どもが地域の中で「働く体験」を通して成長</p>	<p>子どもハローワーク全体像</p> <p>～事業につながる出会い、新しい自分の発見～</p> <p>働く体験</p> <p>働く体験の機会</p> <p>働く体験の場</p> <p>働く体験の場</p> <p>働く体験の場</p>
<p>子どもハローワークの参加の流れ</p> <p>68 大館のふるさとまつり スタッフ募集！</p> <p>1 申し込み</p> <p>2 申し込み</p> <p>3 参加決定書の送付</p> <p>4 当日</p> <p>5 当日</p> <p>6 参加後</p>	<p>子どもハローワークの参加の流れ</p> <p>2 申し込み</p> <p>3 参加決定書の送付</p> <p>4 当日</p> <p>5 当日</p> <p>6 参加後</p>	<p>子どもハローワークの参加の流れ</p> <p>5 当日</p> <p>6 参加後</p> <p>高齢者福祉施設でのお仕事体験</p> <p>地域の公民館まつりで大館市の中学生スタッフ</p>	<p>子どもハローワークの参加の流れ</p> <p>5 当日</p> <p>6 参加後</p> <p>子どもハローワークの仕組み</p> <p>働く体験の機会</p> <p>働く体験の場</p> <p>働く体験の場</p> <p>働く体験の場</p>
<p>子どもハローワークに参加した子どもたちは</p> 	<p>開設に当たっての課題</p> <p>・システムづくりの試行錯誤、受け入れ先の関係・参加</p> <p>受け入れ連絡票</p> <p>参加者名簿</p> <p>・申込者情報</p> <p>・体験受け入れ先情報</p> <p>・学校名、学年、氏名</p> <p>・緊急連絡先、連絡事項</p>	<p>未来につながる出会い～活動の実際～</p> <p>H24年6月30日閉会 63件 1,401人</p> <p>H25年度 99件 2,118人</p> <p>H26年度 167件 2,242人</p> <p>H27年度(H26年11月集) 141件 2,488人</p> <p>※民間企業や商工会等から依頼のイベントスタッフ</p> <p>※高専2年生対象「あこがれの職業と教室」</p> <p>※高専(市立高専)・看護福祉大学</p> <p>※求人財プロジェクト</p> <p>※大学・専門学校校長(兼学部長など)</p> <p>※あずかりサービス(農業・伝統工芸・大工)</p>	<p>子どもの本気が大人を変える！ 地域を変える！ 社会を変える！</p> <p>働く子どもの体験、ルールを守る姿 大人が誇り、愛を注ぎます</p> <p>働く子どもたちの大館を誇りに思う純粋な気持ち 大館で誇りに思っている大人に接して欲しいとお願いし、自分自身も誇りに思える大人</p> <p>働く子どものふるさとキャリア教育に参加・協力 仲間と夢を語り、輝くことを通して「育英会ふるさとキャリア教育」へ</p> <p>ふるさととキャリア教育は、教育現場から市の総合戦略へ</p>
<p>変わり始める大人の意識</p> <p>子どもたちが いずれ地域や社会を変えることを実感</p> <p>地域の子どもを自分たちが育てている自覚と責任</p> 	<p>大人が活躍、子どもに語りかける</p> <p>自らの仕事の大切さとやりがい、誇り、そして、後継者への期待</p> <p>協会の協賛作業 (株式会社 タナックス)</p> <p>千原堂(市民の足元) (市民総合病院)</p>	<p>地域のために何をなすべきか考えている</p> <p>(全国学力調査結果より)</p> <p>大館市読書基礎力</p> <p>大館市読書実践力</p> <p>大館市読書実践力</p> <p>大館市読書実践力</p> <p>大館市読書実践力</p> <p>大館市読書実践力</p>	<p>子どもハローワークの参加の流れ</p> <p>5 当日</p> <p>6 参加後</p> <p>働く体験の機会</p> <p>働く体験の場</p> <p>働く体験の場</p> <p>働く体験の場</p>
<p>子どもも大人も共に学び、共に育つ</p> <p>～大館地を教室に市民一人一人を先生に～</p> <p>地域 ↔ 学校</p> <p>教育力</p> <p>市民意識</p> <p>ふるさとへの愛着 市民や企業が自信と誇り 大館市は、未来創造都市へ</p>			

□事例発表者 事例② ハバタク株式会社

	<p>1984年生まれ、東京育ち ↓ 千代田区のまちづくり会社の創業に参画 ↓ IBMのグローバル戦略チーム / 世界各国の旅 ↓ 秋田人と結婚、娘の誕生 ↓ ハバタク株式会社を設立 ↓ 五城目町の廃校に事業所開設、家族で移住</p>		
		<p>日本の足元から 世界に 魅せられること</p>	
			
			
		<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 世界の多様性、地域内の多様性 ● 探究心、内発的動機 ● ゆるさを内包したカリキュラム ● 総合学習と各教科の連携 ● 地域や大学と「共創する学校」 ● 小さくはじめて、継続する仕組みへ ● 「次世代を育てること」に関わる人の増加 	
<p>次世代の学び 大人の背中</p> 			

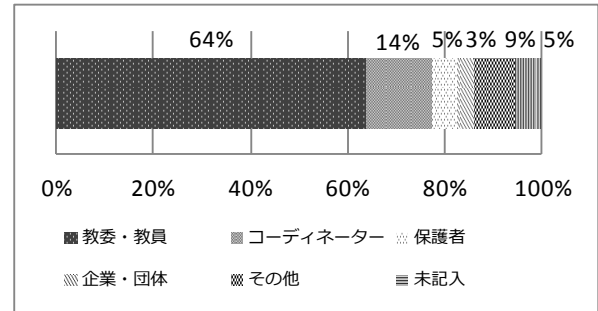
□事例発表者 事例③ 東成瀬村学校支援地域本部

<p>地域学校協働活動推進フォーラムの秋版</p> <p>地域社会全体で子どもたちを育てる「学校おたすけ隊」の取組み</p> <p>東成瀬村学校支援地域本部 地域コーディネーター 高橋 かなる</p>	<p>東成瀬村は自然豊かな小さな村です</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口 2,638名 1保育園 (100人) 1小学校 (100人) 1中学校 (175人) <p>・「日本で最も美しい村」連合に加盟</p>	<p>東成瀬村学校支援地域本部の設立時</p> <p>平成20年6月 東成瀬小学校・東成瀬中学校を対象とした学校支援地域本部を設置</p> <p>コーディネーターは 自カー人！</p> <p>最初ボランティアからスタート</p> <p>若い年齢にならない活動</p>	<p>学校支援地域本部の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> 職員室にコーディネーターの席を設置 募集方法の工夫「おたすけ隊」 地域の方々のところへお断り訪問
<p>先生方、地域の方々、保護者にも変化が…</p> <ul style="list-style-type: none"> ●先生が変わってきた 活動の行き届くように実施できるように努力を 活動との関係性ができた ●地域の方々が変わってきた 活動の開催を希望するようになった 活動日数の増加するようになった ●保護者が変わってきた 子どもと一緒に参加する活動が増えた 活動の開催を希望するようになった <p>何よりも子どもたちに変化が現れたことで活動が充実</p>	<p>そして、今 学校支援地域本部「おたすけ隊」が大活躍</p> <p>平成20年ボランティア登録者225名（高橋教人数176名） →なんと村民2,638人に対して8.5%！</p> <p>平成21年 小学校15班 460名（延べ人数） 中学校13班 180名（延べ人数）</p>	<p>【学校おたすけ隊】みんなが笑顔になるポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年間計画の作成 ボランティアを必要とする時期や内容の 差を把握 ●学校ニーズとの連携 職員室で先生方のニーズをキャッチするとともに プログラム内容整理シートを活用 ●ボランティアが得意分野で活躍 「おたすけ隊」登録リストの中から 得意分野が活かせる活動を依頼 	<p>プログラム内容整理シートとは</p> <p>先生方が希望を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プログラム名 ●希望内容 ●希望日時 ●希望人数 ●場所 <p>ボランティアと調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ●連絡調整事項 ●実施日時確定 ●協力者確定 <p>コーディネーターが 調整と調整</p> <p>実施後感想や課題を記載し、記録として残す</p> <p>関係者、管理職とも共有</p>
<p>プログラム内容整理シート</p>	<p>成果</p> <ol style="list-style-type: none"> ①多様な体験・経験が可能 ②地域の力を積極的に活用 ③信頼関係 規範意識・コミュニケーション能力の向上 おたすけ隊→たのみ隊→ありがとう隊 ④地域の活性化（共に学ぶ） 	<p>課題、そして未来に向けて</p> <p><課題></p> <ol style="list-style-type: none"> ①ボランティアの高齢化 ②ボランティアの種（すぐに花は咲かない） <p>東成瀬村の子どもたちの未来のために 地域一体となって さらに、新しいチャレンジを！</p>	

□アンケート結果

参加者の属性

回答	回答数	構成比
教委・教員	37	64%
コーディネーター	8	14%
保護者	3	5%
企業・団体	2	3%
その他	5	9%
未記入	3	5%
計	58	100%

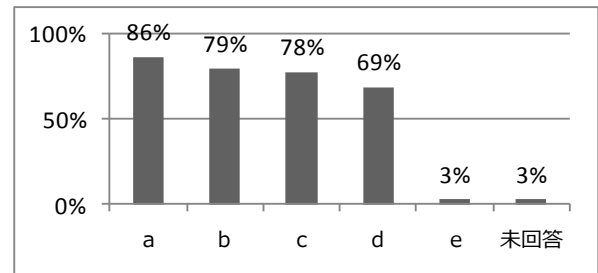


1. 本日のプログラムについてご意見をお聞かせください。

1) 今回のプログラムで話を聞いてよかった（参考になった）ものを教えてください。（複数回答可）

■全体集計

回答	回答数	相対度数
a.事例紹介/大館市：ふるさとキャリア教育	50	86%
b.事例紹介/五城目町：共創プロジェクト	46	79%
c.事例紹介/東成瀬村：学校おたすけ隊	45	78%
d.パネルディスカッション	40	69%
e.その他	2	3%
未回答	2	3%



N=58

e. その他自由記述

・パワーがあった。

■属性別内訳

回答	教委・教員	企業・団体	保護者	コーディネーター	その他	未回答	合計
a.事例紹介/大館市：ふるさとキャリア教育	33	1	3	7	4	2	50
b.事例紹介/五城目町：共創プロジェクト	32	1	2	6	3	2	46
c.事例紹介/東成瀬村：学校おたすけ隊	29	2	3	5	4	2	45
d.パネルディスカッション	27	2	1	6	2	2	40
e.その他	1	0	0	0	0	1	2
未回答	0	0	0	0	1	1	2

N=58

2) 上記で「よかった（参考になった）」とご回答の場合、そのうち1つについて、どういった点がよかった（参考になった）か、理由もご一緒に教えてください。（自由記入）

【a】

- ・自治体としての方向性の明確化が大切だと思いました。
- ・子どもたちが地元から離れていってしまうのは、地方にとって課題であるが、地元の仕事を知り、大人と関わることで、また地元に戻ってきたいと思う人が増えると感じた。また、子どもハローワークの仕組みは、学校、企業どちらも有益であり取組が続いていくために必要なことだと感じた。

【a, b, c】

- ・学校現場に民間（地域）の人材を積極的に受け入れている点が良いと思う。ただ各地域性の問題もあり、一様にはできないと思う。今後の課題課と思った。
- ・組織として完成され、人が替わってもゆるがないものとなっている
- ・実際の実践の話聞いたこと。

- ・キャリア教育の視点で全校が取り組んでるのがよいと思った。トップの考え方一つで、教育は変わっていく。トップの姿勢が大事なことが分かる。五城目も素晴らしい（過去に特別支援学校との交流が多くの学校でなされ、支援学校が困った事例がある。AIUは1つなので…。多くの学校が高流を望むのは難しいかも）
- ・C:東成瀬村 現場の問題点と乗り越え方を知ることができました。
- ・東成瀬村：コーディネーターの採用、身分保証がしっかりされていること、地域の年中行事をカリキュラムに取り入れていたこと（支援員兼務はビックリ）
- ・大館市ではふるさとキャリア教育を中核として市全体で子どもたちを育てようとしている。特に子どもハローワークは地域の色々な仕事、大人と継続的に関わるという点で参考になった。

【a, b, c, d】

- ・子どもハローワークという新しい実践に面白さを感じた
- ・大館市教育長の熱意に感動した
- ・「力まず、小さく初めて、継続する活動」というまとめの言葉に、様々考えさせられました。
- ・地域で育てる地域学校協働活動の意義と体験型の学びの重要性
- ・五城目町：企業と協働して地域学校活動の実践もしているところ。
- ・五城目町：伝統芸能の保存継承のために、教育課程に組み込みしくみを作る。 キャリアリンク：秋田県のふるさとキャリア教育を発信していく段階（秋田だからできる、その人がいるからできることからの先）
- ・特にハバタク株式会社の事例紹介に感銘を受けました。学校の子どもたちに直接夢を語ってもらいたいと思いました。
- ・3つの事例はコーディネーターが上手く学校と地域をつなぎ、winwinの関係をつくっている。人材の確保や育成、発掘が大切だと感じた。
- ・パネラーの一人一人の思いが伝わってきました。ぜひ参考にしたいと思います。
- ・取組方の具体的なところを知ることができた上に、そこをマネジメントする校長先生などのお考えを聞くことができたから。
- ・C：地域コーディネーターの方の話を直接お聞きしたのは初めてのことであり、学校ではどのように対応していけばよいのかについて具体的に捉える事ができた。
- ・全て理解でき、今後そうしたいと思うことばかりですが、実際、私の地域では学校がなくなろうとしているため…。
- ・大館市、市が一体となって取り組んでいる様子が分かった。
- ・協働 かわる
- ・大館市の取組、学校単位でなく市全体で取り組む体制が参考になった。一人の人材ひとつの事業所などが、複数校、複数回勝ちようできるし、ビジョンを共有した活動ができる。
- ・a. 大館市教育長のお話はいつ聞いても勉強になります。
- ・地域学校協働活動の意義を再確認できた。
- ・東成瀬村のコーディネーターのお話は、上手くいかなかった初期の活動も含め、多くのコーディネーターが抱えている悩みであり、具体的な参考例になった。
- ・より具体的で大変参考になりました。人を動かすのは教育のみ。
- ・なんのために？方向は？
- ・子ども達がボランティアを体験する事は社会に出てから会社の仕事又は仲間づくり等期待有りそう、ボランティアの機会を与えたい

【a, b, c, d, e】

- ・協働の意味が、これからの日本の教育の方向との関連でよくわかりました。ありがとうございました。
- ・どの方からもなぜその活動が必要なのか明確な目的があり、目指すところは将来の秋田を支える子どもを育てることに

行きつくのだと感じました。

【a, b, d】

- ・ビデオで●●紹介の●に、事例紹介もあったので、大変わかりやすくイメージしやすかった。

【a, c】

- ・会社経営をしていますが、子ども達がどのような仕事があるのかを認識する子どもハローワークの取組がよいと感じました。学校が進める校外学習や会社訪問はごく一部しか知ることができない、様々な業種があり、社会が成り立っている。さらにどの職種につきたいかの判断材料がいます。
- ・学校外、地域外の学校支援組織活動がよくわかりました。

【a, c, d】

- ・「大館ふるさとキャリア教育」：大館市教育委員会が中心となって推進しているところ。教育は学校、家庭、地域が一体となっていくことが大事であると言われながらもなかなか具体的な取組がなかったのですが、それを市教委が中心になって実践されていること。

【a, d】

- ・「人材育成は小・中学校では完結しない」という全体を基盤として出発していること、子どもたちに現実離れたままの「夢」で終わらせないための取組の具体が参考になりました。（地域と学校は一体のもの、地域を支えるのは学校の使命ということも）
- ・「おおだて型学力」～教育長の考え方

【b】

- ・子どもたちがふるさとを大事にする心を育てる良い取組である（五城目町）

【b, c】

- ・bについて 地域学校協働活動の実践者の思いがよく伝わってきた。一人称で語っていたのでどういう人に声をかけ、協力の相談をしていけばいいかがよく分かった。

【b, c, d】

- ・コーディネーターによって地域の方々の協力をいただく（いただける）というレベルだけではなく、学校、地域（保護者）が相互に意思、目的などについて確認した上で実践することが重要。「協力してもらってよかった」「役に立てて良かった」という満足感で終わってはいけない。

【b, d】

- ・学校と企業が連携、協働した取組

【d】

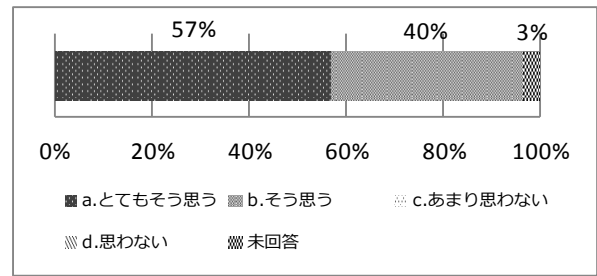
- ・学校と地域の延がより進む必要があると感じた

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

2. 本日のご参加を踏まえ、今後の地域学校協働活動について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

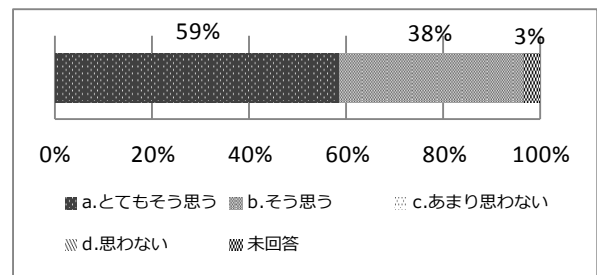
1) 本日のフォーラムに参加して、あらためて次世代の学校・地域創生に向けて、地域学校協働活動の必要性や、地域学校協働本部の有効性が理解できた。(1つ選択)

回答	回答数	構成比
a.とても思う	33	57%
b.そう思う	23	40%
c.あまり思わない	0	0%
d.思わない	0	0%
未回答	2	3%
計	58	100%



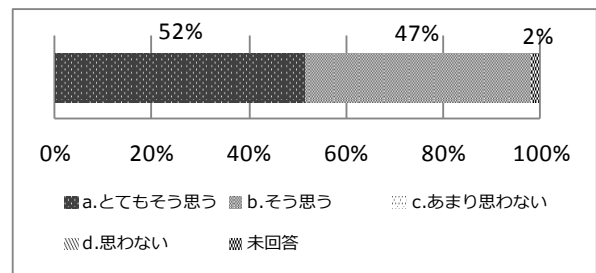
2) 地域学校協働本部等による学習支援が、今後ますます広がってほしいと感じた。(1つ選択)

回答	回答数	構成比
a.とても思う	34	59%
b.そう思う	22	38%
c.あまり思わない	0	0%
d.思わない	0	0%
未回答	2	3%
計	58	100%



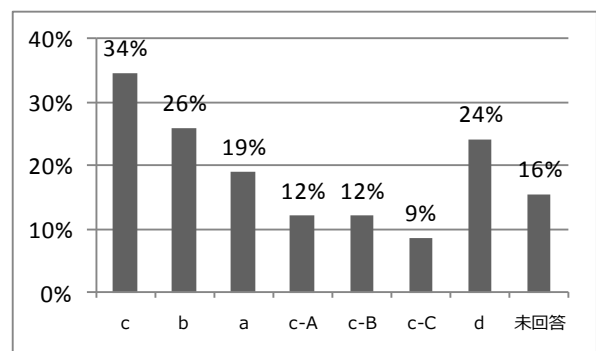
3) 今後、自分もできることから「地域協働活動」に協力したいと思う。(1つ選択)

回答	回答数	構成比
a.とても思う	30	52%
b.そう思う	27	47%
c.あまり思わない	0	0%
d.思わない	0	0%
未回答	1	2%
計	58	100%



4) 「地域学校協働活動」に協力していくにあたり、課題となることは何ですか。(複数回答可)

回答	回答数	相対度数
c.時間が取れない(理由なし)	20	34%
b.窓口など段取り、手順がわからない	15	26%
a.自分に何ができるかわからない(テーマや方法など)	11	19%
c-A.時間が取れない/教材の準備	7	12%
c-B.時間が取れない/学校との打ち合わせ	7	12%
c-C.時間が取れない/授業実施	5	9%
d.その他	14	24%
未回答	9	16%



N=58

「d. その他」コメント

- ・協働のできる活動（学習）内容の精選、開拓
- ・多様な教師、児童がいること、多忙さによる学校の閉鎖性
- ・学校自体が垣根を低くして、もっと地域の人材を受け入れる体制づくりが（努力）必要。PTA 関係者だけでなく更に広く PR・告知の努力をすべき。
- ・活動に必要な予算の確保
- ・学校の敷居の高さ
- ・子供達の年齢、学年、学校などの学びの現状レベルが一般では理解できない。例：何年生はどのくらいの知識があるのか？→コーディネーターなどのフォローが必要。
- ・北秋田市教育長の認識不足（教育長に感化された校長の意義→校長は全員ではない）→学力向上しか頭になく、子ども達の学力をふるさとに還元するまでに結びついていない。だから子ども達に、ふるさとに対する愛着心が芽生えないのだと思う。
- ・ニーズがわからない。
- ・仕事の兼ね合い
- ・学校との授業、行事とのバランス 準備段階のこまごました費用
- ・教育行政との連携、予算取り、主担当者と上司の理解
- ・県としての仕組みをしっかりと作ること。
- ・思いの共有、職員の意識
- ・先生方の多忙につながる

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

3. 本日まで参加されてのご意見、ご感想等、ご自由にご記入ください。

- ・特に中学校での実施の難しさを感じている
- ・小、中は、コーディネーターをはじめとする地域の方々が学校の内側に入り込み、授業の中にも参加して来て、素晴らしい人間育成につながっていると強く感じている。しかし、私自身（高 PTA 会長）今考えている事は、高校の事である。高校の地域貢献活動は正に、地域活性の原動力となり、行事として実現しているが、地域からの一方的な思いは伝えられていない。P ディスカッションの中では課題とした「地域活動」=「イベント」化している様強い。
- ・大変レベルの高いフォーラムで勉強する良い機会となりました。ありがとうございます。
- ・とても有意義でした。関係者が中心の、内輪の会的な範囲にとどまっているのが残念でした。素晴らしい企画、内容でしたので。
- ・社会が求める人材づくり、これから未来をたくましく生き抜く子どもたちにどんな資質、能力を育てていくか、しっかりと目的意識をもってこれからの教育を官がて行く必要があることを再確認できました。
- ・パネルディスカッションで、ファシリテーターがパネリストの話を途中で遮ることが何度かあって残念でした。大館市教育長の話しを聞くために参加しました。ファシリテーターの話しが長く感じました。
- ・地域と学校がどの様にかかわってゆくのか？学校は土日の使用がなかなかできないー秋田市 今は児童センター、コミュニティセンター等で活動している。秋田市は公民館が廃止になり、なかなか生涯学習活動の場がなくなって来た。むしろ県生涯学習センターにお世話になり自主活動をやっている現状です！！（キャリア教育の際に現実学校と秋田市の様にクラスの多い学校が地域とどのようにかかわって地域の力を生かすことが出来るか？）
- ・地域にとっての学校の役割、学校にとっての地域の役割についてじっくりと考えさせられた。大館市教育長の学校＝地域という考え方は新鮮だった。元気な方が支援するということから、子どもが宝であることを改めて実感した。子どもを大切に育てる学校、地域、社会、国でありたいと強く感じた。
- ・学校と地域をつなぐ仕組みづくり

- ・市教委としてできることがまだまだあると感じることができるフォーラムだった。ありがとうございました。
- ・冒頭のVTRの音声が良くなかったのが残念…。マイクの音も。
- ・今後の教育が変わりそうなことは理解できたが、それに対応する仕組みとして現状のもの（支援本部など）で良いのか？
答えを導き出せなかった。”
- ・パネルディスカッションから参加させていただきました。大館市教育長のお話がたいへん参考になりました。
ありがとうございました。
- ・県内各地でそれぞれ工夫された活動がなされている。この活動が地域に広報されることも大事だと思う。コミュニティースクール、協働活動が今後の学校の進む方向となることでしょう。発展を期待したい。学力が教科書の学びだけではないと思う一人なので。スタートさせるのは誰か…。
- ・「支援」から「協働」へという視点に気づくことができたことは、教員として大きな収穫となった。ありがとうございました。育みたい資質を明らかにした目標の共有のためには、コーディネーターや地域ボランティアの方と学校関係者の直接的なやりとりがますます必要になると思った。この点が取組城の課題（ハードル）にならないようにする必要があったらと思った。
- ・今後求められる「地域とともにある学校」につながる様々なお話をうかがうことができ参考になりました。ありがとうございました。
- ・とても有意義な時間でした。ありがとうございました。
(大館市教育長)、ファシリテーター…が話された究極の目的は「地域の将来を担う子」は？ この活動を通じて必ず地域の将来を担わなければならないのか？地域で生きていく衣食住が満たされなければ…！→将来生きていく力が地域の将来のためだけに限定されるようになるとうかがななものか。大きくはばたいてほしいと願うのは保護者だけではないと思います。たまたま地域に残るのは何人でもいいという位でいかないと、この活動＝地域を救う…子どもたち or 保護者に圧力にならないか？
- ・大変勉強になった。もっといろんな事例を知りたい。
- ・秋田県の規模の異なる市町村の取組が紹介されていたので、自分の住む市町村でまねをして実践できることがあると気づいた人が多かったのではないかな。三例ともすごく分かりやすかった。パネルディスカッションは時間通りに終了できないものかと思うが、すべり込ませたパネリストの発言は集中力をもって聞きにくい。残念なことである。
- ・どの発表もすばらしかったです。考え方を改めてがんばらないと、と反省しました。意欲気力体力絆自分のために頑張ることが波及していくと思いました。
- ・事例紹介、パネルディスカッションを通して多面的な視野で考えることができた。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。このような機会をいただいて。
- ・すぐにも取り入れたい事例ばかりでしたが、スタートの段階で同じ目標を持つ仲間であったり地域での繋がりがある地域づくりから始めなければならない場合、成功例はもちろんそこまでのリアルな失敗例や乗り越え方も知りたいです。(1-2)へ矢印
- ・学校との協働、どう進めていくか。もっと地域で掘り下げていくための協議、対話する仕組みづくり。課題の共有が必要だと確信しました。学校側のアクションを待ってます！
- ・文科省がすでに地域と学校との協働を主たるものとして行政も含めて進めている中で、端末にある学校現場で感じる拒否感、外部者を入れることの否定感が強く、取組そのものをはばんでいる感があるが…その温度差をどう考えるべきか。最後、赤川班長が語ったような教員の個人理解のみにたよるだけでは弱く（遅く）直接的な変化をうながすことも必要ではないか。
- ・大館ふるさと教育の子どもハローワークの仕組みについて聞きたくて参加しました。大館市教育長の「ピンチの地域を学校が支援する時代」という言葉印象的でした。五城目小校長の「意図的なマネジメントでしくみづくり」本当にその通りだと思いました。3つの事例、パネルディスカッションが“Activelearning”で学び多いものでした。これからの子ども達に必要な資質、能力を育み、どんな地域にするか自分の立場でできることをしていきます。

ありがとうございました。人を変える力は教育のみ。大館市教育長の言葉響きました！！

- ・支援、共同、いろいろ考えさせられました。参考になりました。

児童生徒にふるさとのよさ、多様な活動を体験させたいと強く感じるが、先生方が忙しくなり子どもにじっくりと向き合えない状況になったり、体を壊してしまう状況にならないようにという思いもある。東成瀬村のコーディネーターがその点をよく理解して工夫して活動を進めていること（年間計画依頼シート）はすぐにでも取り入れられることだと思った…。

- ・大館市教育長、その他の人たちの思いが強く感じられた。ありがとうございました。
- ・主催は文科省で実質的な運営は民間団体のようでしたが、学校は教育活動をまだまだ困り込みすぎていることに気づけて良かった。学校とそれ以外の組織団体が同じレベルの●●と責任で子ども達の育成にあたる機会が増えていくものと思いました。
- ・秋田では「ふるさと教育」の延長線上にあると思われる活動の一つと思われます。9月にはコミュニティスクールの全国大会が由利本庄市で開催されました。学校が地域との連携で教育されていることで非常に興味深い会であると思います（2000人規模）新聞、テレビで紹介があるのでしょうか？せっかくの機会であったように思われます。
会場：生涯学習センターあたりがよかったように感じます。
- ・せっかくの機会ですのもっと多くの方、とりわけ教職員に参加してもらいたいと思います。

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

■地域学校協働活動推進フォーラム in つくば

【概要】

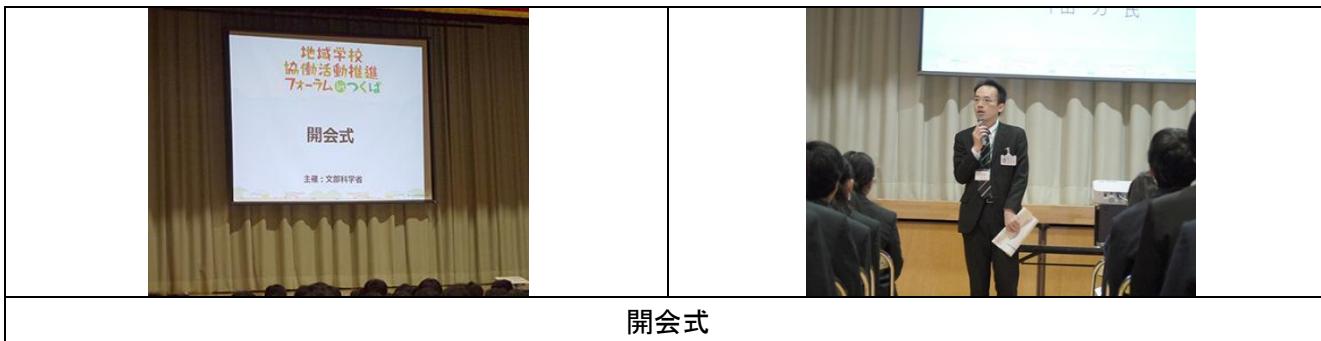
日時	2017年2月4(土) 9:00~16:00	
会場	つくば市立谷田部中学校 〒305-0861 茨城県つくば市谷田部 6100	
対象	第1部 吾妻・春日・輝翔・紫峰・百合ヶ丘の5学園 児童生徒 350名 第2部 つくば市内学園の地域学校協働活動推進に関わる教員、管理職 165名	
目的	「子供の未来につながる地域学校協働活動を考える」 つくば市教育局との連携により、土曜学習応援団企業を中心とした児童・生徒向けに多様な学習プログラムを実施するとともに、保護者や学校関係者、地域の方々など関係者全員で地域学校協働活動推進のヒントとなる事例や情報の共有を通して、自身の関わり方を考える。	
実施協力	つくば市教育委員会、吾妻・春日・輝翔・紫峰・百合ヶ丘の5学園 協力企業・団体：15団体	
	時間	内容
第1部	9:00~ 9:20	【開会式】
	9:40~ 10:30	【第1セッション】 企業団体による学習プログラム体験会 *次ページ参照 土曜学習応援団より15企業・団体が学習プログラムを実施
	10:40~ 11:30	【第2セッション】 企業団体による学習プログラム体験会 *次ページ参照 土曜学習応援団より15企業・団体が学習プログラムを実施
第2部	13:30~ 13:50	【挨拶・事業主旨説明】
	13:50~ 14:20	【事例紹介】 横浜市立東山田中学校の地域学校協働活動について 特定非営利活動法人まちと学校のみらい 代表理事 竹原 和泉氏
	14:30~ 15:50	【ワークショップ】 「地域学校協働活動」の事例研究ワークショップ ●ファシリテーター ・株式会社キャリアリンク 代表取締役 若江 真紀

□第1部 学習プログラム一覧

		テーマ/プログラム名	会場名	企業・団体/講師
中学生	A-1	環境・経済問題 Logy&Nomy (ロジノミー)	第二理科室	チームLogy&Nomy
	A-2	理科 「見える光・見えない光」	第一理科室	三菱電機株式会社
	A-3	金融・経済 「投資って何だろう？」	研修室	野村グループ
	A-4	情報活用、情報モラル みんなで考える情報活用の“秘訣”	8年1組	株式会社日立製作所
	A-5	キャリア教育 自分らしさをエゴグラムSHEで知ろう！ ～あなたの長所がわかる～	8年2組	NPO法人日本交流分析協会附属 TA学校教育心の開発研究所
	A-6	グローバル グローバル社会に必要な多様性（ダイバーシティ） への理解を深めるワークショップ	8年3組	デュボン株式会社
	A-7	キャリア教育、エネルギー（創エネ・省エネ） 実務経験の達人と学校と仕事の繋がりを話そう！ 「日本の創エネ・省エネを考える」	SR	特定非営利活動法人 経営支援NPOクラブ
	A-8	消費者教育、生活設計 「ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～」で 人生のリスクについて考えよう	8年4組	第一生命保険株式会社
	A-9	防災・道徳 「みんなでわけよう」	8年5組	日本赤十字社 茨城県支部
	A-10	プログラミング レゴ®マインドストーム® EV3を使ってプログラミング！	図書室	株式会社内田洋行
小学生	C-1	食育 キッコーマンしょうゆ塾	家庭科室	キッコーマン株式会社
	C-2	職業教育、金融・経済 チャレンジ！お菓子の株式会社	技術室	日本証券業協会
	C-3	キャリア教育 「好き」を将来の夢に！	音楽室	一般社団法人日本オーストラリアン フットボール協会
	C-4	防災 段ボールジオラマ防災授業	美術室	一般社団法人防災ジオラマ 推進ネットワーク
	C-5	プログラミング IchigoJam（イチゴジャム）を使ってBASIC プログラミング！	PC室	日本電信電話株式会社

□会場の様子（写真）

第一部 学習プログラム体験



開会式

【中学生対象：10 プログラム】

<p><A-1> 環境・経済問題 Logy&Nomy (ロジノミ) チーム Logy&Nomy</p>	<p><A-2> 理科 「見える光・見えない光」 三菱電機株式会社</p>	<p><A-3> 金融・経済 「投資って何だろう？」 野村ホールディングス株式会社</p>
<p><A-4> 情報活用、情報モラル みんなで考える情報活用の“秘訣” 株式会社日立製作所</p>	<p><A-5> キャリア教育 自分らしさをプログラムSHEで知ろう！～ あなたの長所がわかる～ NPO 法人 日本交流分析協会附属 TA 学校教育心の開発研究所</p>	<p><A-6> グローバル グローバル社会に必要な多様性 (ダイバーシティ) への理解を深めるワークショップ デュポン株式会社</p>
<p><A-7> キャリア教育・エネルギー 「日本の創エ・省エを考える」 特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ</p>	<p><A-8> 消費者教育、生活設計 「ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ」 で人生のリスクについて考えよう 第一生命保険株式会社</p>	<p><A-9> 防災・道徳 「みんなでわけよう」 日本赤十字 茨城県支部</p>
<p><A-10> プログラミング ロボットマイクストームEV3を使ってプログラミング！ 株式会社内田洋行</p>		

【小学生対象：5プログラム】

		
<p>＜C-1＞食育 キッコーマンしょうゆ塾 キッコーマン株式会社</p>	<p>＜C-2＞職業教育、金融・経済 チャレンジ！お菓子の株式会社 日本証券業協会</p>	<p>＜C-3＞キャリア教育 「好き」を将来の夢に！ 一般社団法人 日本オーストラリアフットボール協会</p>
		
<p>＜C-4＞防災 段ボールジョオラマ防災授業 一般社団法人 防災ジョオラマ推進ネットワーク</p>	<p>＜C-5＞プログラミング IchigoJam（イチゴジャム）を使って BASICプログラミング！ 日本電信電話株式会社</p>	

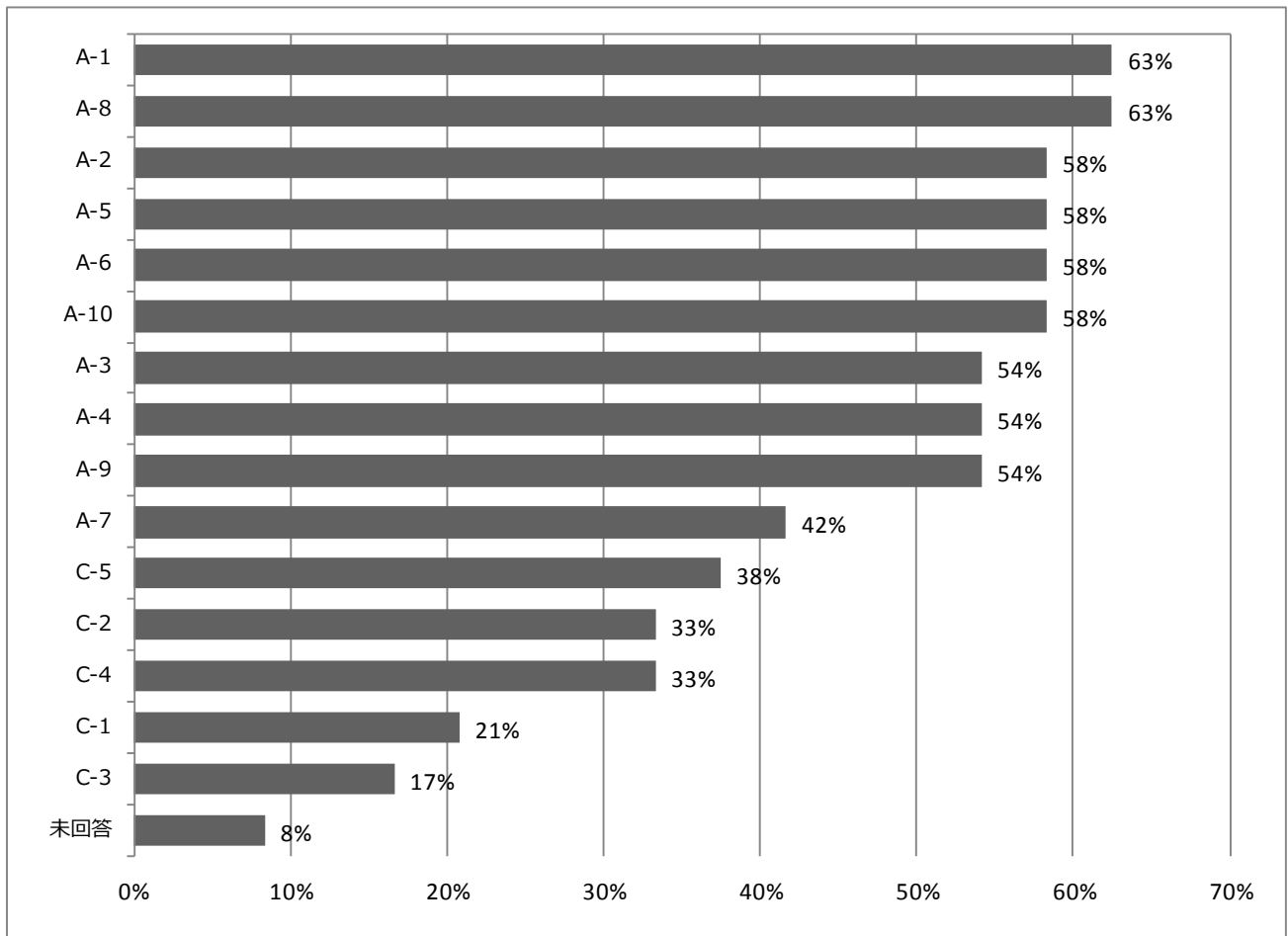
□第一部アンケート結果

1. 本日のプログラムについて

1) ご覧になったプログラムについて教えてください（複数回答）

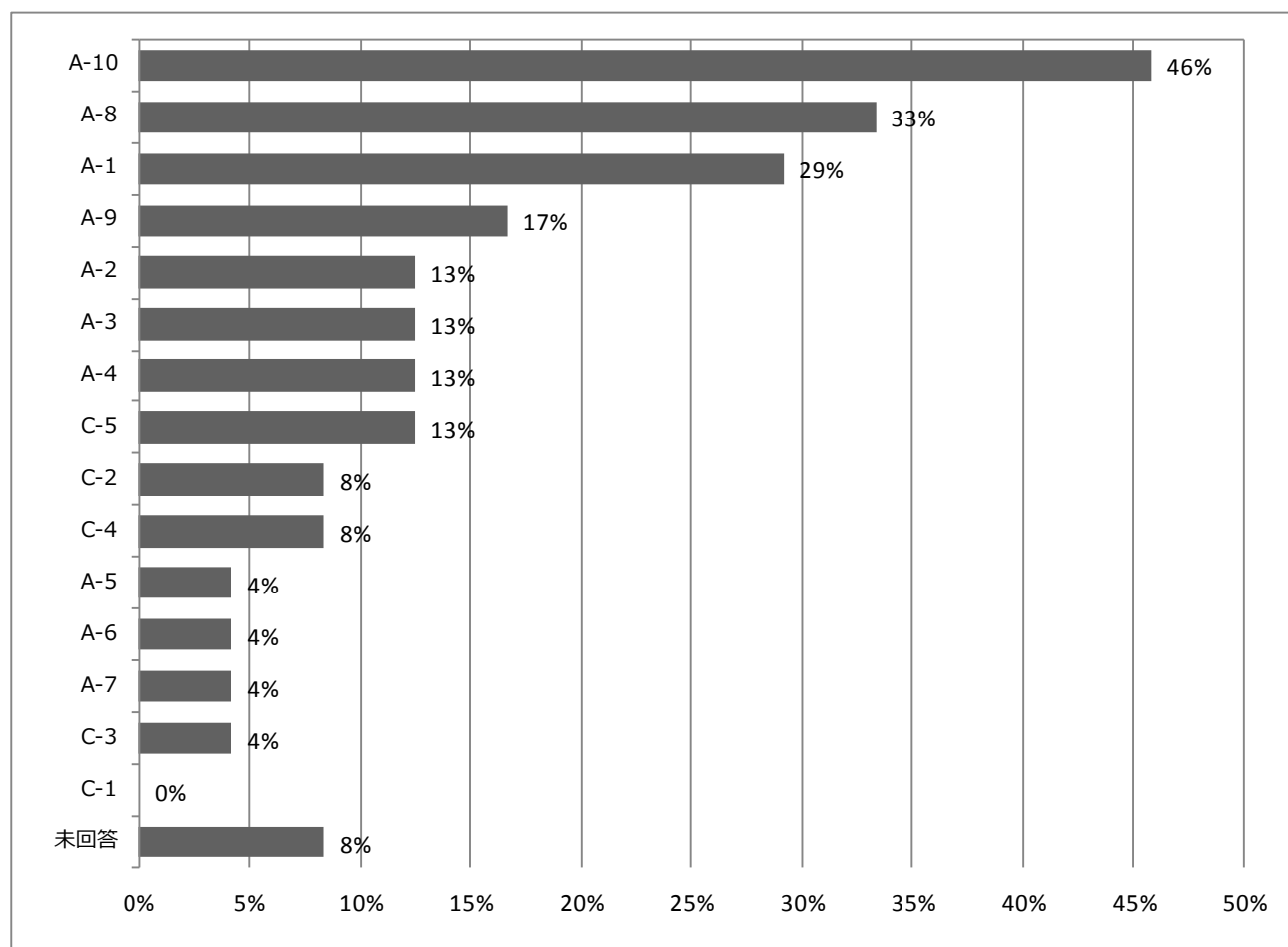
回答	回答数	相対度数
A-1 Logy&Nomy (チームLogy&Nomy)	15	63%
A-8 「ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～」で人生のリスクについて考えよう (第一生命)	15	63%
A-2 見える光、見えない光 (三菱電機)	14	58%
A-5 自分らしさをエゴグラムSHEで知ろう！～あなたの長所がわかる～ (日本交流分析協会)	14	58%
A-6 グローバル社会に必要な多様性 (ダイバーシティ) への理解を深めるワークショップ (デュボン)	14	58%
A-10 レゴ®マインドストーム®EV3を使ってプログラミング! (内田洋行)	14	58%
A-3 投資ってなんだろう? (野村ホールディングス)	13	54%
A-4 みんなで考える情報活用の"秘訣" (日立製作所)	13	54%
A-9 みんなでわけよう (日本赤十字社茨城県支部)	13	54%
A-7 実務経験の達人と学校と仕事の繋がり話をしよう! 「日本の創エネ・省エネを考える」 (経営支援NPOクラブ)	10	42%
C-5 IchigoJam (イチゴジャム) を使ってBASICプログラミング (日本電信電話)	9	38%
C-2 チャレンジ! お菓子の株式会社 (日本証券業協会)	8	33%
C-4 段ボールジオラマ防災授業 (防災ジオラマ推進ネットワーク)	8	33%
C-1 キッコーマンしょうゆ塾 (キッコーマン)	5	21%
C-3 「好き」を将来の夢に! (日本オーストラリアンフットボール協会)	4	17%
未回答	2	8%

N = 24



2) ご覧になったプログラムで特によかったものと、よかった理由をおおしえください。(3つまで)

回答	回答数	相対度数
A-10 レゴ®マインドストーム®EV3を使ってプログラミング！(内田洋行)	11	46%
A-8 「ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～」で人生のリスクについて考えよう(第一生命)	8	33%
A-1 Logy&Nomy(チームLogy&Nomy)	7	29%
A-9 みんなでわけよう(日本赤十字社茨城県支部)	4	17%
A-2 見える光、見えない光(三菱電機)	3	13%
A-3 投資ってなんだろう？(野村ホールディングス)	3	13%
A-4 みんなで考える情報活用の"秘訣"(日立製作所)	3	13%
C-5 IchigoJam(イチゴジャム)を使ってBASICプログラミング(日本電信電話)	3	13%
C-2 チャレンジ！お菓子の株式会社(日本証券業協会)	2	8%
C-4 段ボールジオラマ防災授業(防災ジオラマ推進ネットワーク)	2	8%
A-5 自分らしさをエゴグラムSHEで知ろう！～あなたの長所がわかる～(日本交流分析協会)	1	4%
A-6 グローバル社会に必要な多様性(ダイバーシティ)への理解を深めるワークショップ(デュボン)	1	4%
A-7 実務経験の達人と学校と仕事の繋がりを話そう！「日本の創エネ・省エネを考える」(経営支援NPOクラブ)	1	4%
C-3 「好き」を将来の夢に！(日本オーストラリアンフットボール協会)	1	4%
C-1 キッコーマンしょうゆ塾(キッコーマン)	0	0%
未回答	2	8%



2) よかった理由

【A-10 レゴ・マインドストームEV3を使ってプログラミング！（内田洋行）】

- ・簡単なプログラミングで実際にロボットを動かすことができてよい。
- ・生徒が意欲的に取り組んでいた。
- ・生徒たちが楽しそうに取り組んでいた。
- ・生徒の反応がよかった。
- ・プログラミングが興味深かった。

【A-8 「ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～」で人生のリスクについて考えよう（第一生命）】

- ・遊び感覚で生涯設計について学ぶことができたから。
- ・人生のリスクについて具体的に学べた。
- ・楽しめて学べる内容だった。
- ・楽しくゲームをしながら人生の中で起こりうることを考える機会となった。
- ・ボードゲームを楽しみながら保険のしくみや意義が学べた。
- ・人生ゲームだったが、具体的にお金のやりとり等あり、生徒は心から楽しんでいる様子だった。

【A-1 Logy&Nomy（チーム Logy&Nomy）】

- ・Logy&Nomy のゲームがとても楽しくできました。
- ・ゲームが楽しい
- ・ゲーム形式で生徒の関心も高く、生き生きと活動していた。
- ・難しい政治や経済、環境のかかわりをゲームで理解できた
- ・子どもが楽しそうに活動していた。
- ・ゲームをしながら楽しく知恵をしぼれた。

【A-9 みんなでわけよう（日本赤十字社茨城県支部）】

- ・それぞれのシチュエーションで食糧を具体的に分けたり互いを思いやる心も持てて良かった。
- ・避難所でどのように考えればいいのかを学べた。

【A-2 見える光、見えない光（三菱電機）】

- ・分かりやすかった。
- ・青色LEDが開発されたことで新たな可能性になったことがよくわかった

【A-3 投資ってなんだろう？（野村ホールディングス）】

- ・考えることができた。
- ・説明もうまく、生徒の反応や考えを引き出していた。

【A-4 みんなで考える情報活用の“秘訣”（日立製作所）】

- ・子どもの活動が多く、楽しそうだった。
- ・わかりやすかった。

【C-5 IchigoJam（イチゴジャム）を使ってBASICプログラミング（日本電信電話）】

- ・次期学習指導要領を踏まえた内容だったから

【C-2 チャレンジ！お菓子の株式会社（日本証券業協会）】

- ・実際の金銭の流れが体験活動によって子どもにも分かりやすかったため。
- ・むずかしい株という概念について楽しく学んでいました。

【C-4 段ボールジオラマ防災授業（防災ジオラマ推進ネットワーク）】

- ・日頃の地図からは分からない高さや防災について学んでいたから
- ・講師の話がわかりやすかったから

【A-5 自分らしさをエゴグラムSHEで知ろう！～あなたの長所がわかる～（日本交流分析協会）】

- ・自分について考える機会になっていた。

【A-6 グローバル社会で必要な多様性（ダイバーシティ）への理解を深めるワークショップ（デュボン）】

- ・積極的に意見交換をしていた。

【C-3 「好き」を将来の夢に！（日本オーストラリアンフットボール協会）】

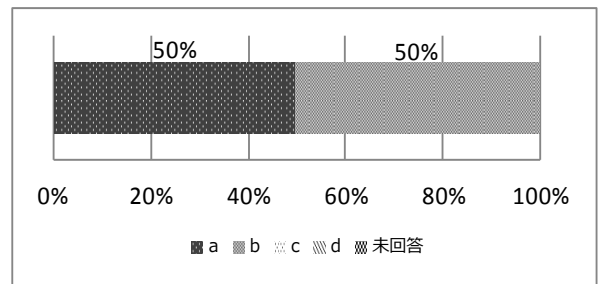
- ・「好きなもの、こと⇔それを支える人々」のワークショップが汎用性があり良かったです。

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

2. 民間企業・団体等が行いプログラムについてご意見をお聞かせください。

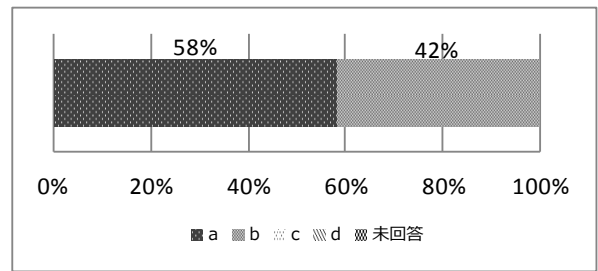
1) 改めて民間企業・団体等、外部人材が実施するプログラムの有効性が理解できた。(1つ選択)

回答	回答数	構成比
a.とても思う	14	58%
b.思う	10	42%
c.あまり思わない	0	0%
d.思わない	0	0%
未回答	0	0%
合計	24	100%



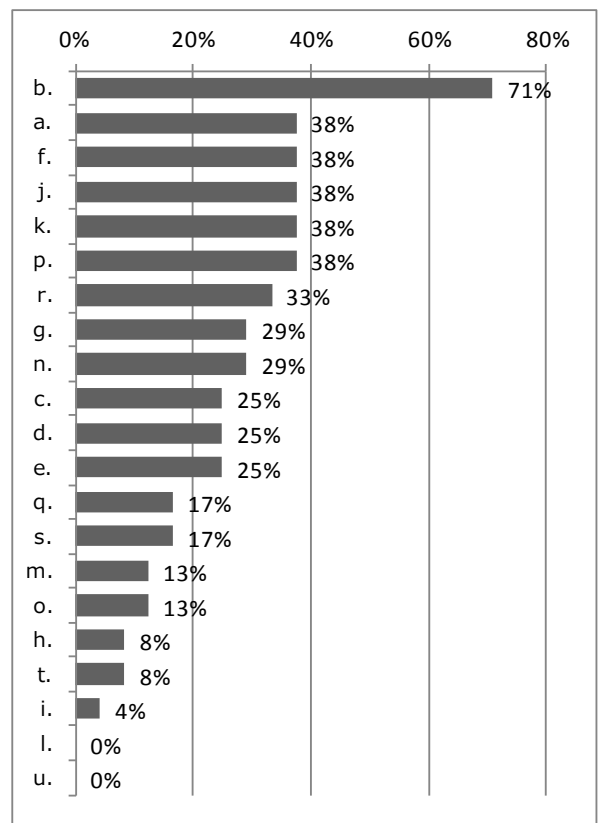
2) 民間企業・団体等、外部人材による学習支援がますます広がってほしいと感じた。(1つ選択)

回答	回答数	構成比
a.とても思う	14	58%
b.思う	10	42%
c.あまり思わない	0	0%
d.思わない	0	0%
未回答	0	0%
合計	24	100%



3) 民間企業・団体が行うプログラムで希望するテーマは何ですか。(複数回答可)

回答	回答数	相対度数
b.職業教育	17	71%
a.環境教育	9	38%
f.金融・経済	9	38%
j.国際理解	9	38%
k.伝統・文化	9	38%
p.ものづくり	9	38%
r.野外体験	8	33%
g.礼儀・道徳・倫理	7	29%
n.安全防災	7	29%
c.外国語	6	25%
d.社会課題解決	6	25%
e.食育	6	25%
q.スポーツ	4	17%
s.理科実験	4	17%
m.生活習慣	3	13%
o.情報教育	3	13%
h.著作権	2	8%
t.オリンピック・パラリンピック	2	8%
i.地域理解	1	4%
l.福祉・医療・介護	0	0%
u.その他	0	0%



3. その他本日ご参加されてのご意見、ご感想など自由にご記入ください。

- ・本日は、子ども達のためにこのような体験学習を開いていただき、ありがとうございます。子ども達も「楽しかった」と今日の活動に満足していたようでした。また、このような機会がありましたらぜひ参加したいと感じました。
- ・グループでの話し合いを設定しているプログラム等は、事前にグルーピングの調整が必要と感じた。今日初めて会う人と（特に他校の生徒と）考えを交流させるのはとても難しいと思った。
- ・中学生も充実した活動ができて満足しているようでした。とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました
- ・ためになるプログラムが多かったです。子どもの活動が多いものと少ないものがあつたので、全てのプログラムが活動が多いと良いなと思いました。
- ・資料、ワークシート、実験等、興味をひく教材が多く勉強になりました。ありがとうございました。
- ・グループによってレベルが違っていて、全員の生徒が理解するには難しいのではと感じました。
- ・率直に言うと、見たり聞いたりするよりも、作業や実験など児童生徒自身が行う活動があるものの方がくいつきが良かった様に思う。
- ・希望児童を集めるのは大変でしたが、どの児童も「楽しかった」と言っていて、大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・たくさんのプログラムが用意されていて、さらに自分の選択した所に参加できたことを生徒がとても喜んでいました。学校では、ここまでの企業の方を活用することはできないので、参加できてよかったです。
- ・ゲームや活動を通して、子ども達が生き生きと学ぶ姿がとても印象的でした。今後も外部機関との連携の在り方を考えていきたいと思います。本日は貴重な機会をいただきありがとうございました。
- ・ゲームやワークショップ体験をとまなうプログラムでは、生徒は楽しく学び、心に残ったものが多かったと思います。
- ・素晴らしいプログラムを準備いただき、ありがとうございました。
- ・企業の方が熱心に説明してくださるので聞き入ってしまいました。自分にとってもとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・民間企業の準備された内容は、教員の考えのものと違う点がすばらしいと思う反面、その内容については良く考える必要があると感じた。
- ・子供たち（小学生）は楽しんで取り組んでいたのがよかったです
- ・マネジメントは、学校の現場ではなく教育委員会が行ってほしい。（現場に企業とやり取りするノウハウや余力は無い）
- ・グループでの話し合いを設定しているプログラム等は、事前にグルーピングの調整が必要と感じた。今日初めて会う人と（特に他校の生徒と）考えを交流させるのはとても難しいと思った。
- ・中学生も充実した活動ができて満足しているようでした。とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました
- ・ためになるプログラムが多かったです。子どもの活動が多いものと少ないものがあつたので、全てのプログラムが活動が多いと良いなと思いました。
- ・資料、ワークシート、実験等、興味をひく教材が多く勉強になりました。ありがとうございました。
- ・グループによってレベルが違っていて、全員の生徒が理解するには難しいのではと感じました。
- ・率直に言うと、見たり聞いたりするよりも、作業や実験など児童生徒自身が行う活動があるものの方がくいつきが良かった様に思う。
- ・希望児童を集めるのは大変でしたが、どの児童も「楽しかった」と言っていて、大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・たくさんのプログラムが用意されていて、さらに自分の選択した所に参加できたことを生徒がとても喜んでいました。学校では、ここまでの企業の方を活用することはできないので、参加できてよかったです。

- ・ゲームや活動を通して、子ども達が生き生きと学ぶ姿がとても印象的でした。今後も外部機関との連携の在り方を考えていきたいと思います。本日は貴重な機会をいただきありがとうございました。
- ・ゲームやワークショップ体験をともなうプログラムでは、生徒は楽しく学び、心に残ったものが多かったと思います。
- ・素晴らしいプログラムを準備いただき、ありがとうございました。
- ・企業の方が熱心に説明してくださるので聞き入ってしまいました。自分にとってもとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・民間企業の準備された内容は、教員の考えのものと違う点がすばらしいと思う反面、その内容については良く考える必要があると感じた。
- ・子供たち（小学生）は楽しんで取り組んでいたのがよかったです
- ・マネジメントは、学校の現場ではなく教育委員会が行ってほしい。（現場に企業とやり取りするノウハウや余力は無い）

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

第二部 「地域学校協働活動」の事例紹介とワークショップ



挨拶・事業主旨説明



事例紹介 横浜市立東山田中学校の地域学校協働活動について



ワークショップ

<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>これからの教育課程の理念 「社会に開かれた教育課程」の実現</p> <ol style="list-style-type: none"> 社会や世界の状況や価値観を入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を築くという目標を持ち、教育課程を介してその価値を社会と共有していくこと。 これからの社会を創りだしていく子供たちが、社会や世界に好奇心を振り回し、自分の人生を切り開いていくために必要となる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。 教育課程の実現に当たって、関係的人的・物的資源を活用したり、教育や学習の場を拡大した「社会開かれた教育課程」の構築により、学校教育を学校内にとらえず、その価値を社会と共有し、連携し発展させること。
<p>主体的・対話的で深い学びの推進「アクティブ・ラーニング」の観点からの教育課程について</p> <ol style="list-style-type: none"> 学ぶことに興味・関心をもち、自分のキャリア形成の方向性と関連付けながら、意図を持って取り組む学び、自己の学習活動を振り返って決める「主体的な学び」が実現できているか。 子供同士の対話、教師と他の人との対話、先達の考え方を手掛かりに考えることを通じ、自分の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。 目標・課題・成果という学びの過程の中で、各教科等の内容を応じた「能力・考え力」を養いつつながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を統合して考えを形成したり、問題を思い込んで解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに関与し「深い学び」が実現できているか。 	<p>カリキュラム・マネジメントの3つの側面</p> <ol style="list-style-type: none"> 各教科等の教育内容を相互に関連させ、学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。 教育内容の向上に向けて、子供たちの学習や理解の状況等に関する調査や各種データ等に基づく、教育課程を構築し、実施し、評価して改善を図る一環のPDCAサイクルを確立すること。 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。 	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>これからの教育課程の理念 「社会に開かれた教育課程」の実現</p> <ol style="list-style-type: none"> 「社会に開かれた教育課程」の構築により、学校教育を学校内にとらえず、その価値を社会と共有し、連携し発展させること。 これからの社会を創りだしていく子供たちが、社会や世界に好奇心を振り回し、自分の人生を切り開いていくために必要となる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。 教育課程の実現に当たって、関係的人的・物的資源を活用したり、教育や学習の場を拡大した「社会開かれた教育課程」の構築により、学校教育を学校内にとらえず、その価値を社会と共有し、連携し発展させること。
<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>
<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>
<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>
<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>
<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>
<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>	<p>地域学校協働活動の推進について</p>

<p>学習支援が必要な子どもを、地域も育ち支えよう！学習支援 ～地域も育ち支えよう！地域も育ち支えよう！～</p> <p>【目的】 1. 地域も育ち支えよう！～地域も育ち支えよう！～</p> <p>【実施概要】 1. 地域も育ち支えよう！～地域も育ち支えよう！～</p> <p>【実施内容】 1. 地域も育ち支えよう！～地域も育ち支えよう！～</p>	<p>外部人材を活用した土曜日の教育支援活動</p> <p>【目的】 1. 外部人材を活用した土曜日の教育支援活動</p> <p>【実施概要】 1. 外部人材を活用した土曜日の教育支援活動</p> <p>【実施内容】 1. 外部人材を活用した土曜日の教育支援活動</p>	<p>「地域も育ち支えよう！」について</p> <p>【目的】 1. 「地域も育ち支えよう！」について</p> <p>【実施概要】 1. 「地域も育ち支えよう！」について</p> <p>【実施内容】 1. 「地域も育ち支えよう！」について</p>	<p>【学習支援の事例に関するリンク】 URL: http://kyo2.mext.go.jp</p> <p>【学習支援の事例に関するリンク】 1. 学習支援の事例に関するリンク</p> <p>【学習支援の事例に関するリンク】 1. 学習支援の事例に関するリンク</p>
<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>	<p>その他参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校を核とした地域力強化プラン ……39頁 ○放課後子ども総合プランの推進 ……40頁 ○放課後子ども教室の参考事例 ……41頁 ○地域未来塾の参考事例 ……47頁 ○外部人材を活用した土曜日の教育活動の参考事例 ……49頁 	<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>	<p>「放課後子ども総合プラン」の推進</p> <p>【目的】 1. 「放課後子ども総合プラン」の推進</p> <p>【実施概要】 1. 「放課後子ども総合プラン」の推進</p> <p>【実施内容】 1. 「放課後子ども総合プラン」の推進</p>
<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>	<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>	<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>	<p>学習プログラムが充実している放課後子ども教室の事例</p> <p>【目的】 1. 学習プログラムが充実している放課後子ども教室の事例</p> <p>【実施概要】 1. 学習プログラムが充実している放課後子ども教室の事例</p> <p>【実施内容】 1. 学習プログラムが充実している放課後子ども教室の事例</p>
<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>	<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>	<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>	<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>
<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>	<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>	<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>	<p>他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【目的】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施概要】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p> <p>【実施内容】 1. 他府県の取組活動に関する参考事例</p>

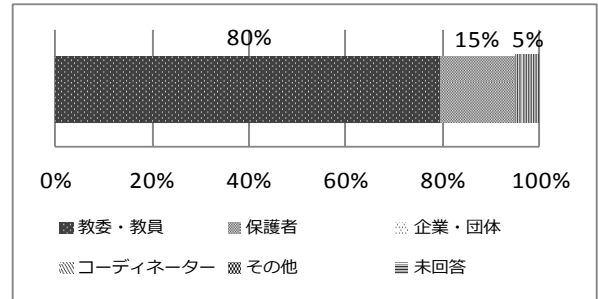
□事例紹介 横浜市立東山田中学校の地域学校協働活動について

<p>横浜市立東山田中学校における地域学校協働活動</p>	<p>子供の未来のために</p>	<p>つながりの中で育つ</p> <p>時間</p> <p>子供の成長</p> <p>空間 学校・家庭・地域…</p>	<p>事例紹介：横浜市立東山田中学校</p> <p>コミュニティ・スクールとして平成17年開校</p>
	<p>地域と学校の連携・協働のために</p> <p>学校による コミュニティ・スクール の推進</p> <p>学校 が求める 地域の資源 の活用</p> <p>コーディネーター が推進する コミュニティ・スクール</p> <p>情報の共有 思いの共有 アクションの共有</p>	<p>まず、大切にしたいこと</p> <p>情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史の文化・経緯・歴史を整理する キーパーソンを見つける 情報源を開拓する 地域の活きた情報は人が集まる 情報共有の工夫として・・・コミュニティ・サロンの開催 	<p>コミュニティ・スクール</p> <p>思いの共有</p> <p>毎月1回 学校運営協議会（審議機関）を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員を主体とした運営 生徒会役員が中心となる 学校運営協議会が中心となる 学校長の指導 地域に開かれた運営 <p>最大の強みは 平口の友人</p>
<p>地域学校協働活動</p> <p>キャリア教育をテーマに</p> <p>2018年 2019年度</p>	<p>コーディネーターの役割 機関連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校のニーズを大切に まず、担当教員と事務局が連携 それぞれの役割を明確に 教員：主体的な学習・自主学習・事後学習 コーディネーター：面接ボランティアの活用・連絡調整 担当の保護・説明・お礼状送付 継続性を高めるために キャリア教育ハンドブック「地域の柱となる人」作成 	<p>学校運営協議会と地域学校協働活動によって</p> <p>どのような成果があったか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校への理解が深まった。 多岐なアドバイスが学校運営に反映できた。 情報が増えたため、タイムリーに対応できた。 中学生の学びが豊かになった。 中学生が地域で活躍するようになった。 学校を共に地域の事業所、人がつながった。 	<p>働き方 コミュニティハウス</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供も大人も一緒につくる学校の場 地域と学校をつなぐ場 <p>協働の成長</p>
<p>支援から連携・協働へ</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマでつながる 関係機関とテーマコミュニティ コーディネーターがつなぐ 地域連携担当教員と地域コーディネーター イコールパートナーとして 「一緒にやってみよう！」を合言葉に プロセスを共有 目標のコミュニティ・アクションを大切に 	<p>ロジャー・ハート 『子どもの参観』より</p>	<p>これからの学校を理解する</p>	<p>大人も学ぶ</p> <p>異なった文化・価値観に出会い それぞれの役割を認識し、強みを活かして 「地域とともにある学校」として協働するために</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校 教員養成段階から管理職まで「地域とともにある学校」のための学び 家庭 当事者意識の醸成 地域 学校運営協議会委員 学校運営ボランティア 協議コーディネーター 企業も教員研修も新しい学び
<p>子供の未来のために</p> <p>道端に学びがある</p> <p>まちの未来のために</p>			

□第二部アンケート結果

参加者の属性

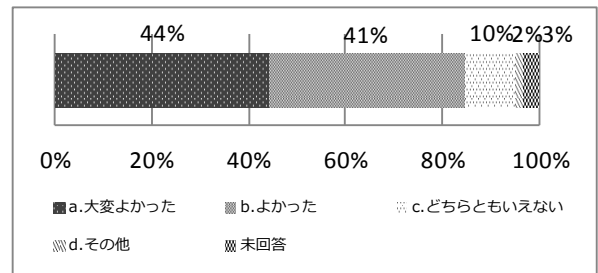
回答	回答数	構成比
教委・教員	94	80%
保護者	18	15%
企業・団体	0	0%
コーディネーター	0	0%
その他	0	0%
未回答	6	5%
計	118	100%



1. 本日のプログラムについて、ご意見をお聞かせください。

1) 事例紹介について (1つ選択)

回答	回答数	構成比
a.大変よかった	52	44%
b.よかった	48	41%
c.どちらともいえない	12	10%
d.その他	2	2%
未回答	4	3%
計	118	100%



「d. その他」コメント

特殊な事例を一般化することはできない。地域はもっと多種多様です。

2) 上記で大変「大変よかった」「よかった」と回答いただいた方は、特にどういった点がよかったか (参考になったか)、理由もいっしょにお教えてください (自由記入)

【a. 大変よかった】

- ・地域学校協働活動について、具体的な活動を聞くことができ大変良かった。
- ・コミュニティスクールのことがよく分かった。
- ・地域に竹原さんのような人がいるのが良かった。
- ・出来ることを1つずつという姿勢。片方だけでなく、双方が満足、納得できるやり方。
- ・東山田中での地域学校協働活動は、大変参考になりました。コーディネーターの方を介しながら、学校と地域が繋がっていけるよう私も考えて行きたい。
- ・学校と地域が円滑に関わるということがどのようなことかよく分かった。
- ・学校と地域をつなぐコーディネーターの役割
- ・具体的な話が多く、参考になった。
- ・具体的に活動、そのための手順がわかった。
- ・PTA 活動をするにあたって、今後どのように地域の人を取り込み、活動していけばという参考になった。国としてもそうしたことを推進していることもわかった。
- ・今まで、このような機会に参加することがなかったので、これからの参考になった
- ・教育現場において、教員、保護者、地域の協力が子供の健全な育成には必要不可欠であると思うが、多様な考え方や価値観があり、協力が難しかったり効果的でなかったりすることがある。今後の教育活動においては、協働するために同じ価値観を作ることが重要と考えており、そのヒントをいただけたので。
- ・具体的に分かりやすく説明していただき良かったから。

- ・横浜市立東山田中の事例は、大変驚かされ、感動もしました。積み重ねてきた具体例がとても参考になりました。
- ・教育長の「社会力」と文科省の説明がスッと一致して入ってきました。それに基づいて、コーディネーターとしての実践例は、地域コーディネーター側からの地域と学校（子ども）をつないだ内容で大変勉強になりました。
- ・次のSTEPにつながる情報を入れることができたし、週日の会議に活かしていきたい。
- ・事例発表の言葉の中に、子どものためにしていることがそれは地域社会のためにしていることにつながっていくことの実勢や事例を含めて同感しました。
- ・事例が非常に参考になりました。
- ・学校教育に地域活動に関わりをもっていることがよくわかった。資料がとてもわかりやすく参考になった。
- ・活動のしかたや結果がよくわかった。
- ・コーディネーターの役割や育成について、やりながら成長していく、子どもたちの力を引き出すきっかけづくり
- ・竹原さんの話を聞いて、夢をもつことができた。そういう地域を作りたいと単純に思った。
- ・地域と学校、社会と子どもの協働活動のイメージが見えてきたように思ったからです。
- ・なかなか知る機会がないので、ためになりました。
- ・現在の中学生にとっては、様々な場面がモノクロあるいは単調に思えてしまうのではないかと思う。様々な見方や考え方を吸収するために適切だと思った。
- ・具体的な事例がわかりやすかった
- ・具体的だったので
- ・気づかない点を改めて気づき、認識させて頂きました。やれることは沢山あると思いました。
- ・とてもわかりやすいお話で、やってみたい…という思いがふくらみました。お会いできてよかったです。すばらしい生き方をなさっていらっしゃいます。
- ・現在までの流れについて具体的に紹介していただき、参考になる事例もたくさん聞かせてもらいました。
- ・学校の中に地域の人が気軽に立ち寄れるコミュニティの場所があり、すばらしいと思いました。
- ・コーディネーターのはたらきで学校と地域がつながり、理想的な「地域学校協働活動」が実践されている。学校が中心になり、地域が発展する。たいへんすばらしいと思った。
- ・文部科学省の方より、現状と課題を直接聞くことができたから
- ・地域と一体となった教育がやがては大人が元気になり、まちづくりにつながったという点がすばらしい。「社会のための教育」ではなく、「教育のための社会」への変革です！！
- ・コーディネーターの役割がよくわかった
- ・具体的な関わりを提示いただき、その効果の有効性がよく伝わりました。私たちが今やっていること（近いこと）やれそうなことが想起できました。
- ・子どもだけでなく、地域改善が進んだ事例が聞けて参考になりました。
- ・日頃自分が考えていたことが、具体的な事例等で紹介されとても参考になった。自分もやってみたい。
- ・地域と学校が本音で語り合うこと。二つをつなぎコーディネートすることの大切さ。そして、その実現により、明るい・未来を感じとることができました。
- ・好事例の紹介であり、一つの目標となった。

【b. よかった】

- ・事例
- ・事例を交えてのお話だったのでわかりやすかった。
- ・これまで考えたことのないテーマだったから。
- ・事例がとても参考になった。また参考事例集が今後たいへん役に立つと思う。
- ・地域、学校間で意識を持っており、それが地域の環境を変えること。

- ・地域との連携を考える上でヒントをたくさんいただいた。
- ・全国において、大人や保護者、教育者が子供たちのため、未来のために真剣に取り組んでいる様子がよく理解できた。
- ・地域との連携のモデルを見せていただいたから。
- ・協働活動が子どもにとって有効なものだと感じました。
- ・地域で実際に活躍されているコーディネーターの方から現状の取組について話を聞けたからよかった
- ・東山田中学校の取組がとても良かった。
- ・東山田中学校の事例紹介の話がとてもためになった。
- ・本学園でも学校進学協議会を組織し、コミュニティスクールを目指す第一歩の取組を行っています。そういう点で組織、活動例は参考になりました。
- ・地域との連携の事例や、地域学校活動の推進について理解を深めることができた。
- ・先進地の事例をお聞きできた。
- ・具体的な活動が見えたのでよかった。竹原さんの発表はわかりやすく、とてもよかった。
- ・地域と一体になって子どもを育てていくという形を私たちの学園も目指しています。手本になりそうです。
- ・地域学校協働活動についての具体事例がわかりやすく説明されていた。
- ・地域学校協働活動とは何なのかよくわかった。事例を紹介していただいて面白かった。
- ・VTRをみせていただけたので、地域の方々の表情、子どもたちの表情がよくわかりました。地域学校協働活動の事例がわかりやすかったです。
- ・イメージが湧いた。自校と似た環境の地域の事例も知りたかった。
- ・横浜市の中学校の事例、◎災害時の避難所の稼働がすばやかったこと
- ・地域学校協働活動について知ることができたから。
- ・前向きな気持ちになる取り組みだったため
- ・先行活動事例は今後取り組むつくば市にとって参考になると思ったから
- ・地域が一体になることが良いと思った。
- ・これからの学校教育に必要なことだと思いました。
- ・地域学校協働活動の基本的な考え方、事例について知ることができた
- ・地域、保護者などが協力することで学校が開かれ子供達の様子が良くわかるようになりとても良いと思いました
- ・地域の人も笑顔になれる活動というところがよい
- ・地域学校協働活動について事例でわかりやすく説明してくれたところ
- ・具体例を示して、立場として、何をすることが大切なのか、どう行動していけばいけないのか、とてもわかり、今後の自校の活動を計画する上で参考になりました。
- ・先進校、先進地域の歩み（少しずつの取組を継続）を具体的にお聞きでき、初めから全てうまく運ぶ必要はないと気が楽になりました。
- ・地域との連携について、じっくりと考える機会をもつことができた。
- ・実践に具体性があった
- ・子育ては親（家族）で見えていくものだと思っておりました。学校も含め、地域の方々と一緒に子供の未来を考えて行けるようにしたいと感じた。
- ・地域と学校の連携、協力の大切さを改めて感じました。
- ・地域へのアプローチの仕方が少し見えたような気がする

【選択肢未回答】

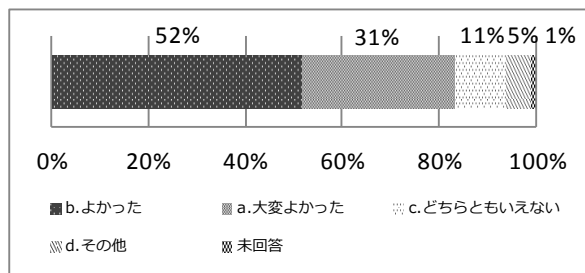
- ・成功に導いた具体的な要因がわかった。

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

2. 本日のワークショップについて、ご意見をお聞かせください。

1) ワークショップについて (1つ選択)

回答	回答数	構成比
b.よかった	61	52%
a.大変よかった	37	31%
c.どちらともいえない	13	11%
d.その他	6	5%
未回答	1	1%
計	118	100%



「d.その他」コメント

- ・お仕着せとを感じる。我々は日々実践している。改善につとめている。現場はすでに動いている。
- ・本日参加できなかったのですが、でもおそらく良かったと思います。
- ・目新しいものはなかった。自分たちも推進しているのでヒントはもらえた。
- ・グループでの話し合いの時間が短く深まりがなかった。
- ・活動時間が少なかった。(回答はC)

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

2) 上記で大変「大変よかった」「よかった」と回答いただいた方は、特にどういった点がよかったか (参考になったか)、理由もいっしょにお教えてください (自由記入)

【a.大変よかった】

- ・各学園の意識、地域の様々な意見を聞くことができた。また、自分の所属する学園の課題や解決策を具体的に考える機会になった。
- ・他校の先生方と話し合うことで、現状が整理できた。また、目指す子どもと地域の有り方について共有できた。
- ・地域と連携すること。
- ・同じ学園の先生と意見交換ができ、実現しやすいから。
- ・保護者の方と話し合いができたこと。
- ・共通の認識が得られた。
- ・自分の学校の活動をふり返ることができた。比較することで、改善点や反省点を見つけることができた。
- ・自校の実態について、振り返ることができた。
- ・つくば市内だけでなく、他の所の活動もわかり、課題に対しての解決のポイントも参考になった。もっともっと地域連携も含めたPTA活動を行っていきたいと思った。
- ・学校、地域の課題を実際に知れて、これからどうしたらいいか分かった。
- ・課題を改めてとらえることができた。
- ・課題解決のためアドバイスをいただけて良かったから
- ・課題が明確になりました。
- ・学校教育に地域の方々が関わってrからの変化がよく理解できた。
- ・気がつかないうちに、自分たちも同じような活動をしている。
- ・文科省の先生、事例発表いずれも参考になりました。
- ・経験豊富な先生方のお話をグループ内で聞くことができた。
- ・継続実践している地域の方の話しを聞くことでたいへん参考になりました。
- ・どこから手をつければいいのか分からなかったが、ヒントが得られたと思います。
- ・様々なヒントを与えられました。
- ・共有ができた

- ・話しあう時間の設定がよかった
- ・同じ学園でのワークショップだったので、地域のついで深い意見交換ができた
- ・考えなければならぬ事を先生と再認識することができました。
- ・学園としての現状→課題が整理出来たこと
- ・実践されていらっしゃる方のお声を聞かせていただくことができ、うれしかったです。
- ・学園内で協議できた
- ・学園で改めて考えを整理できた。
- ・東山田中の実施は分かりやすかった。
- ・学園、学校として一まとめにさせていただいたので、話しが焦点化しやすかった

【b よかった】

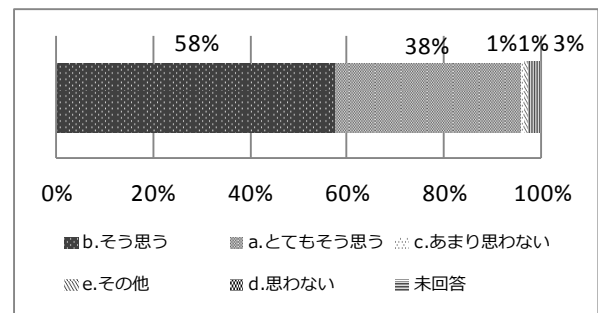
- ・ワークショップの教室によって、やや差が見られた
- ・課題が整理され、明確になった
- ・グループでいろいろな意見が出て参考になった
- ・地域連携について他校の課題を聞くことができた。また、アドバイザーからの意見が聞けたから
- ・気づき
- ・同じ学園の先生方と現状に合った話し合いができてよかった。
- ・いろいろな手法、アイデアが聞けた。
- ・他の地域の実践を聞くことができ、自分たちの学校の課題を見つめなおすことができた。
- ・いろいろな意見が聞けたのでよかったです。
- ・竹原和泉様などからのアドバイスが参考になった。
- ・学園内で活動や課題の確認をすることができた。
- ・学校の取組を書きだすことで整理して考えることができ、良い点、課題点がわかった。また同じ学園でもそれぞれの学校によって特色があり、それを知ることができたのは今後役立つと思うので
- ・自分が協働活動について考えることができた。
- ・地域学校協働活動への理解が深まった。
- ・こういった機会がなければ、日々の仕事に追われてなかなか思考する時間はないので貴重な時間となった。
- ・同じ地域や学校の話は良さについて確認できた。
- ・他のグループの意見やアドバイザーの方の話を聞き、課題が共有できたこと。
- ・共有できたこと。
- ・同学園の地域での話し合いの中で、学校地域が子どものために何ができるのか、共に考えることができた。
- ・現状を理解し、整理することができた。
- ・学園ごとにワークショップを行ったので、地域、学校のことが同じ話題として考えやすかったです。
- ・"新しい"教育情報に触れたこと
- ・地域学校協働活動について知ることができたから。
- ・PTA 会長や管理職の意見を知ることができたから
- ・アドバイスをもらえたので
- ・知らなかった事が知ることができた
- ・現状や課題、解決の方法などを考える機会となりました。
- ・現在、本校 PTA が中心となっている学校支援ボランティアはこの協働活動であるととらえられました。今後は、地域との協働を広げていくことが大切であると思いました。
- ・他の学校で行っている活動を知ることが出来良かった
- ・地域の関心事を学校に組み込んでいくことの大切さを感じた。

- ・連携、協働のための課題について改めて考えることができました。
- ・同じ学園の教員が、いっしょのグループを行ったということで、さっそく次年度から使える、その方向性が見えてきた気がします。
- ・実際に多くのことを考えることができたから（現状、課題など）
- ・今の学校でどんなことができるのかということを考える（前向きに）ことができたから。
- ・同じ学園で話し合えたため、地域の実情を踏まえて実現に向けた協議ができました。
- ・これまでの取組をふり返ることができた。
- ・地域との連携について、じっくりと考える機会をもつことができた。
- ・まず、コーディネーターという方がいるとは知りませんでした。多様な考えを、子供に与える事ができるのはとても良い事だと思いました。
- ・アドバイザーからの事例紹介等が参考になった。
- ・地域との連携について、具体的な事例を紹介していただき、イメージをふくらませることができた
- ・他の学園の状況を知ることができた
- ・学校だけで抱え、苦しい状況があるなかで、希望の道筋が見えた気がします。
- ・さまざまな方々の意見を取り入れて、この活動自体が活性化できる、するのであれば「よかった」ということが言えると思った。

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

3) ワークショップに参加して、あらためて、次世代の学校・地域創生に向けて、「地域学校協働活動」の必要性や有効性が理解できた。(1つ選択)

回答	回答数	構成比
b. そう思う	68	58%
a. とてもそう思う	45	38%
c. あまり思わない	1	1%
e. その他	1	1%
d. 思わない	0	0%
未回答	3	3%
計	118	100%

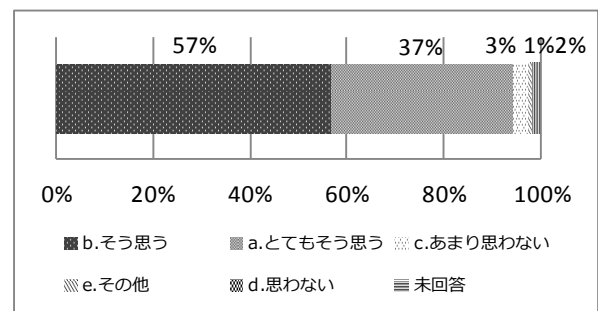


e. コメント

参加しなくても必要性、有効性を確認している。

4) ワークショップに参加して「地域学校協働活動」による学習支援が、今後ますます必要になると感じた。(1つ選択)

回答	回答数	構成比
b. そう思う	67	57%
a. とてもそう思う	44	37%
c. あまり思わない	4	3%
e. その他	1	1%
d. 思わない	0	0%
未回答	2	2%
計	118	100%

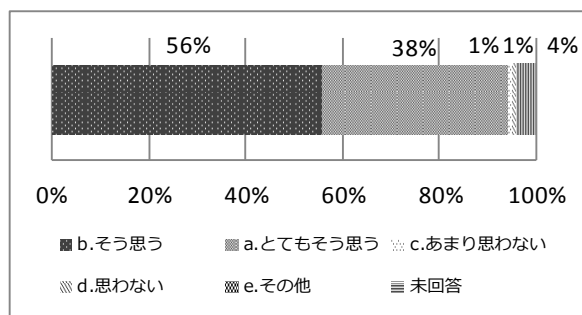


e. コメント

それぞれのやり方があるはず。

5) 今後、自分も「地域学校協働活動」に協力したい、取り組みたいと思う。(1つ選択)

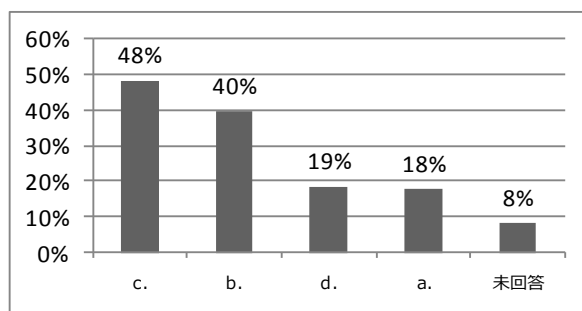
回答	回答数	構成比
b. そう思う	66	56%
a. とてもそう思う	45	38%
c. あまり思わない	1	1%
d. 思わない	1	1%
e. その他	0	0%
未回答	5	4%
計	118	100%



6) 「地域学校協働活動」に協力する(取り組む)にあたり、課題となることは何ですか。(複数回答可)

回答	回答数	相対度数
c. 時間が取れない	57	48%
b. 段取り、手順がわからない	47	40%
d. その他	22	19%
a. 何をしたいのかわからない(内容)	21	18%
未回答	10	8%

N=118



「d. その他」コメント

- ・みなさん活動に興味を持って理解いただくことが大切だと思う
- ・活発化するためには、コーディネーターのような存在が大きい。
- ・コーディネーターを探すこと。
- ・時間もそうだが人手、人材が足りない。
- ・校内研修が多すぎる。
- ・社会全体の働き方改革が必要、学校や地域だけの問題ではない
- ・子ども→大人の連携だけでなく、大人→大人の連携をもっと強化しないと地域創生はおぼつかないと改めて感じた。
- ・地域の方がどれくらい理解し、協力してくれるのが未知数です。
- ・学校の強み、地域の強みを生かしてどんな連携が取れるのかを明確にしていくこと。
- ・コーディネーター(学園単位?)や学校単位サポーターを行政(市教委)で立ち上げ、育成する必要があると思う。
- ・システム、組織化
- ・地域コーディネーターの選定
- ・キャリア教育を中心にすすめていきたい。コミュニティハウスの設立。コーディネーターの存在が今のところない。
- ・PTA活動すら負担になっている現状、地域の中核都市なら活動が多様になり得るが、あまりにも住民が少なく、人材もとぼしい。地域差。
- ・地域の理解を得るためのアプローチ
- ・現状での活動の整理、組み換え、目標や課題の確認の上で
- ・職員の共通理解を図る
- ・コーディネーター育成
- ・どのような素材が地域にあるのかが、十分に理解できていないと、活動はむずかしいと思います。
- ・コーディネーターを雇う予算
- ・教員、地域の意識改革

3. その他、本日まで参加されてのご意見、ご感想等、ご自由にご記入ください。

- ・大変お世話になりました。
- ・本日はご苦勞さまでした。
- ・新学習指導要領の全貌もみえてきたが、この地域学校協働活動は中核を成す活動になってくると思う。積極的に取り組んでいきたい。
- ・本校の家庭環境の実態を考えると、家庭の教育力は決して高くはありません。それを学校で補いきれない部分はあります。地域との協働の大切さを改めて感じました。小さなことから取り組みたいと切に感じました。
- ・とても有意義でした、ありがとうございました。
- ・時間がほぼ守られての終了だったので安心した。
- ・大変ためになる講演、活動でした。
- ・参考になりました。ありがとうございました。
- ・参考になりました。
- ・貴重な研修ができた。ありがとうございました。
- ・PTA 活動を行ってきて、学校、生徒、保護者を交えた取り組みは結構やってはきたが、地域連携となると不十分であると認識できた。このフォーラムを今後に生かしていきたい。
- ・何よりも今回の学習指導要領のまです社会に開かれたカリキュラムづくりとカリキュラムの公開が重要になると考えます。地域にカリキュラムを開くことで、様々なアイデアが学校に寄せられるようになることが期待できるからです。
- ・地域との連携の在り方についてのヒントをたくさんいただきました。フォーラムでは教員の立場、地域の立場、考え方など具体的に聞くことができたのでとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・学校（教員）側は、児童生徒の育成を最優先して考えるので理解も協力もしやすいが、地域（企業）の方々にも広めていく機会（今日のような）をもっともっともうけられたらなと考えます。
- ・もともと、地域やPTAの協力が大きい学校だが、学校だけで地域学校協働活動事業を理解できても、地域やPTAに理解してもらおうのは大変。
- ・協働活動のスタートの部分にどうかかわっていくか、そこが動き出すと様々な方が動き出します。その段取り、する裏方をどう行っていく、地域によって学校によって地域によって様々であり、難しいと感じている。でも学校としての必要性も十分に把握し、やらなくては行けないと痛感しました。
- ・今後の方向性が少し見えてきました、本当にありがとうございます。
- ・とても勉強になりました。今日はありがとうございました。
- ・会場校。担当の方々に本当にお世話になりました。ありがとうございました。
- ・「スクラップ&ビルド」この活動を導入するのなら何かを思い切って削る。（学校現場で）（文科省の主導で）
- ・準備がとても大変だったと思います。ありがとうございました。お話おもしろかったです。
- ・午後の部のみ参加させていただきました。今後の学園、学校経営にとっても参考になる内容でした。ありがとうございました。
- ・スクリーンがみづらかったです（特にワークショップ）
- ・これからの教育について考える良い機会でした。
- ・研修の度に“新しい教育情報”に触れることができます。今回もドキドキしました。
- ・一緒に関わるパートナーとしての地域にしていきたいと思いました。
- ・本日はこのような機会をいただき、ありがとうございました。今後の学校づくり、地域づくりに生かしたいです。
- ・「地域」「社会」の概念規定がよくわかりました
- ・貴重な機会をありがとうございました。
- ・学校関係者だけでなく、地域の方々への広報活動も必要だなと思った。ただ、難しい…。

- ・全体的に進行が速い
- ・地域によっていろいろなケースがあるのでフォロー体制を周知してほしい！
- ・地域と連携した取り組みを行っていきたいが、教員の負担にならないようおな方向になっていかなければ広げて行けないと思います。(加配など)
- ・他の地域のお話、事例をおききできて、とても役に立ちました。ありがとうございました。
- ・子供達がすこやかに育つ為には学校の先生方にお任せするだけではなく、地域の方、保護者も協力していくことがとても大切だと痛感しました。
- ・地域学校協働活動推進フォーラムを、各学園単位に落とし込んで継続的に実施してください
- ・大変刺激になりました。本日は参加させていただき、ありがとうございました。一步を踏み出そうという気持ちになりました。
- ・地域と学校の協働の必要性を改めて感じました。できることから始めていきたいと思います。
- ・ありがとうございました。大変勉強になりました。
- ・地域学校協働本部の中心となる統括コーディネーターの方も、全くのボランティア活動で行うことを前提としているのか。文科省、つくば市のお考えをお聞きしたかったと思います。
- ・いろいろ新しい情報が得られて勉強になった
- ・ワークショップの際、講師の方の話す時間が長く感じた。もう少し考える時間がほしい。
- ・可能性を感じることができました。ありがとうございました。
- ・正直、地域ボランティアの方にもよるかなと思います。よほど源泉された方がよいのではないかと思ったので、今後の参考にさせていただければと思います。
- ・お世話になりました。輝翔学園

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

■地域学校協働活動推進フォーラム in 岡山

【概要】

日時	2017年2月25(土) 13:30-16:30	
会場	倉敷市民会館 〒710-0054 岡山県倉敷市本町17番1号	
対象	85名	
目的	地域とつながる学びや活動を組み込むために、双方向で活動を実施する仕組みや、子供の資質・能力の育成や地域力の向上にどのようにつながったのかを伝える	
実施協力	岡山県教育委員会、備前市教育委員会、早島町教育委員会	
	時間	内容
第1部	13:30～ 13:40	【挨拶・事業主旨説明】
	13:40～ 14:50	<p>【事例発表】 映像8分+事例紹介15分</p> <p>事例① 地域協働型体験教育「倉敷『町衆』プロジェクト(マチ・プロ)の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 倉敷南高等学校 キャリア国際課 課長 作野 真二 氏 <p>事例② 里海・里山ブランド創生をテーマに地域と世代をつなげる地域協働活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 日生町漁業協同組合 専務理事 天倉 辰己 氏 備前市立日生中学校 教諭 藤田 孝志 氏 <p>事例③ 地域社会全体で子どもたちを育てる「はやしま学・はやしま塾」の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 早島町教育委員会 学校教育課 指導主事 石原 知子 氏
第2部	15:00～ 16:30	<p>【パネルディスカッション】</p> <p>「変わる日本の教育と地域で育てる地域学校協働活動の意義」 次期指導要領改訂の動きに合わせて「社会に開かれた教育課程」の本質的理解と、それを支える地域学校協働推進の重要性について理解を深める内容として実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パネリスト <ul style="list-style-type: none"> 早島町教育委員会 教育長 徳山 順子 氏 倉敷南高等学校 校長 山下 陽子 氏 備前市教育委員会 教育長 杉浦 俊太郎 氏 公益財団法人 大原美術館 理事長 大原 あかね 氏 ●ファシリテーター <ul style="list-style-type: none"> 株式会社キャリアリンク 代表取締役 若江 眞紀
	16:30	【挨拶・アンケート記入依頼】

□会場の様子（写真）



事例① 地域協働型体験教育「倉敷『町衆』プロジェクト（マチ・プロ）の取組み



事例② 里海・里山ブランド創生をテーマに地域と世代をつなげる地域協働活動



事例③ 地域社会全体で子どもたちを育てる「はやしま学・はやしま塾」の取組み



パネルディスカッション

ロスライド資料（文部科学省）

<p>地域学校協働活動推進フォーラムの成果</p>	<p>今年度のフォーラムの実施状況</p> <p>地域学校協働活動推進フォーラム in 秋田 日時：平成28年11月26日（土） 参加人数：72名 テーマ：「高度地域における地域と学校の関係を考える 事例紹介とパネルディスカッション」</p> <p>地域学校協働活動推進フォーラム in つくば 日時：平成29年2月4日（土） 参加人数：143名 テーマ：【第一部】土曜学園の模範による小・中学生の学習プログラム体験 【第二部】地域学校協働活動の第一歩を踏み出すためのワークショップ</p>	<p>地域学校協働活動推進フォーラム in 秋田</p> <p>「高度地域における地域と学校の関係、教育と産業の関わり」をテーマとしたパネルディスカッション</p>	<p>地域学校協働活動推進フォーラム in 秋田</p> <ul style="list-style-type: none"> 「企業」として「協業」へという視点に集約した 「学校」たちが、地域の大人と積極的に関わるということが重要だということが理解できた 最先の仕事を知り大人と関わることで、また地元に戻ってきたいという子供が増えるなどした コーディネーターが上手く学校と地域をつなぐことで、地域と学校がWin-Winの関係になることに集約した 自分の住む街を村でまわして実践できそう <p>（参加者からのアンケートより抜粋）</p>
<p>地域学校協働活動推進フォーラム in つくば</p> <p>【第一部】土曜学園の模範による小・中学生の学習プログラム体験</p>	<p>地域学校協働活動推進フォーラム in つくば</p> <p>【第二部】地域学校協働活動の第一歩を踏み出すためのワークショップ</p>	<p>地域学校協働活動推進フォーラム in つくば</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域との連携」について、じっくり考える機会を持てた 「学校と地域が関係に変わる」ということが、どういうことか理解できた 今後の教育活動において、地域と協働するためには、学校は地域と同じ価値観を持つことが重要だと気付いた 地域学校協働活動についての具体的な活動を開けたので、活動のイメージができた 自分の学校の活動を振り返ることができた <p>（参加者からのアンケートより抜粋）</p>	<p>【第一部】土曜学園の模範による小・中学生の学習プログラム体験の必要性や有効性が理解できたことに加え、ほぼ全員が「そう思う」回答</p> <p>【第二部】ワークショップの参加者に対する「地域学校協働活動」に関心があるかという調査結果</p> <p>【第三部】ワークショップの参加者に対する「地域学校協働活動」に関心があるかという調査結果</p> <p>（参加者からのアンケートより抜粋）</p>

□事例発表者 事例① 倉敷南高等学校

<p>平成28年度 「倉敷『町楽』プロジェクト（マチ・プロ）の取り組み」</p> <p>岡山県立倉敷南高等学校</p>	<p>目次</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事業のねらい 2 事業の概要 3 評価と分析 	<p>1 事業のねらい</p> <p>(1)これまでの取り組み</p> <p>「地域理解」「体験学習」のキャリア教育へ進化 ・学校指定教育「キャリア」（平成28年度～） ・自費「町楽」精神育成事業（平成29年度～）</p>	<p>1 事業のねらい</p> <p>(1)これまでの取り組み</p> <p>「地域理解」「体験学習」のキャリア教育へ進化 ・学校指定教育「キャリア」（平成28年度～） ・自費「町楽」精神育成事業（平成29年度～）</p> <p>学びの志 「郷土の発展を支える学びの推進」 「生徒の夢や目標の実現」</p>
<p>2 事業の概要</p> <p>(2)本事業の方向性と目標</p> <p>方向性 ①公民性の高い市民の育成 ②グローバル化する社会に貢献・活躍できる人材育成</p> <p>目標 ・教育環境の幅を拡大 ・グローバルな視点・志向を持つ生徒の増加 ・教員のコーディネート力の向上</p> <p>目的 「グローバル人材育成」と 「学力（授業力）向上」の融合 Think Locally, Act Globallyの実践者</p>	<p>2 事業の概要</p> <p>2年次 Think Globally 3年次 Think Globally</p> <p>1年次 Act Locally 2年次 地域実践 3年次 国際交流</p> <p>問題発見 問題解決 協働的・自律的成長</p> <p>「21世紀型能力」開発</p>	<p>2 事業の概要</p> <p>1年次: Act Locally フィールドワーク・ラーニングカフェ・ポスターセッション</p>	<p>2 事業の概要</p> <p>1年次: Act Locally</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ラーニングカフェ・フィールドワーク ②ポスターセッション ③グローバルキャリア講演会 ④カクマアハイスクール・レジュメと文芸 <p>問題発見力</p>
<p>2 事業の概要</p> <p>2年次: 地域実践 (1)キャリアI・課題研究</p>	<p>2 事業の概要</p> <p>2年次: 地域実践 (1)キャリアI・課題研究</p>	<p>2 事業の概要</p> <p>2年次: 地域実践 (1)キャリアI・課題研究</p>	<p>2 事業の概要</p> <p>2年次: 地域実践 (1)キャリアI・課題研究</p>
<p>2 事業の概要</p> <p>2年次: 地域実践 (2)関係機関・事業所訪問</p>	<p>2 事業の概要</p> <p>2年次: 地域実践 (2)関係機関・事業所訪問</p>	<p>2 事業の概要</p> <p>2年次: 地域実践 (2)関係機関・事業所訪問</p>	<p>2 事業の概要</p> <p>2年次: 地域実践 (3)仕事の達人講演</p>
<p>2 事業の概要</p> <p>2年次: 地域実践 (3)仕事の達人講演</p> <p>「遠征から」 岡山県産品 岡山県産品 「グローバル」 岡山県産品 岡山県産品</p>	<p>2 事業の概要</p> <p>2年次: 国際交流 (6)グローバルキャリア交流会（留学生との交流）</p>	<p>2 事業の概要</p> <p>2年次(1年次): 海外実践 カンボジア研修</p>	<p>2 事業の概要</p> <p>2年次(1年次): 海外実践 カンボジア研修 【山本日本語教育センター】</p>

<p>2. 多量の教育</p> <p>●2年次(1年次):海外実践</p> <p>カンボジア研修【アンコール遺跡】</p> 	<p>2. 多量の教育</p> <p>●2年次(1年次):海外実践</p> <p>カンボジア研修【アンコール遺跡】</p> 	<p>2. 多量の教育</p> <p>●2年次(1年次):海外実践</p> <p>カンボジア研修【アンコール遺跡】</p> 	<p>2. 多量の教育</p> <p>●2年次(1年次):海外実践</p> <p>カンボジア研修【タカハルムスネスクール】</p> 																																																																																																																																																																																																								
<p>2. 多量の教育</p> <p>●2年次(1年次):海外実践</p> <p>カンボジア研修【タカハルムスネスクール】</p> 	<p>2. 多量の教育</p> <p>●2年次(1年次):海外実践</p> <p>カンボジア研修【文化祭で研修報告】</p> 	<p>2. 多量の教育</p> <p>●2年次(1年次):海外実践</p> <p>カンボジア研修【文化祭で研修報告】</p> 	<p>2. 多量の教育</p> <p>●2年次:地域実践・海外実践</p> <ol style="list-style-type: none"> ①課題研究(甲府・文芸春秋(キック)) ②グローバルキャリア講演会 ③ポスターセッション(甲府府庁) ④留学生との交流 ⑤仕事の達人講演(キャリアUP) ⑥カンボジア研修(異文化理解) <p>問題解決力</p>																																																																																																																																																																																																								
<p>2. 多量の教育</p> <p>●3年次: Think Globally</p> <p>デバート大会</p> 	<p>2. 多量の教育</p> <p>●3年次: Think Globally</p> <p>①デバート大会(会場版)</p> <p>②キャリア講演会</p> <p>論理的・批判的思考力</p> 	<p>2. 評価と分析</p> <p>カンボジア研修</p> 	<p>2. 評価と分析</p> <p>【2013年度海外研修(カンボジア)の研修】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>性別</th> <th>学年</th> <th>出身校</th> <th>1年次</th> <th>2年次</th> <th>3年次</th> <th>4年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>1</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>2</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>3</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>4</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>1</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>2</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>3</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>4</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>1</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>2</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>3</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>4</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>1</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>2</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>3</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>4</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>1</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>2</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>3</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>4</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>1</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>2</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>3</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山本 大</td><td>男</td><td>4</td><td>山梨県立日南高等学校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	氏名	性別	学年	出身校	1年次	2年次	3年次	4年次	山本 大	男	1	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	2	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	3	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	4	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	1	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	2	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	3	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	4	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	1	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	2	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	3	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	4	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	1	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	2	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	3	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	4	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	1	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	2	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	3	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	4	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	1	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	2	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	3	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1	山本 大	男	4	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1
氏名	性別	学年	出身校	1年次	2年次	3年次	4年次																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	1	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	2	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	3	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	4	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	1	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	2	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	3	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	4	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	1	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	2	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	3	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	4	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	1	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	2	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	3	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	4	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	1	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	2	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	3	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	4	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	1	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	2	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	3	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
山本 大	男	4	山梨県立日南高等学校	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																				
<p>3. 評価と分析</p> <p>総評</p> <p>(1)1年次生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文理選択で実施した科目(5月調査) 「得意科目(中文科)」 → 81.9% 「学びたい(中国語)」 → 76.8% <p>(2)2年次生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慶応や大学で学びたい分野の研究(4月-8月調査) 「自分から興味・関心する」 → 43.9% → 42.2% <p>(3)3年次生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い志 ・慶応大学(日東大+神戸大)への推薦 平成26年度 12名 → 平成27年度 22名 	<p>3. 評価と分析</p> <p>総評</p> <p>(4)7国際社会への貢献意識</p> <p>カンボジア研修報告(カンボジア研修生へのアンケート)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Q</td><td>53</td><td>58</td><td>58</td><td>53</td><td>53</td><td>53</td></tr> <tr><td>A</td><td>53</td><td>58</td><td>58</td><td>53</td><td>53</td><td>53</td></tr> <tr><td>B</td><td>49</td><td>53</td><td>58</td><td>58</td><td>53</td><td>53</td></tr> <tr><td>C</td><td>43</td><td>48</td><td>53</td><td>53</td><td>53</td><td>53</td></tr> <tr><td>D</td><td>49</td><td>53</td><td>58</td><td>58</td><td>53</td><td>53</td></tr> <tr><td>E</td><td>53</td><td>58</td><td>58</td><td>53</td><td>53</td><td>53</td></tr> </tbody> </table> <p>レベルアップ率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>48.7%</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td></tr> <tr><td>2年</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td></tr> <tr><td>3年</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td><td>50.0%</td></tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	Q	53	58	58	53	53	53	A	53	58	58	53	53	53	B	49	53	58	58	53	53	C	43	48	53	53	53	53	D	49	53	58	58	53	53	E	53	58	58	53	53	53	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	48.7%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	2年	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	3年	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	<p>3. 評価と分析</p> <p>総評</p> <p>(5)生徒の意識や行動の変化</p> <p>「海」に対する関心</p> <p>「海」に対する関心</p> <p>「海」に対する関心</p> <p>「海」に対する関心</p> 	<p>4. 総括</p> <p>白鶴「対馬」プロジェクトへの取り組み</p> <p>ご静聴、ありがとうございました。</p> 																																																																																																																											
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年																																																																																																																																																																																																					
Q	53	58	58	53	53	53																																																																																																																																																																																																					
A	53	58	58	53	53	53																																																																																																																																																																																																					
B	49	53	58	58	53	53																																																																																																																																																																																																					
C	43	48	53	53	53	53																																																																																																																																																																																																					
D	49	53	58	58	53	53																																																																																																																																																																																																					
E	53	58	58	53	53	53																																																																																																																																																																																																					
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年																																																																																																																																																																																																					
1年	48.7%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%																																																																																																																																																																																																					
2年	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%																																																																																																																																																																																																					
3年	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%																																																																																																																																																																																																					

□事例発表者 事例② 備前市立日生中学校

<p>と海に学び、豊かな感性を育める総合学習</p>  <p>岡山県備前市立日生中学校 第2学年主任 藤原 幸志</p>	<p>日生中の総合学習</p> <p>今までの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1年生 ... ・福祉体験・ハンセン病訪問(人権学習) ・カワの異種体験実習(地域学習) ●2年生 ... ・広島研修(平和学習) ・チャレンジワーク(道徳学習) ●3年生 ... ・修学旅行(平和学習) 	 <p>日生中の新しい総合学習</p> <p>2013年度からの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「アマモ場の再生活動」... 流れ藻の回収〜種まき ●「聞き書き」... 「海の先輩」に学ぶ 	<p>日生中の課題</p> <p>～生徒の志望と認識から～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「海」に対する認識 ... 「眺めるもの」 2. 「体験あって学びなし」 3. 言語表現の乏しさ
 <p>海が広がる風景</p> <p>～ 備前市立日生中学校～</p>	 <p>海の調査活動</p> <p>観察船(1300号)</p>	<p>日生中の新しい総合学習</p> <p>2013年度からの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「アマモ場の再生活動」... 流れ藻の回収〜種まき ●「聞き書き」... 「海の先輩」に学ぶ 	 <p>日生中の新しい「concept」</p> <p>結果・広がり・深さ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科・領域の学習と活動をつなぐ ... 横断的・探求的な学習 1. 自然体験と結び、活動を広げる ... 専門家の支援を受けず 3. 持続的な学習に活動を深める ... 認識・感性の再構築 <p>豊かな感性と将来にわたる実践力の育成</p>
 <p>海が広がる風景</p> <p>2013.5.24</p>	 <p>海の先輩へのインタビュー</p> <p>2013.5.17</p>	 <p>海の先輩へのインタビュー</p> <p>2013.5.17</p>	 <p>アマモ場の観察(聞き書き)</p> <p>2013.5.24</p>
<p>日生中の新しい「concept」</p> <p>結果・広がり・深さ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科・領域の学習と活動をつなぐ ... 横断的・探求的な学習 1. 自然体験と結び、活動を広げる ... 専門家の支援を受けず 3. 持続的な学習に活動を深める ... 認識・感性の再構築 <p>豊かな感性と将来にわたる実践力の育成</p>	<p>海洋学習を中心にした総合学習</p> <p>2014年度の取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全員で取り組む「海洋教育」... 教員の意識を変える 2. 全校で取り組む「海洋学習」... 先輩から後輩へ 3. 「海洋学習」を中心に位置づけた総合学習 	 <p>「海の先輩」へのインタビュー</p> <p>～先輩からの質問～</p> <p>2014.5.27・30</p>	 <p>「海の先輩」へのインタビュー</p> <p>～先輩からの質問～</p> <p>2014.5.27・30</p>

		<h3>日生活中的新しい総合学習</h3> <p>2015年度の取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新入生へのプレゼン…先輩から後輩につなぐ 2. 人権劇「海に帰る人々」…思いを受け継ぐ 3. 『アママも再生ガイドブック』…全国に伝える 	<p>1年級へのプレゼン 2015. 8. 9</p>																								
<p>人権劇「海に帰る人々」 2015. 10. 17</p>	<p>『アママも再生ガイドブック』作成 2015. 12. ... 2016. 3.</p>	<h3>「総合学習」の勉強は好きですか</h3> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>好き</th> <th>嫌い</th> </tr> <tr> <td>1年級</td> <td>45%</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>2年級</td> <td>40%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>3年級</td> <td>35%</td> <td>65%</td> </tr> </table>	学年	好き	嫌い	1年級	45%	55%	2年級	40%	60%	3年級	35%	65%	<h3>原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか</h3> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>難しい</th> <th>簡単</th> </tr> <tr> <td>1年級</td> <td>20%</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>2年級</td> <td>18%</td> <td>82%</td> </tr> <tr> <td>3年級</td> <td>15%</td> <td>85%</td> </tr> </table>	学年	難しい	簡単	1年級	20%	80%	2年級	18%	82%	3年級	15%	85%
学年	好き	嫌い																									
1年級	45%	55%																									
2年級	40%	60%																									
3年級	35%	65%																									
学年	難しい	簡単																									
1年級	20%	80%																									
2年級	18%	82%																									
3年級	15%	85%																									
<h3>「総合学習」で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか</h3> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>役に立つ</th> <th>役に立たない</th> </tr> <tr> <td>1年級</td> <td>40%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>2年級</td> <td>35%</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>3年級</td> <td>30%</td> <td>70%</td> </tr> </table>	学年	役に立つ	役に立たない	1年級	40%	60%	2年級	35%	65%	3年級	30%	70%	<h3>日生活中的新しい挑戦</h3> <p>2016年度の取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人権劇「ありがとう」…記憶をつなぐ 2. 『アママも再生ガイドブック part 2』…秋後化 	<p>ご賛助ありがとうございました</p>													
学年	役に立つ	役に立たない																									
1年級	40%	60%																									
2年級	35%	65%																									
3年級	30%	70%																									

□事例発表者 事例③ 早島町教育委員会

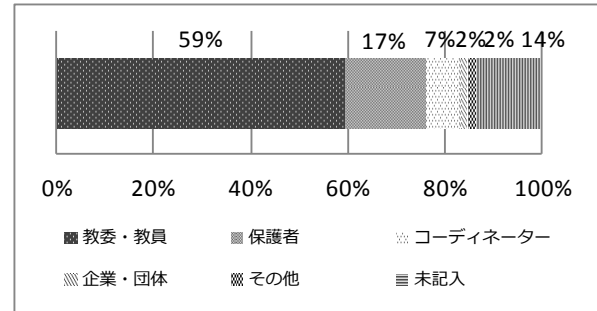
<h3>早島から世界への扉を開く！「教育のまち・早島」の挑戦</h3>	<h3>地域社会全体で子どもたちを育てる「はやしま学・はやしま塾」の取組</h3>	<h3>保幼小中一貫教育に向けて（3保・1幼・1小・1中）</h3>	<h3>早期幼の教育は地域とつながり 未来を拓く 早島っ子の育成をめざします</h3>
<h3>早島町学校教育ビジョン</h3>	<h3>早島町学校教育ビジョン</h3>	<h3>学校支援体制づくり</h3>	<h3>学校教育での「はやしま学」</h3>
<h3>保幼小中合同研修会</h3>	<h3>道徳の郷土資料作成</h3>	<h3>カリキュラムデザイン会</h3>	<h3>はやしまESDタイム【幼稚園】</h3>
	<h3>はやしまESDタイム【小学3年生】</h3>	<h3>はやしまESDタイム【小学6年生】</h3>	<h3>早島町学校教育ビジョン</h3>
<h3>放課後ははやしま塾（水・金）</h3>	<h3>土曜はやしま塾</h3>	<h3>土曜はやしま塾</h3>	<h3>サポートボランティア募集の広げ</h3>

<p>早島っ子サポートボランティア</p> 	<p>ボランティア活動</p> 	<p>はやし学新聞</p> 	<p>はやしま国際祭 国際的視野を広げます！</p> 
<p>ロゼニングin早島</p> 	<p>わくわくサマーホリデー子ども教室</p> 	<p>親子科学教室</p> 	<p>英語検定・漢字検定に家族で挑戦</p> 
<p>土曜 Enjoy English Juku</p> 	<p>早島英語絵画コンテスト(1月)</p> 	<p>はやしま子ども議会(2月)</p> 	<p>子どもと大人の熟議～意見交流会～</p> 
<p>子どもと大人の熟議～意見交流会～</p> 	<p>教育のまち・はやしまフォーラム(3月)</p> 	<p>早島町コミュニティ</p> 	

アンケート結果

参加者の属性

回答	回答数	構成比
教委・教員	35	59%
保護者	10	17%
コーディネーター	4	7%
企業・団体	1	2%
その他	1	2%
未記入	8	14%
計	59	100%

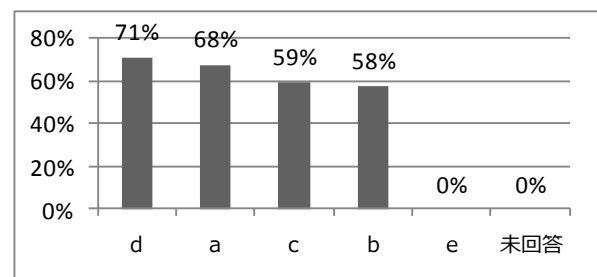


1. 本日のプログラムについてご意見をお聞かせください。

1) 今回のプログラムで話を聞いてよかった（参考になった）ものを教えてください。（複数回答可）

■全体集計

回答	回答数	相対度数
d.パネルディスカッション	42	71%
a.事例紹介/倉敷『町衆』プロジェクト	40	68%
c.事例紹介/はやしま学・はやしま塾	35	59%
b.事例紹介/里海・里山ブランド創生	34	58%
e.その他	0	0%
未回答	0	0%



N=59

■属性別内訳

回答	教委・教員	企業・団体	保護者	コーディネーター	その他	未回答	合計
a.事例紹介/倉敷『町衆』プロジェクト	27	3	0	6	3	1	40
b.事例紹介/里海・里山ブランド創生	23	2	0	5	4	0	34
c.事例紹介/はやしま学・はやしま塾	21	2	0	7	4	1	35
d.パネルディスカッション	26	4	1	7	4	0	42
e.その他	0	0	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	0	0	0	0

N=59

2) 上記で「よかった（参考になった）」とご回答の場合、そのうち1つについて、どういった点がよかった（参考になった）か、理由も一緒に教えてください。（自由記入）

【a】

- ・高校での取り組みを知ることができた
- ・実践されていることと、成果が具体的でわかりやすかった。実感として理解しやすいお話でした。

【a, b】

- ・「町衆」について、体制や組織のPRではなく、マインドの面（教員の今の現状を含めて）話されたから、子どもら中心の仕掛けをどうしたかが聞きたかった。
- ・地域社会を構成する一つであり、地域の未来を担う若者を育てるために、地域人（市民）と教員の本質的な役割が明らかにされた。

【a, b, c】

- ・行政、学校、地域が一体となつての取組によるよく練られた事例（はやしま）
- ・学びに地域資源をどういう方法でつなげていくのか、の視点がすべての発表にあった。子ども＝未来という考え方も共通している。

【a, b, c, d】

- ・視点の異なる4人の方々の意見が聞けたこと、そしてその考えが壇上でつながっていく過程を見せていただきました
- ・パネルディスカッションでは、パネリストの4名の方々の熱い想いを身近に感じることができました。それぞれの取組いずれもどの地域で実践できるものだということが伝わり、持ち帰って実践のヒントになることばかりでした。
- ・d. 地域をどのように子どもたちの学びに結びつけていけるかとても参考になりました。
- ・パネルディスカッションで、リーダーとして取組を進めている方々がどのような想いで地域と関わり、子どもたちを育てているかがよく分かりました。リーダーシップが教育改革を生み出しているという姿を見ることができました。
- ・概念だけでなく、具体的な事例ややり方も含めて説明いただけたため
- ・すべての事例が先進的でした。
- ・答中で言われている、「社会に開かれた教育課程」について具体的な取組を聞くことができ、今後の研修等で説明する時の資料となりました。
- ・教育を行う上で力をもらえたことです。
- ・発表者のビジョン、未来を考える見通しが明確なこと。
- ・それぞれの事例で対象やアプローチは異なるが、最も大事なのは学校教育として地域と学校が協力して進めることが必要
- ・本校も地域とのプロジェクトを次年度から実践するので、細かな工夫も参考
- ・パネルディスカッションでは、学校教育と社会教育の役割や、つながりがよく分かりました。様々な立場からのご意見を伺うことができてよかったです。
- ・地域連携について、漠然としていた部分が明確になった
- ・学校教育と社会教育が切りはなせないことだということを学校長、教育長の皆さんがしっかりもって取り組んでくださっているということがわかった
- ・d. 良い話がきけました
- ・地域の力を活用して、一体となって行う教育の姿

【a, b, d】

- ・取組をすることが目的ではなく、なぜ行うのかを明確にし、問い続けておられる姿勢。学校の現場で足りない部分があり、課題である。その解決のヒントを得た。
- ・協働活動では双方向の活動をコーディネートする人が大切であるが、今日の話の中で、基本の教師力が一番大切であることが参考になった。

【a, c】

- ・地域を巻き込んだダイナミックな取組に驚いている。地域学習をどう教育課程の中に組み込んでいくかが課題となっている現在、方向性を示していただき、ありがたかった
- ・学校教育（学校）だけでは学びがたりない、もったいないということ。地域の力（を借りる）⇔子どもの成長だけでなく、教員の成長もあることを学校と地域双方が理解することが大切。（上から視線をなくす←教員）+“聞き書き”→とり入れたいと思いました。
- ・倉敷南＝本校のこれまで実践してきたこと、これから創造していく（すでに作業中）と類似→モデル事例が多くあり
- ・早島＝福山市はすでに全校で小中連携しているが、規模が大きすぎて課題が多くある
- ・取組の具体例、紹介ビデオ、評価（ルーブリック）

【a, c, d】

- ・c. 早島に住みたい気持ちになりました。町全体の取組ということに非常に感動しました。
- ・現在、地元の学校支援ボランティアのコーディネーターをやっています。一般的なお話をお聞きし、今後の活動の指針になりました。

【a, d】

- ・大きく広い視点でお話があり、感銘を受けました
- ・倉敷南高等学校校長の、学校教育、子どもに求める力に対するロジカルな考えが気持ちが良いほど明確だった。思考の整理ができました。
- ・地域の力と学校が協働してカリキュラムを作ることで、子どもたちの現実と向き合う力をはぐくむことができると思いました。
- ・学校教育と社会教育教育のかかわり方、あり方について示唆をいただいた

【b】

- ・地域の特色と、そこで努力している大人の取組を知り、一緒に体験し、聞きとりを通して願いや思いをうけとることが、地域愛やほこりを育てる。そういう事が各地域できそうと感じたから。
- ・地元（備前市）について、知ることができたので。
- ・既存のプログラムにあきたらず、新しい取り組みをされたのがすごい！中学生の意識変革も含めて、生徒の変化、成長が素晴らしいと思いました。ますますのご活躍を期待しています。
- ・子どもの現状から現在の学習活動に体験はあるが学びにつながっているのかと教師が疑問をいだかれた点が良かった。その見直しから新たな学習活動が始まり、子どもは感動した体験や経験があると言語表現が豊かになると考察されていることに感銘を受けました。

【b, c】

- ・岡山には「元気」な町が多い…！今後も参考としていきたい。「いい地域にはいい学校が…いい学校にはいい地域が…」

【b, c, d】

- ・bの「聞き書き」や上級生から下級生への伝達などによる見える化。地域と学校（と教育委員会）との双方向性が必要ということ。

【c】

- ・様々な取組がされている。小中学校と町の生涯学習課と地域の人々との連携が素晴らしい！
- ・はやし学、はやし塾と名して地域一体で子供を育てる活動を行っている。私の勤めている備前市伊里地区にても小学校1、中学校1と似ていますし、又、個々、地域のボランティアの方々が九九の聞き取り、算数、野菜の育て方、火おこし…数えたらきりないくらい行っていますが、トータル名を作って将来継続できるものとしてやっていきたい

【d】

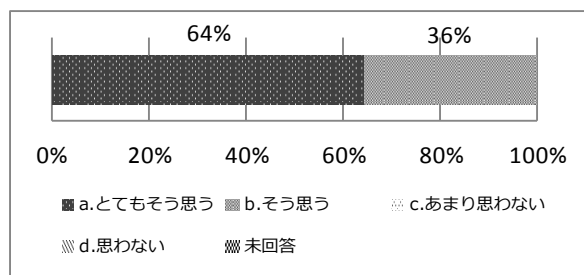
- ・大原美術館の話、思い出のマーキング 地域とのかかわり方、気づきがありました。
- ・学校教育と社会教育の関わり方について大変勉強になったため。手段の目的化にはならないと強く思いました。
- ・本質的なところをきちんと見続けることが大事。
- ・学校がオーダーできるプロ集団であること、つけたい力を明確に地域に伝えられることが大切
- ・保護者についての学校・地域の関わり方について考えさせられました。
- ・地域と教育の要となる方々のご意見を直接伺うことができて良かった。
- ・地域との学習における現在の考え方を知ることができた。
- ・手段が目的化している、まさにこれにつきると思う。すべて、できた数で評価されがちで、そこまでの過程や裏にある目標が忘れられている

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

2. 本日のご参加を踏まえ、今後の地域学校協働活動について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

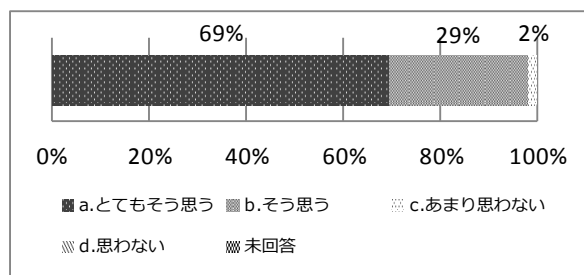
1) 本日のフォーラムに参加して、あらためて次世代の学校・地域創生に向けて、地域学校協働活動の必要性や、地域学校協働本部の有効性が理解できた。(1つ選択)

回答	回答数	構成比
a.とても思う	38	64%
b.そう思う	21	36%
c.あまり思わない	0	0%
d.思わない	0	0%
未回答	0	0%
計	59	100%



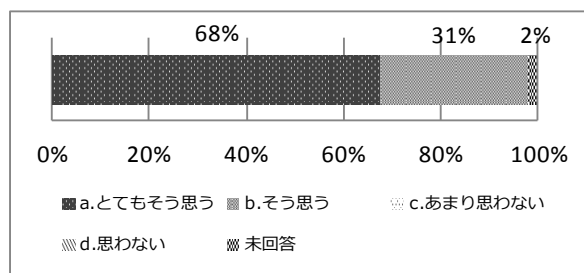
2) 地域学校協働本部等による学習支援が、今後ますます広がってほしいと感じた。(1つ選択)

回答	回答数	構成比
a.とても思う	41	69%
b.そう思う	17	29%
c.あまり思わない	1	2%
d.思わない	0	0%
未回答	0	0%
計	59	100%



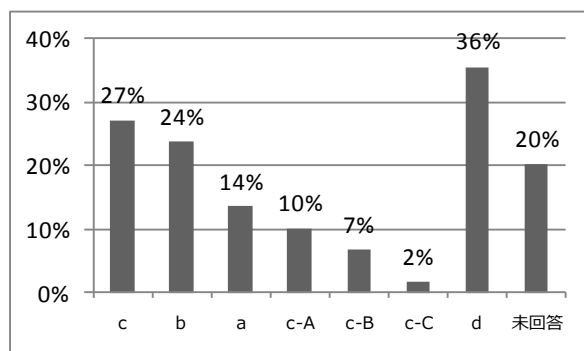
3) 今後、自分もできることから「地域協働活動」に協力したいと思う。(1つ選択)

回答	回答数	構成比
a.とても思う	40	68%
b.そう思う	18	31%
c.あまり思わない	0	0%
d.思わない	0	0%
未回答	1	2%
計	59	100%



4) 「地域学校協働活動」に協力していくにあたり、課題となることは何ですか。(複数回答可)

回答	回答数	相対度数
b.窓口など段取り、手順がわからない	16	27%
c.時間が取れない(理由なし)	14	24%
a.自分に何ができるかわからない(テーマや方法など)	8	14%
c-B.時間が取れない/学校との打ち合わせ	6	10%
c-A.時間が取れない/教材の準備	4	7%
c-C.時間が取れない/授業実施	1	2%
d.その他	21	36%
未回答	12	20%



N=59

「d. その他」コメント

- ・協力者を求める広報、声かけが大切
- ・地域住民、学校教員の理解の深化。特に学校教員の社会教育的思考の浅さ
- ・教員の共通理解、目指す学校像等の共有
- ・コーディネーターの育成、確保
- ・人材の発掘と育成
- ・学校(教員)の理解と協力と合意(地域の協力に関してや、双方向での成長に関して)

- ・地域もある程度の成熟度合が必要だと感じる。
- ・地域の困難さ
- ・若い世代のボランティアを集めたい
- ・教育行政側に、本活動の意義が伝わっていない
- ・体制や、人材など、システムや形づくりにとらわれすぎて、「子どもが地域の大人に温かい気持ちで関わってもらえる。」ことの大切さを共有することが根っこになるということを忘れないようにしなければ、「何のためにするのか。」が引きつがれていかないし、効果が出てこないと思います。
- ・学校が忙しすぎて。
- ・地域人材の掘り起こし。
- ・子どもたちに何を与えてやったらいいのか。何をさせればいいのか。
- ・教師のデザイン力
- ・教員の皆さんの今の教育課程とのすり合わせ
- ・職員との共通理解、共通行動
- ・予算～お金
- ・やりたいことが多すぎて困る
- ・関係者への理解
- ・校内の理解、行政の理解、地域の理解
- ・人材の確保、ボランティアの確保

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

3. 本日ご参加されてのご意見、ご感想等、ご自由にご記入ください。

- ・大原さんの「正解のない学び」という言葉が今日の一番の残った言葉です
- ・一言では言えない、よいフォーラムでした。
- ・種々の教育課題を抱える現代の子供たちの健全な育成には、地域の教育力が不可欠である想いを新たにしました。「地域力」を高めるとともに、学校現場でも連携がスムーズに行われることができるよう、意識向上や体制整備をすすめる必要があると感じました。
- ・“地域学校協働活動”ごくごく当然必要なことです。70年代ラングランが生涯学習を唱えて約50年、これが日本が生涯学習社会になる大きなきっかけとなりそうです。だからこそ文科省にお願いします。“地域学校協働本部”多くの県庁職員を始め、学校支援本部関係者は、混乱しています。国としては支援連携のプラットフォーム化を狙っていることはよくわかりますが、多くの人は理解できません。予算をとるため財務省への見せ方を変えなきゃいけないことはわかりますが、もう少しわかりやすく、かつ、ゆるやかな組織づくりができるような“見せ方”を示してください。
(備前市教委担当より)
- ・目標を明確にしてこれからも頑張ります。
- ・私たちが住む街一思い出のマーキングのできる町になると子どもたちは自由にはばたいていけるーその通りだと思いました。
- ・岡山県の先進的な事例発表を聞くことができたこと、教育長、校長、理事長の方々の熱い思いを知ることができたことで、実践に対する勇気をいただきました。ありがとうございました。
- ・本日のオープニングで上映した各取り組みの紹介ビデオの二次的な利用をするとよい。(この回に参加していない方にも見てもらいたい)
- ・とてもよいお話を聞くことができました。勇気をいただきました。ありがとうございました。
- ・教師の力も向上させなくてはならない(キャリアデザイン力) ・子どもの学びになることを気づく力、とり入れ自らも学ぶ力、柔軟な心を教員に！！その上で地域と上下なくつながるコミュ力をもつ。 ・生徒の気づきを、どこに

- もっていけるか？のつなげる力は教員にも地域の人間にも必要。 ・学校外部の力を最大限に使うにはやはり学校の一体化（共通理念）で取り組むことが大切。ばらばらの考えではまとまらない、何も進まない。
- ・結局、教員の理解とコミュニケーション力をもって、地域の力が子どもの力になる橋渡しとなるわけです。 多々ある講演会の中大変良かったです。たくさん気づかせて頂きました。
 - ・倉敷市では、中学校区も多く、各々の地域でどんなことがされているのか、又、自分達の地域では、どんなことができるのか、と思いました。このような取り組みが、自分の地域でもできれば、と思いました。
 - ・私は定年後（JA）いまの公民館にお世話になっていますが、上記2の1～3に以前より感じており、現在、小1のたし算ひき算、2年生の九九の聞き取り、3年生の放課後授業、野菜づくり、等、ボランティアとして参加させていただいています。伊里地区では、よく本日の事例に似た活動ができていましたが、やはり一貫性なく、継続性が不安でした。（先生の異動によりかわる）もっと組織づくりをやらねばと思いました。いまの小学校の校長先生は、自分からアイデアを出し、放課後授業等も必ず参加され素晴らしい先生ですが、異動があるわけですから、ちょっとそれが不安です。
 - ・ありがとうございます。本日の内容や考えがどんどん広がれば、私たちも連携をとりやすくなります。職員の変化も必要であり、各学校は頑張っていると思います。お互いにやるべき事を頑張りましょう。今後ともよろしく願い致します。
 - ・県内トップの取組について改めて認識させていただいた もっと多くの人たちがこうした取組から学ぶことが必要だと思う
 - ・岡山で開催いただき良かったです
 - ・地域学校支援活動において新なる知識を多くいただきました
 - ・とても参考になりました。町、高校だけでなく、全てと共有し、熟議を重ねて近めていきます。
 - ・子供達の教育に対して本気で取り組まれている姿勢がとても頼もしく思えました。ありがとうございます。
 - ・備前市の教育長さんの「地域の大人が自己肯定感をもつことが子どもの自己肯定感を育てる。」という言葉に同感いたしました。地域学校協働活動を通して、大人が日々の生きがいをもって子どもに接することで、地域全体で肯定感が育っていくように、進めていきたいと思いました。
 - ・今回のことではないが、国が実施する事業の予算に対する効果についても見える化が必要と思う。例えば昨日のプレミアムフライデーの事務局委託経費はいくら？
 - ・大変勉強になりました。
 - ・パネルディスカッションでの地域行政、学校、文化施設のそれぞれの立場からのお話を伺うことができ、とても勉強になりました。ありがとうございます。
 - ・学校がかかえている問題・課題について、パネリストの先生が、明快な話をされていて、大変参考となった。大きな取り組み、1つの授業…にしても、取り組むことが目的ではなく、その先に何がどう身につくのかを共有して行うことの大切さをあらためて感じさせていただきました。
 - ・教育関連の知識が全くないまま、本フォーラムに参加させて頂きましたが、非常に参考になり、視野が広がった様に感じます。まずは大人が変わるという当事者意識を持って今後の子育てにかかわっていきたくと思います。
 - ・パネラー4人中3人女性、コーディネーター女性…「いいね！」とても優れた教育長、校長だと感じました。キャリアリンクからお誘いを受け大阪島本町から4人で来ました。あいがとうございました。
 - ・大変参考になりました。ありがとうございます。
 - ・本フォーラムを（株）が事務局をされていることにおどろきました。
 - ・様々な事例紹介をありがとうございます。大きなことはすぐにはできませんが少しずつできることから始めてみるのが大切なのだと思いました。制度的なことが急に変わったりすることで、大きな自治体になるとどうしても動きにくいなあと感じております。県外での事例を聞くことのできる機会があるとありがたいかと思います。
 - ・とてもいい会でした。H29年度に生かしていこうと考えています。

- ・パネリストの熱い思いが伝わり、岡山の未来は明るいと思いました。刺激とパワーをたくさんいただき、ありがとうございました。
- ・(ActiveLearning→初めての体験－忘れられない体験 AceLocaly ThinkGlovaly) →行動力と考える力
- ・自分の知らない教育があることに驚き、感動しました
- ・本市（福山市）が今推進していること、今後の方向性についてキャリアリンクと連携、支援が必要と考える。
キャリアリンク様とは、福山市教育委員会へも情報提供をしてほしい。本日、福山市から参加していたのは本校の2名のみであった。福山市立福山中・高等学校長
- ・大変素晴らしい会をありがとうございました
- ・準備から細部までお世話になりました。ありがとうございました。倉敷南
- ・教師がかわらなければ子どもの学びがかわっていないことが深く理解できました。子どもを育てるのは教師だけではない、抱え込まず地域と共に人財を育成していくことが大切だと感じました
- ・本校は今年度統廃合により開校した商業高校で、「地域を愛し、地域で活躍する人財の育成」を学校目標に、「道徳教育を軸とした地域課題解決型キャリア教育」を構想、実践しています。本日は、そのヒントを沢山頂きました。ありがとうございます。
- ・学校が核となって、学び続ける大人をつくる、地域を再生活活性化するという発想に刺激を受けました。校長のリーダーシップによる教員の資質、能力の育成、学校全体の意識改革と意思の統一を行う必要性を再認識しました。
- ・学校側からの願い、何をしてもらいたいのか？地域は何をしいのかわからないので！！
- ・参加者同士が交流する時間があればなおよかったと思います。
- ・地域学校協働活動…一般的にわかりにくく、また、学校教育と社会教育の連携の難しさをどう取り除いていくか、考えいく必要を感じました。

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

テーマ 2

土曜学習応援団が実施している
学習プログラムの
周知や普及についての調査研究

1. 要項

1. 主旨

土曜学習応援団による活動の周知や普及を通じた地域学校協働活動の推進支援を行うため、土曜学習応援団における実情を調査し、好事例をまとめた「教育活動参考事例集」を作成。

2. 概要

①土曜学習応援団による学習プログラムの実施現状と課題を含めた情報収集、分析

調査方法	調査対象へのWeb調査により実施
調査対象等	土曜学習応援団協賛企業・団体 ①民間企業 ②NPO団体 ③大学・研究機関
調査期間	平成28年10月17日(月)～11月9日(水)
回収数	257件(有効回収率 36.6%)

②山形における教育フォーラム(分科会)での事例発表

日時	2016年11月12日(土) 10:00-12:00
会場	山形ビックウィング
実施協力	NPO法人ファザーリング・ジャパン
参加人数	11名
内容	第一部「地域と学校が連携・協働して学習活動を行っている山形県の事例紹介」 第二部「プログラム紹介」

③地域学校協働活動の推進につながった学習プログラム実施の好事例の収集と、好事例をまとめた事例集の制作

事例集仕様	A4サイズ 48頁 カラー印刷 制作部数:3,000部
タイトル	地域と学校の連携・協働の推進に向けた民間企業・団体等による教育活動参考事例集
事例件数	教科に関連したプログラム 8事例 教科横断型のキャリア教育プログラム 9事例 その他コラム 2事例

④地域と学校の連携・協働の推進に向けた民間企業・団体等による教育活動普及啓発映像の制作

映像仕様	DVD 全約7分30秒 制作部数:195部
タイトル	地域と学校の連携・協働の推進に向けた民間企業・団体等による教育活動 「土曜学習応援団とは」

<全体考察>

① 土曜学習応援団による学習プログラムの実施現状と課題を含めた情報収集、分析

- ・本アンケートから、土曜学習応援団に登録する企業・団体においては、「自社・団体のCSR」「社会貢献」の位置づけで、従来より自立的に行っている学校教育支援活動のさらなる普及につなげる方法のひとつとして、土曜学習応援団への登録に期待しているケースが多いことがわかった。中には、「土曜学習応援団のサイトに登録すれば、学校からの応募が多数ある」「文部科学省がマッチングの代理をしてくれる」といった誤解もあり、今回のアンケート回答を通して地域学校協働活動への正しい理解と啓発、土曜学習応援団の役割理解につなげられたことは成果のひとつといえよう。

また、集計結果から、土曜学習応援団に登録する企業・団体等が特に課題と感じている点は、以下の2点。

- 1) 土曜学習応援団の持つ学習プログラムのテーマ・内容と学校ニーズとの効果的、効率的なマッチング
- 2) 学校と連携・協働する方法やノウハウ、またそれを有する人材（コーディネーター等）確保

これらの課題は、プログラムを提供したいと考える企業・団体にとって「学校への接点のとり方がわからない」「学校のニーズがわからない」といった状況に起因しているといえる。今回制作した事例集とDVDが、広く全国の教育委員会、学校に配布されることにより地域学校協働活動への本質的理解の推進に加え、1)の課題解決の一助になると共に、土曜学習応援団の学習プログラムの周知と興味喚起の効果も期待したい。また、2)の地域と学校両者の想いを繋ぐコーディネーターの役割を担う人材確保については、各地域におけるコーディネーターの配置が進むことに期待すると共に、既にコーディネーターを配置している自治体に対して、地域学校協働活動の正しい理解とさらなる活動促進に向けて、事例集やDVDの情報（WEBサイトのURL等）を個別に届けることも重要だと思われる。

② 山形における教育フォーラム（分科会）での事例発表

ファザーリングジャパン主宰の教育フォーラム分科会については、地域の行事とバッティングしたこともあり、少数の参加者であったことは課題ではあるが、アンケート結果からは、文部科学省の地域学校協働活動の紹介について、「国の施策がわかりやすかった」との評価が高く、また、山形地域における地域学校協働活動の事例発表、および土曜学習応援団の参加型プログラム紹介、その後のブース別説明会まで、熱心にプログラムに参加する姿が見られ、地域学校協働活動の意義と必要性についての参加者への理解は深まったといえる。

- ③ 地域学校協働活動の推進につながった学習プログラム実施の好事例の収集と、好事例をまとめた。

<事例集の制作>

事例集については、土曜学習応援団に登録されているプログラムを中心に、

- ・プログラムテーマ
- ・教科、対象学年
- ・地域学校協働活動の連携のスタイル
- ・実施体制

など、できるだけ多様な視点から17の事例を選出した。

企業・団体によって、プログラムを開発したきっかけやプロセスが異なるものの、近隣の地域や教育委員会、コーディネーターとの連携、調整を重ねたうえで学習プログラムを開発、実施しているところも多く、プログラムを活用する対象に、その特徴や学習のねらいをわかりやすく見開きで伝える構成とした。

本事例集を通して、学校の授業では体験できない多様な分野での専門家、土曜学習応援団による授業が、学校と実社会をつなぐ機会となり子供たちの学習への興味喚起や意欲向上への期待と地域のさまざまな事情にそくしたプログラムの可能性について伝えることで、土曜学習応援団の認知と効果的なプログラムの活用促進に期待したい。

- ④ 地域と学校の連携・協働の推進に向けた民間企業・団体等による教育活動普及啓発映像の制作

本映像は、土曜学習応援団のプログラムについて、その多様性や実施イメージをよりわかりやすく伝えるためにプログラム実施映像を中心にまとめ、その前段に、地域学校協働活動の基本理解、土曜学習応援団の役割理解につながるアニメーション映像を組み込む構成とした。

今後、土曜学習応援団の学習プログラムを活用する側のみならず、土曜学習応援団に登録を検討する企業・団体など、プログラム提供側にも、地域学校協働活動についての理解を深めてもらうことをねらいとした。

また、プログラム実施映像は、事業①における「地域学校協働活動推進フォーラム in つくば」の第一部：学習プログラム体験で協力いただいた土曜学習応援団の企業・団体のプログラムより、今後学校現場に新たに導入される「プログラミング」や、外部人材ならではの「ICT」「防災」といったテーマに関連するプログラムを選定し、教育関係者の活用意欲を喚起することをねらいとした。

3. 実施報告

■土曜学習応援団による学習プログラムの実施現状と課題を含めた情報収集、分析

調査方法	調査対象へのWeb調査により実施
調査対象等	土曜学習応援団協賛企業・団体 ①民間企業 ②NPO団体 ③大学・研究機関
調査期間	平成28年10月17日(月)～11月9日(水)
回収数	257件(有効回収率 36.6%)

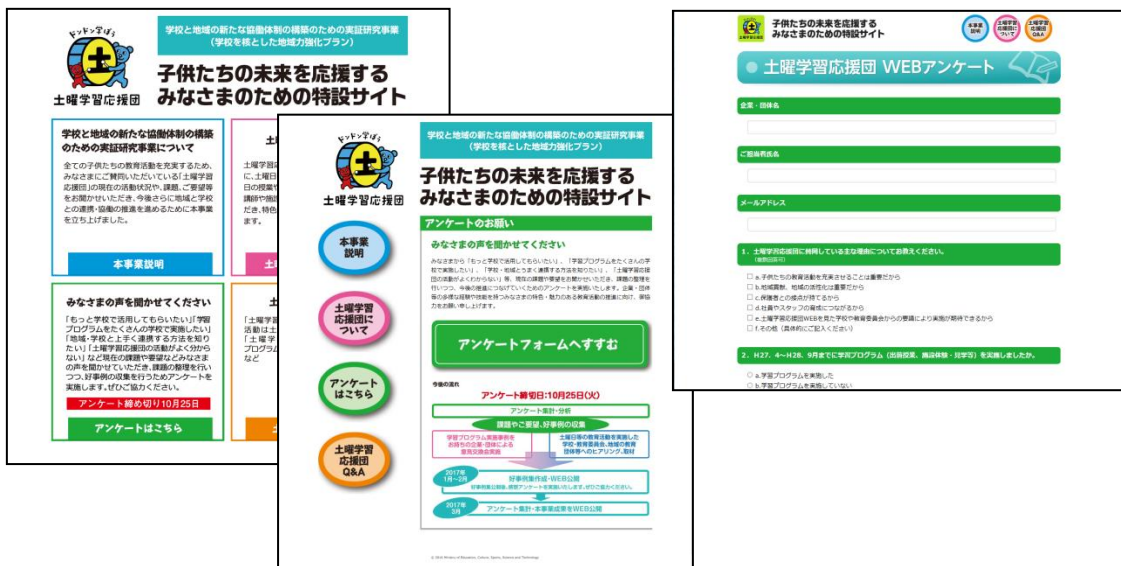
【調査目的】

土曜学習応援団の民間企業・団体等の皆様から学習プログラムの実施状況や、活動する上での課題や要望をお聞かせいただき、課題の整理を行いつつ、民間企業・団体等の多様な経験や技能を持つ皆様の特色・魅力のある教育活動の推進、今後の地域学校協働活動の推進につなげる。

【調査体制】

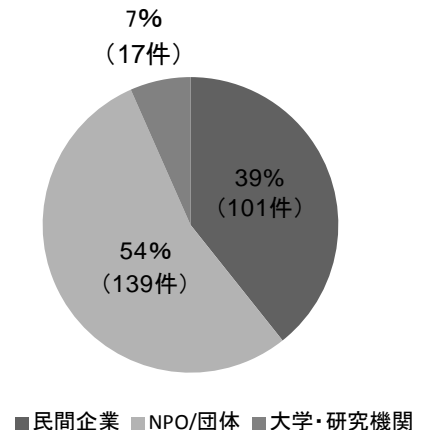
地域学校協働活動推進事務局の設置

(大阪府中央区東心斎橋 1-7-30 21心斎橋ビル 5F 株式会社キャリアリンク内)



【アンケート調査の回収率】

配布数	702件
回収数	257
有効回収率	36.6%



□調査結果まとめ

1. 土曜学習応援団に賛同している主な理由

「子供たちの教育活動の充実」、「地域の活性化」と考える民間企業・団体等が大半である

2. H27. 4～H28. 9月までの学習プログラムの実施状況

直近の1年半で見ると、学習プログラムを「実施した」民間企業・団体等が「実施していない」民間企業・団体等を上回っている

<実施回数>

昨年度の年間実績によれば、「1～5回」と、「25回以上」がそれぞれ過半数を越え、2極化の傾向である

<実施した学習プログラムのテーマ>

「理科・実験」が最も多い

<実施機会>

「学校」の「平日の授業」で学習プログラムを実施するケースが最も多い

<連携先、実施対象>

実施場所同様「学校」が最も多く、実施対象は「小学生」が最も多い

<実施のきっかけ>

連携先から、依頼を受けて実施したケースが最も多い

<活動実施後の参加者からの反響>

「学校の授業では体験できないことを学べた」ことが、反響として最も多い

<今後の活動>

「実施回数は昨年と同程度の予定」が最も多い

<課題>

様々な課題がある中、「学校や教育委員会との調整役が必要」、次いで「学校のニーズがわからない」となっている

<知りたい情報や要望>

「学校の求めるテーマ、内容」を知りたい民間企業・団体等は過半数を占め、次いで「地域(コーディネーター等)や学校と連携・協働する方法やノウハウ」となっている

<クロス集計結果より>

土曜学習応援団に賛同している理由は、「子供たちの教育活動の充実」、「地域の活性化」と考える民間企業・団体等が大半である中、NPO/団体は実施先を増やす可能性のひとつとして考えている傾向もある

今後の活動については、学習プログラムの実施回数を「昨年と同程度」と考える民間企業・団体等が多い。中でもNPO/団体は「活動を増やす」意欲が高い

学習プログラムを実施した民間企業・団体等は、実施への意向は高い

実施実績がない民間企業・団体等であっても4割近くは「昨年と同程度」もしくは「増やす予定」と回答

「学校や教育委員会との調整役が必要」、「学校のニーズがわからない」を課題にあげる民間企業・団体等が多い。中でもNPO/団体は、「交通費、活動費等の予算確保」に関しても課題と考えている

□調査項目

<p>1. 土曜学習応援団に賛同している主な理由についてお教えてください。(複数回答可)</p>	<p><input type="checkbox"/>子供たちの教育活動を充実させることは重要だから <input type="checkbox"/>地域貢献、地域の活性化は重要だから <input type="checkbox"/>保護者との接点があるから <input type="checkbox"/>社員やスタッフの育成につながるから <input type="checkbox"/>土曜学習応援団 WEB を見た学校や教育委員会からの要請により実施が期待できるから <input type="checkbox"/>その他(具体的にご記入ください)</p>
<p>2. H27. 4～H28. 9月までに学習プログラム(出前授業、施設体験・見学等)を実施しましたか。</p>	<p><input type="radio"/>学習プログラムを実施した <input type="radio"/>学習プログラムを実施していない</p>
<p>実施したと答えた回答者 2-1</p>	<p>昨年度(H27.4～H28.3)までの実施回数をご記入ください ()回</p>
<p>実施したと答えた回答者 2-2</p>	<p>今年度(H28.4～H28.9)までの実施回数をご記入ください ()回</p>
<p>実施したと答えた回答者 2-3</p>	<p>実施した学習プログラムのテーマは何ですか(複数回答可) <input type="checkbox"/>国語・文章表現 <input type="checkbox"/>地理・歴史 <input type="checkbox"/>音楽・美術 <input type="checkbox"/>体育・スポーツ <input type="checkbox"/>食育 <input type="checkbox"/>野外体験 <input type="checkbox"/>生活習慣 <input type="checkbox"/>伝統 <input type="checkbox"/>オリンピック・パラリンピック</p>
<p>実施したと答えた回答者 2-4</p>	<p>どのような機会に学習プログラムを実施しましたか(複数回答可) <input type="checkbox"/>平日の授業 <input type="checkbox"/>平日の放課後 <input type="checkbox"/>土曜日 <input type="checkbox"/>日・祝日や夏休み等の長期休暇</p>
<p>実施したと答えた回答者 2-5</p>	<p>どこで学習プログラムを実施しましたか(複数回答可) <input type="checkbox"/>学校 <input type="checkbox"/>社会教育施設(公民館、博物館、図書館、青少年教育施設など) <input type="checkbox"/>その他公的な施設(市民センター、コミュニティセンターなど) <input type="checkbox"/>企業、団体等の施設 <input type="checkbox"/>屋外(公園、運動施設などの公共スペース) <input type="checkbox"/>その他(具体的にご記入ください)</p>
<p>実施したと答えた回答者 2-6</p>	<p>誰を対象に学習プログラムを実施しましたか(複数回答可) <input type="checkbox"/>幼児(就学前) <input type="checkbox"/>小学生 <input type="checkbox"/>中学生 <input type="checkbox"/>高校生 <input type="checkbox"/>特別支援学校の児童・生徒 <input type="checkbox"/>親子 <input type="checkbox"/>その他(具体的にご記入ください)</p>
<p>実施したと答えた回答者 2-7</p>	<p>どこと連携して学習プログラムを実施しましたか(複数回答可) <input type="checkbox"/>学校 <input type="checkbox"/>教育委員会 <input type="checkbox"/>コーディネーター <input type="checkbox"/>保護者やPTA <input type="checkbox"/>社会教育施設(公民館、博物館、図書館、青少年教育施設などの職員) <input type="checkbox"/>その他公的な施設(市民センター、コミュニティセンターなどの職員) <input type="checkbox"/>その他(具体的にご記入ください)</p>

<p>実施したと答えた回答者 2-8</p>	<p>どんなきっかけで学習プログラムを実施しましたか(複数回答可) <input type="checkbox"/>こちらから問 2-7 で回答した連携先にアプローチした <input type="checkbox"/>問 2-7 で回答した連携先から声がかかった <input type="checkbox"/>その他(具体的にご記入ください)</p>
<p>実施したと答えた回答者 2-9</p>	<p>活動実施後に参加者からのどんな声があったか(感想、成果など)お教えてください(複数回答可) <input type="checkbox"/>授業内容に関連する学習プログラムを体験したことで理解が深まった。 <input type="checkbox"/>学校の授業では体験できないことを学べた。 <input type="checkbox"/>体験した学習プログラムに関する分野について興味・関心が高まった。 <input type="checkbox"/>普段の生活や社会に出た時に役に立つことを学ぶことができた。 <input type="checkbox"/>将来の職業やキャリアを考える上で参考となった。 <input type="checkbox"/>社会や企業における様々な課題について考えることができた。 <input type="checkbox"/>自分の住む地域について学ぶきっかけとなった。 <input type="checkbox"/>学習プログラムをやり遂げることによって、達成感を得ることができた。 <input type="checkbox"/>その他(具体的にご記入ください)</p>
<p>3. 今後の活動について、どのようにお考えですか</p>	<p><input type="radio"/>実施回数を増やす予定 <input type="radio"/>実施回数は昨年と同程度の予定 <input type="radio"/>教育活動支援には賛同するが、学習プログラムの実施は難しい <input type="radio"/>その他(具体的にご記入ください)</p>
<p>4. 今後、どのような機会に学習プログラムを実施したいですか(複数回答可)</p>	<p><input type="checkbox"/>平日の授業 <input type="checkbox"/>平日の放課後 <input type="checkbox"/>土曜日 <input type="checkbox"/>日・祝日や夏休み等の長期休暇</p>
<p>5. 今後の学習プログラム実施にあたり課題となることがあればお教えてください(複数回答可)</p>	<p><input type="checkbox"/>学校や教育委員会を探すのが難しい <input type="checkbox"/>学校や教育委員会等との調整役が必要 <input type="checkbox"/>学習プログラムを開催する場所(学校、社会教育施設、屋外等)が確保できない <input type="checkbox"/>学習プログラム実施後の学校からの評価がわからない <input type="checkbox"/>学校のニーズがわからない <input type="checkbox"/>企業・団体内の理解や協力が得られない <input type="checkbox"/>企業・団体内の運営体制が整わない <input type="checkbox"/>企業・団体内の学習プログラムの講師確保が難しい <input type="checkbox"/>交通費、活動費等の予算が確保できない <input type="checkbox"/>学習プログラムを作成できない <input type="checkbox"/>特に課題はない <input type="checkbox"/>その他(具体的にご記入ください)</p>
<p>6. 今後の学習プログラム実施にあたり、知りたい情報や要望があればお教えてください(複数回答可)</p>	<p><input type="checkbox"/>地域学校協働活動(幅広い地域住民、企業・団体等の参画により子供たちの成長を支え、地域を創生する活動)に関する情報 <input type="checkbox"/>地域(コーディネーター等)や学校と連携・協働する方法やノウハウ <input type="checkbox"/>地域学校協働活動の補助金に関する情報 <input type="checkbox"/>今後の教育改革の方向性 <input type="checkbox"/>学校が求めるテーマ、内容 <input type="checkbox"/>地域が求めるテーマ、内容 <input type="checkbox"/>他社の運営体制に関する情報 <input type="checkbox"/>他社の学習プログラムや教材に関する情報 <input type="checkbox"/>学習プログラムを実施した後の評価手法に関する情報 <input type="checkbox"/>土曜学習応援団のイベント(子ども霞が関見学デー等)に関する情報 <input type="checkbox"/>教育関係 NPO による出前授業等に関する情報 <input type="checkbox"/>その他(具体的にご記入ください)</p>
<p>7. 今後の学習プログラム実施にあたり、支援してほしいことやご意見、ご要望、ご質問等、自由にお聞かせください</p>	

□アンケート結果

土曜学習応援団に賛同している理由は、

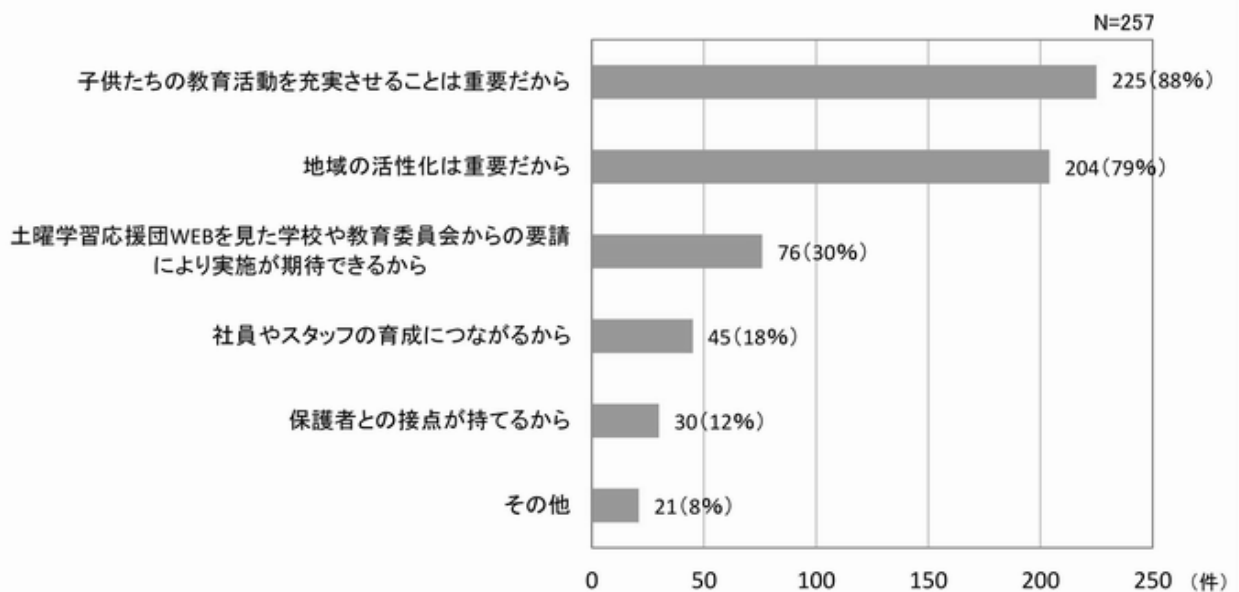
「子供たちの教育活動の充実」、「地域の活性化」と考える民間企業・団体等が大半である

土曜学習応援団に賛同している主な理由については、「子供たちの教育活動を充実させることは重要だから」が257件中225件、回答率が88%を占める結果となった。

次いで、「地域の活性化は重要だから」が257件中204件、79%であった。

また、「土曜学習応援団WEBを見た学校や教育委員会からの要請により実施が期待できるから」は30%だった。

1. 土曜学習応援団に賛同している主な理由について教えてください。

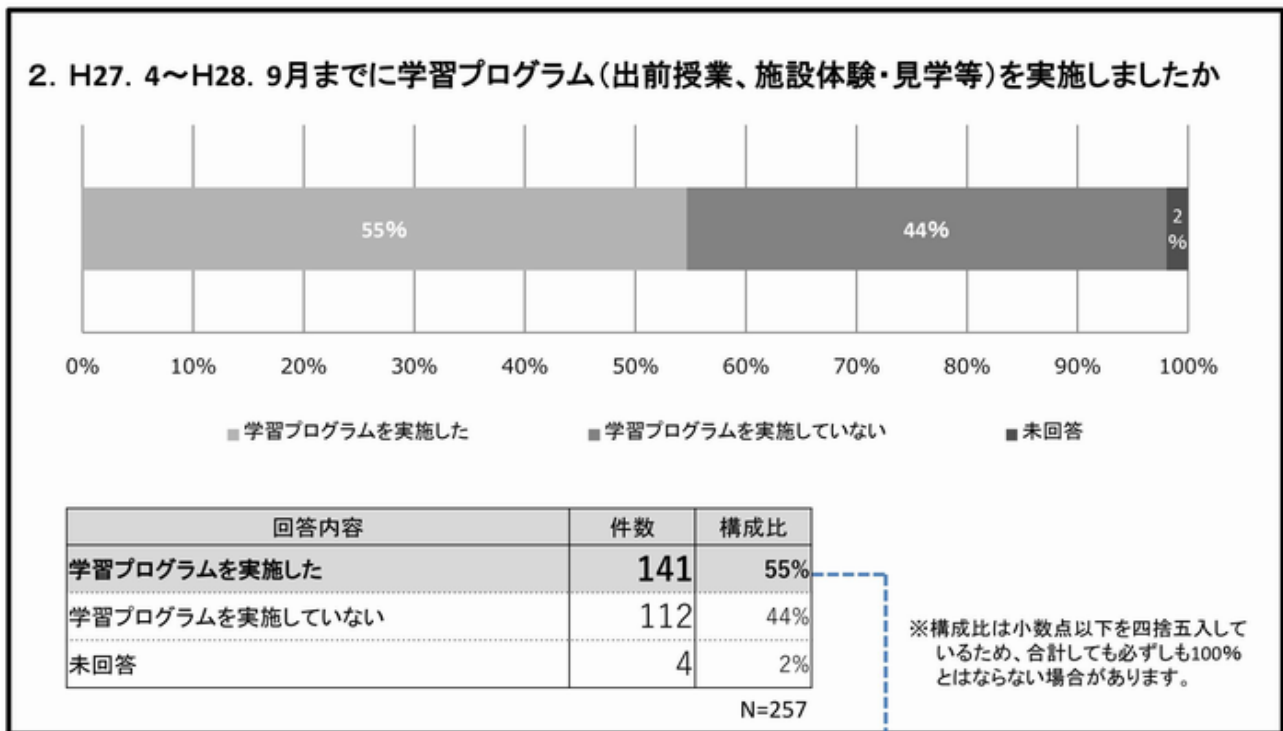


【その他の具体的な回答例】

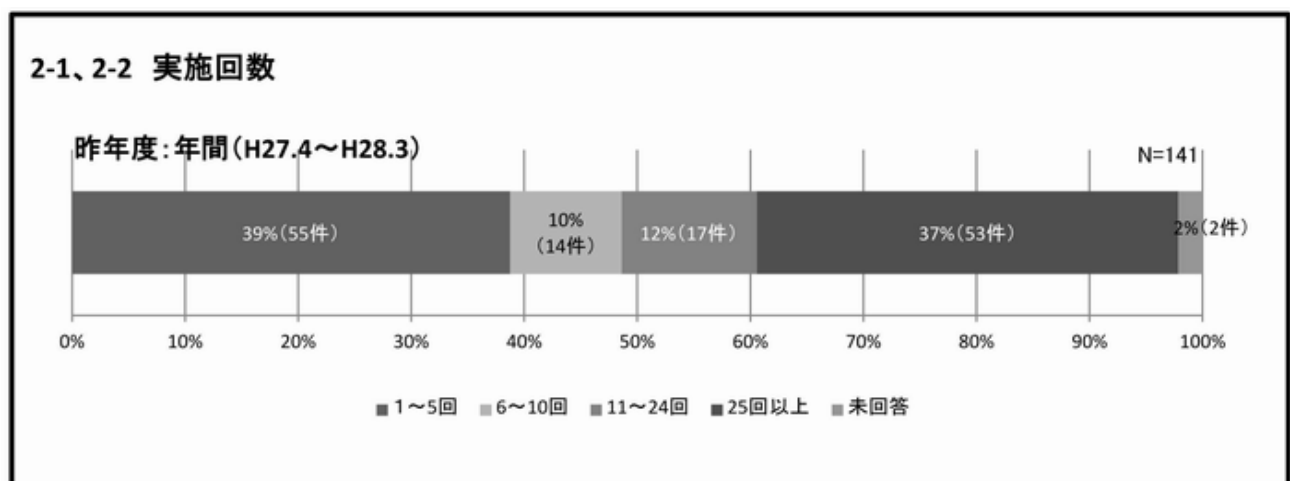
- ・趣旨に共感したことと、弊社としても業界内での人脈を広げたく賛同致しました
- ・自分たちの業界について児童・生徒、保護者に理解してほしいので当社の技術紹介や製品展示を各所で実施している
- ・自分たちの業界の仕事を、子供たちだけでなく保護者の方にも理解していただける機会を持つから

直近の1年半で見ると、学習プログラムを「実施した」民間企業・団体等が「実施していない」民間企業・団体等を上回っている

期間中、学習プログラムを実施した企業・団体は257件中141件、55%の回答率、実施していない企業・団体は257件中112件、44%の回答率だった。半分以上の企業・団体は、学習プログラムを実施している。

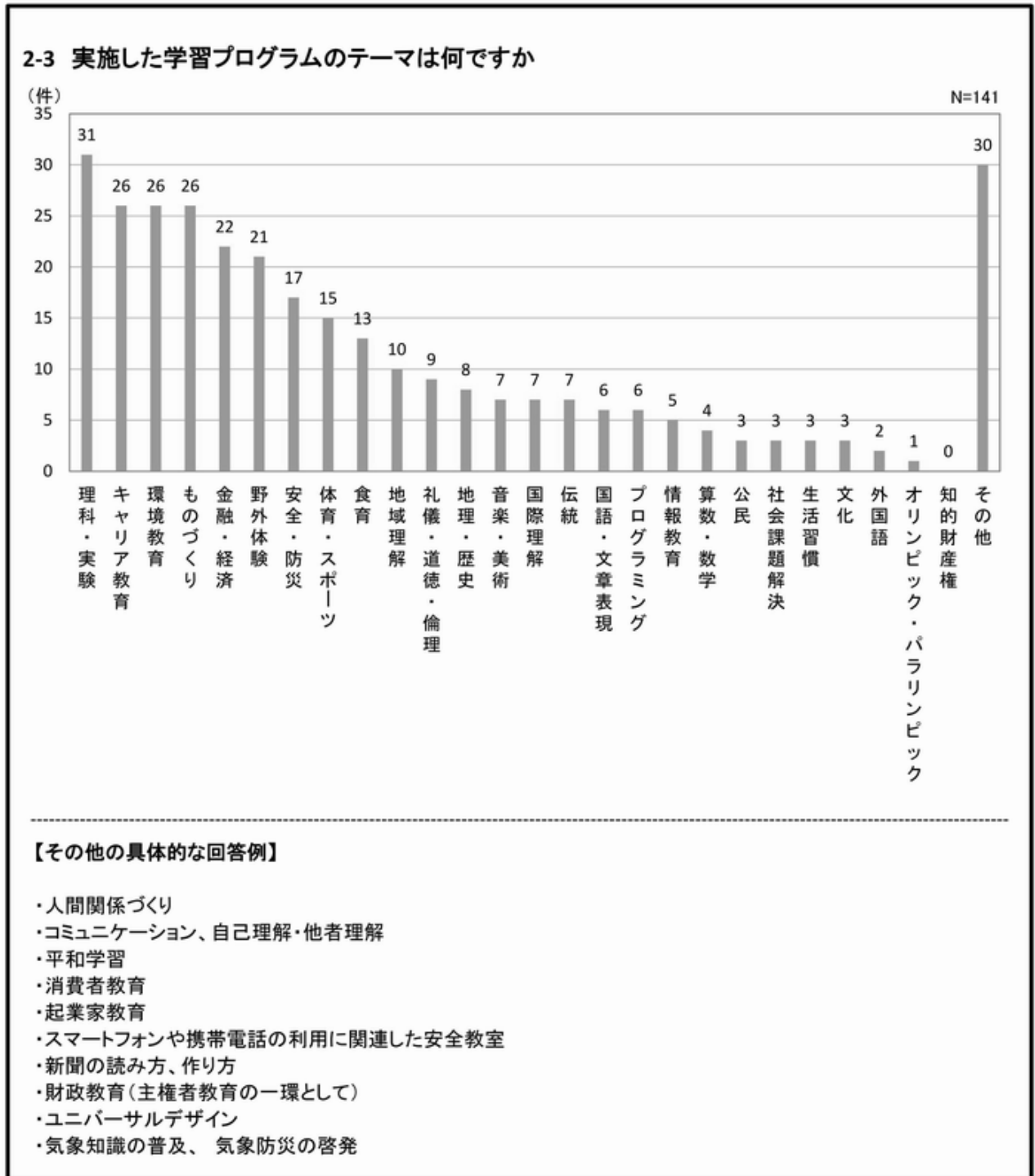


実施回数は、昨年度の年間実績によれば、「1～5回」と、「25回以上」がそれぞれ過半数を越え、2極化の傾向である



実施した学習プログラムのテーマは「理科・実験」が最も多い

学習プログラムのテーマについては、「理科・実験」が最も多く、以下「キャリア教育」、「環境教育」、「ものづくり」と続く。



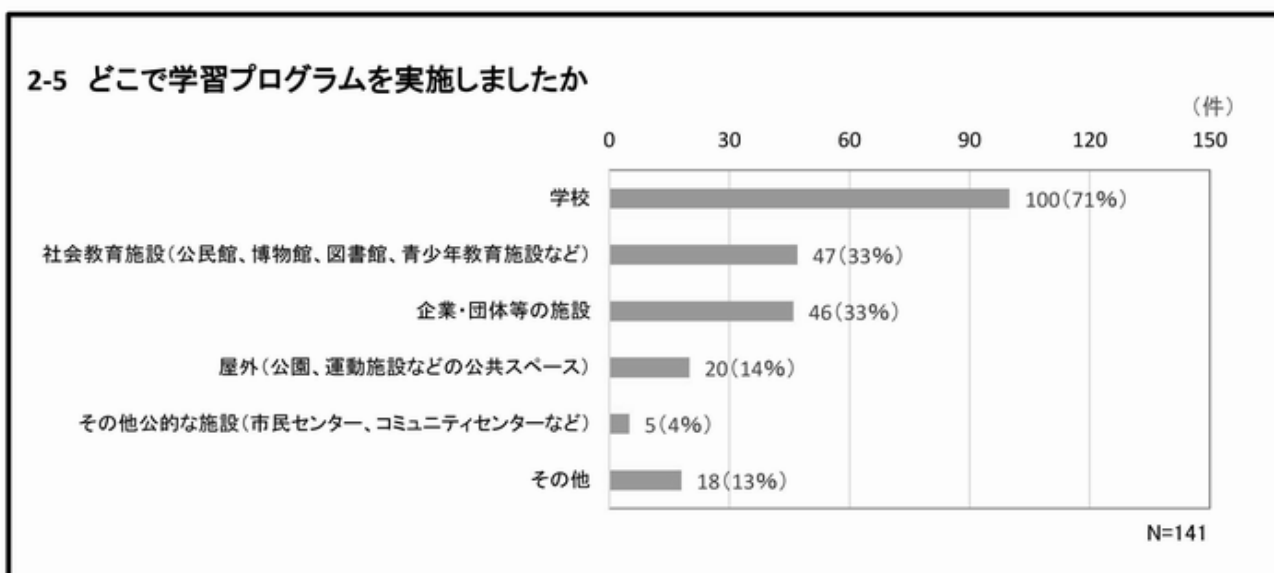
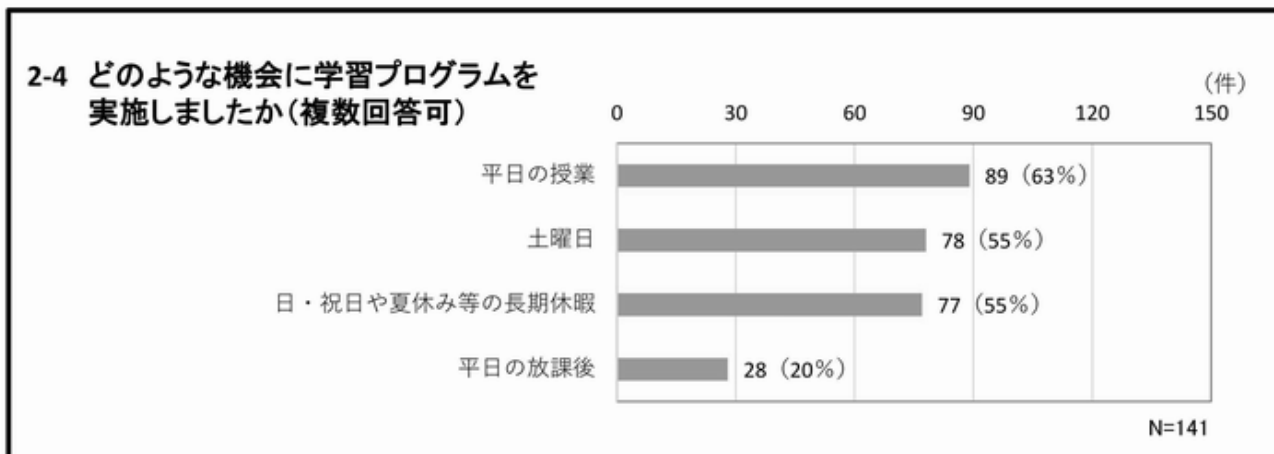
※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

「学校」の「平日の授業」で学習プログラムを実施するケースが最も多い

学習機会としては、「平日の授業」が141件中89件、63%と最も高かった。

次いで「土曜日」「日・祝日や夏休み等の長期休暇」はいずれも55%と、様々な機会で開催されている。

学習プログラムを実施した場所については、「学校」が141件中97件、70%と最も高く、次いで「社会教育施設」、「民間企業・団体等の施設」が同率33%であった。



【その他の具体的な回答例】

子ども霞が関見学デー(9)／文化センター／市民プラザ／大学／各種イベント等(都道府県・市区町村、警察、消費生活センター他が主催)にて授業を実施／子供会、地域諸団体／病院／商業施設／農園／寺院

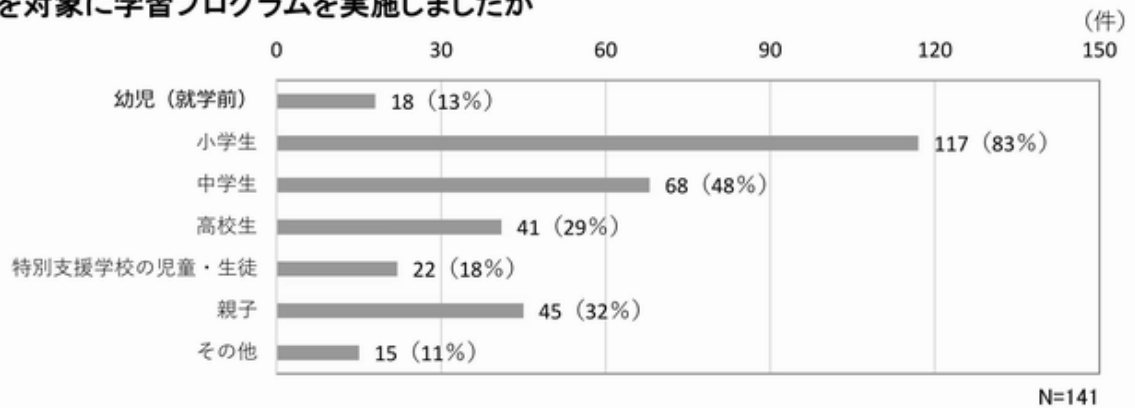
※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

連携先は、実施場所同様「学校」が最も多く、実施対象は「小学生」が最も多い

2-6 対象は、「小学生」が141件中117件、83%と最も高く、次いで「中学生」、「高校生」の順となっている。

2-7 連携先では「学校」はもちろんだが、次いで「教育委員会」が141件中54件、4割弱となっている。

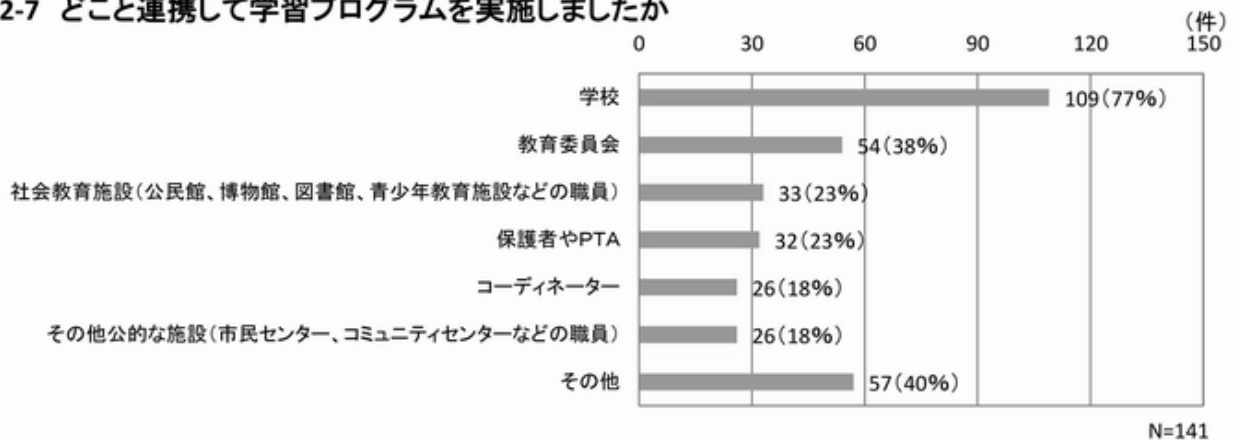
2-6 誰を対象に学習プログラムを実施しましたか



【その他の具体的な回答例】

教職員(7)／大学生・専門学生(2)／長期入院の児童・生徒(院内学級)／児童養護施設の子供たち／幼稚園・保育園の教職員／幼児の保護者／各種団体(ガールスカウト、ボーイスカウト、児童会等)の代表等／地域の指導者／障がい者の就労施設に勤務されている成人の方々

2-7 どこと連携して学習プログラムを実施しましたか



【その他の具体的な回答例】

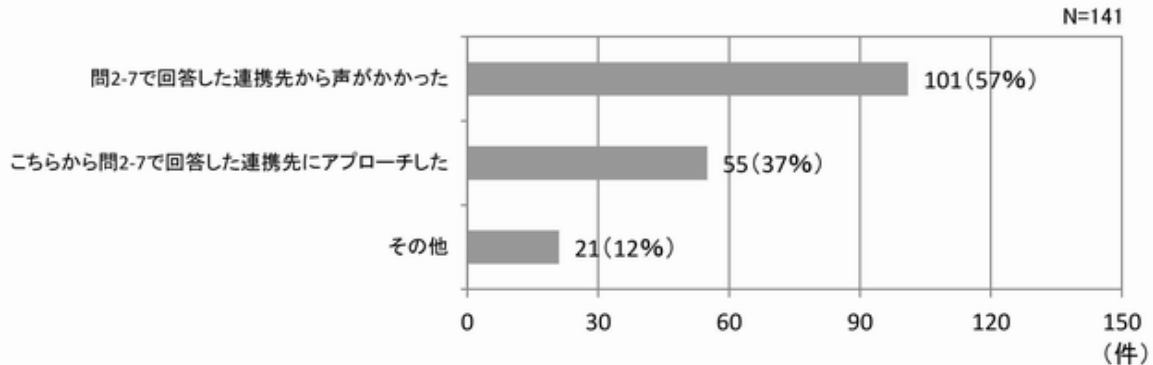
企業(6)／NPO団体(2)／大学、大学サークルの学生(2)／財務省、地域財務局／市町村／地域の高齢者施設／知的障害者等の就労支援施設／警察／社会福祉団体／病院／放課後子供教室／幼稚園、保育園

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

**学習プログラム実施のきっかけは、
連携先から、依頼を受けて実施したケースが最も多い**

学習プログラム実施のきっかけとしては、「問2-7で回答した連携先から声がかかった」が141件中101件、57%と最も高く、「こちらからアプローチした」という回答は37%となっている。

2-8 どんなきっかけで学習プログラムを実施しましたか



【その他の具体的な回答例】

①土曜学習応援団として実施

文部科学省からのマッチング(3)／子ども霞が関見学デー

②教育委員会や学校の紹介

東京都教育庁の「自立支援プログラム」／自治体の協力により実施／教育委員会経由で校長会に伺い説明を行った／学校支援ネットワーク事業の出前授業で先生の選択により、依頼を受けた／小学校PTAとのつながりにより実施／東京都教育支援コーディネーター・フォーラムを通じてコーディネーターと知り合い、輪が広がっていった

③各企業・団体の募集により実施

当社オリジナルプログラムとして募集・実施／もともと当社で行っていたものを実施／当会支部のWEBサイトを見て問合せがあった／WEBサイトへの依頼を受けて実施

④継続して実施

継続的に実施／当社の食育活動として2005年より実施

⑤その他

- ・生涯学習事業の一環
- ・体験活動実施先からの協力依頼により実施
- ・行政区の環境課などからの紹介により実施

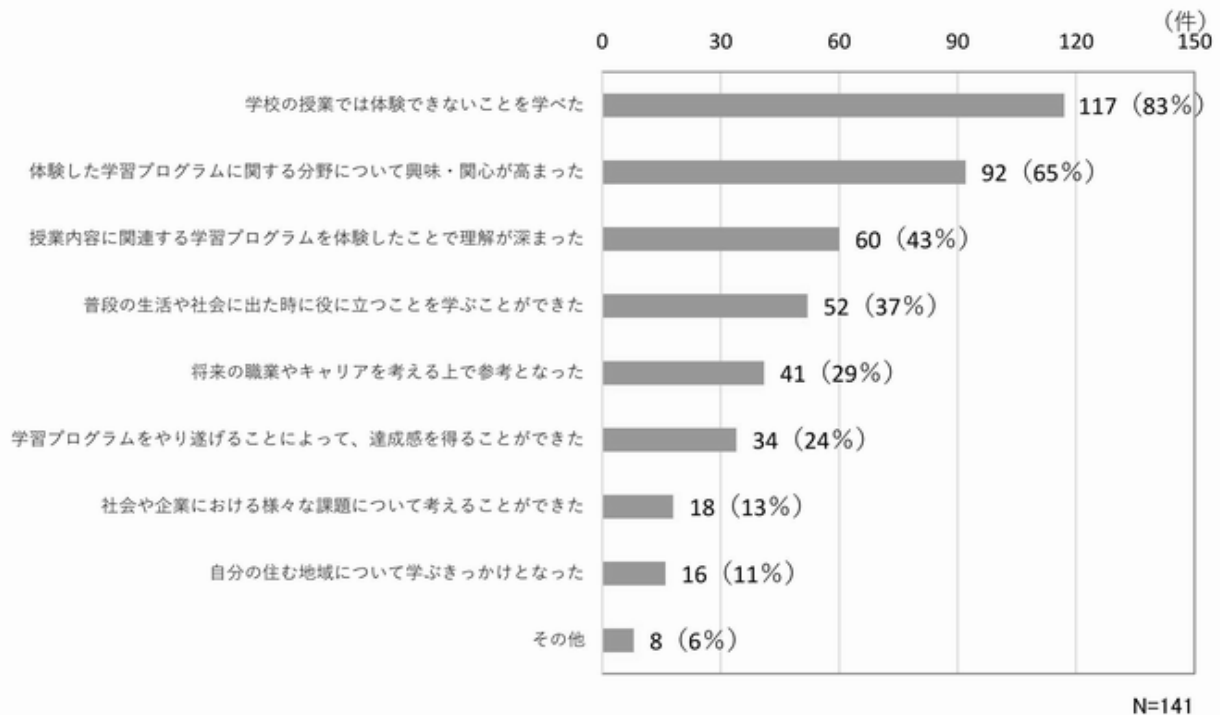
※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

活動実施後の参加者からの声によれば、

「学校の授業では体験できないことを学べた」ことが、反響として最も多い

参加者からの声では、「学校の授業では体験できないことを学べた」が 141 件中 117 件、83%と最も高く、学校だけでは 実現しにくい深い学びや社会とのつながりに対する気付きなどへの評価が高い。

2-9 活動実施後に参加者からのどんな声があったか(感想、成果など)お教えてください



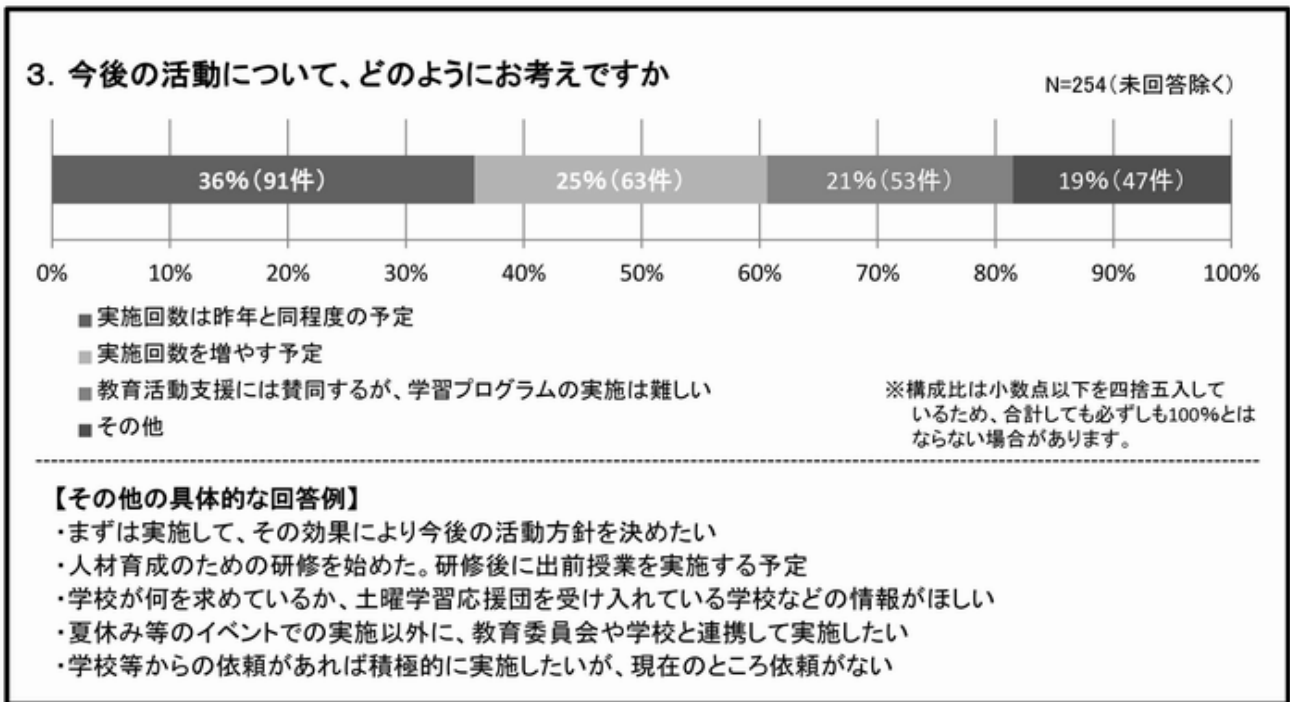
【その他の具体的な回答例】

- ・地球環境やエネルギー資源の大切さを考えるきっかけとなった
- ・親子で参加できてよかった
- ・夢が明確になり、夢を叶えるために努力しようと思った
- ・掃除の大切さがわかった
- ・情報収集手段、情報活用について理解を深めることができた
- ・普段、できないことができるのがとにかく楽しい

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

今後の活動について、「実施回数は昨年と同程度の予定」が最も多い

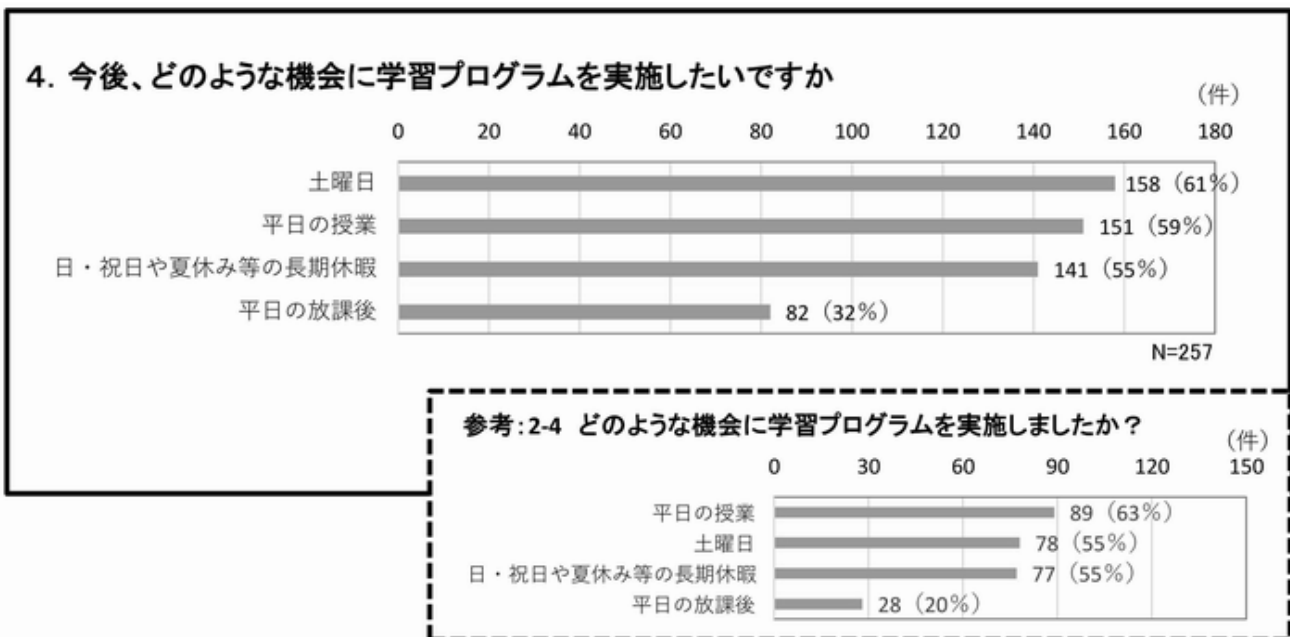
今後の活動については、「実施回数は昨年と同程度の予定」が257件中91件36%、次いで「実施回数を増やす」が25%、「教育活動には賛同するが、学習プログラムの実施は難しい」が21%となった。



※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

今後実施したい機会は、「土曜日」と「平日の授業」がほぼ同程度である

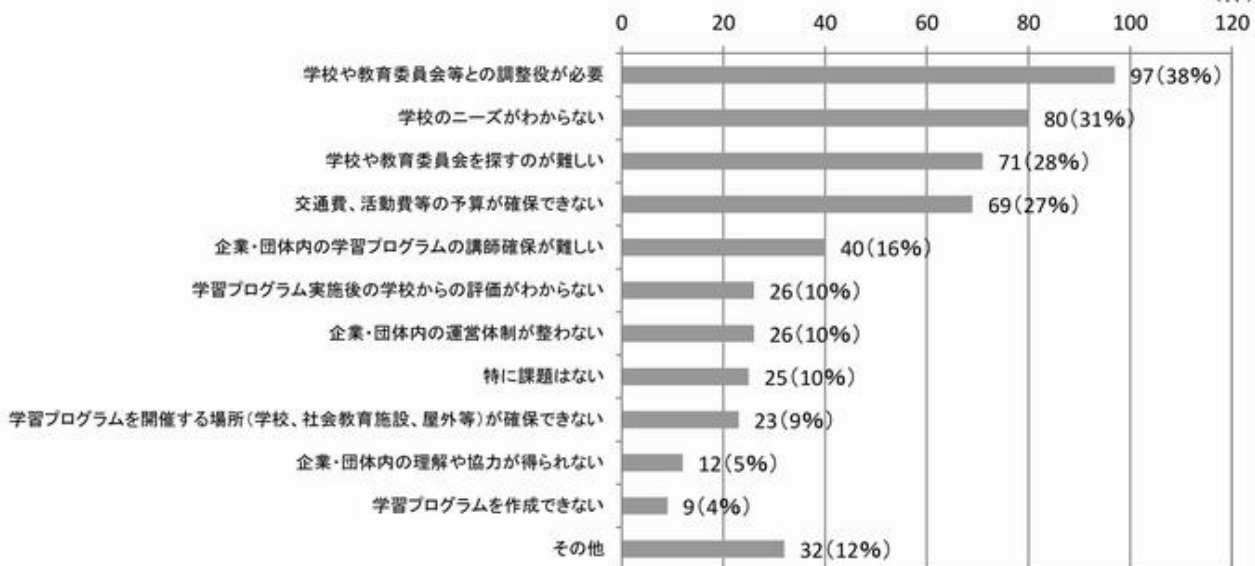
今後の学習機会については、「土曜日」が257件中158件61%、次いで「平日の授業」が59%、僅差で「日・祝日や夏休み等の長期休暇」55%と続いている。既に実施している企業・団体の活動実績(問2-4)では、「平日の授業」が63%と最も多かった。今後については、土曜日や日・祝日や夏休み等の長期休暇への意向が強い。



様々な課題がある中、「学校や教育委員会との調整役」が強く求められている

今後の学習プログラム実施にあたっての課題は、「学校や教育委員会等との調整役が必要」が257件中97件38%、次いで「学校のニーズがわからない」が31%、「学校や教育委員会を探すのが難しい」28%となっている。

5. 今後の学習プログラム実施にあたり課題となることがあればお教えてください



N=257

【その他の具体的な回答例】

<民間企業・団体等における運営体制>

- ・講師の質を低下させないように、研修体制をいかに確保するかが課題
- ・開催依頼が夏休みや秋の週末に集中し、実施できない場合がある
- ・学校がプログラムを利用しやすい仕組み、及びその周知

<民間企業・団体等の財政面>

- ・学習プログラムを広報するための補助金等があると助かる

<学校等のニーズの把握>

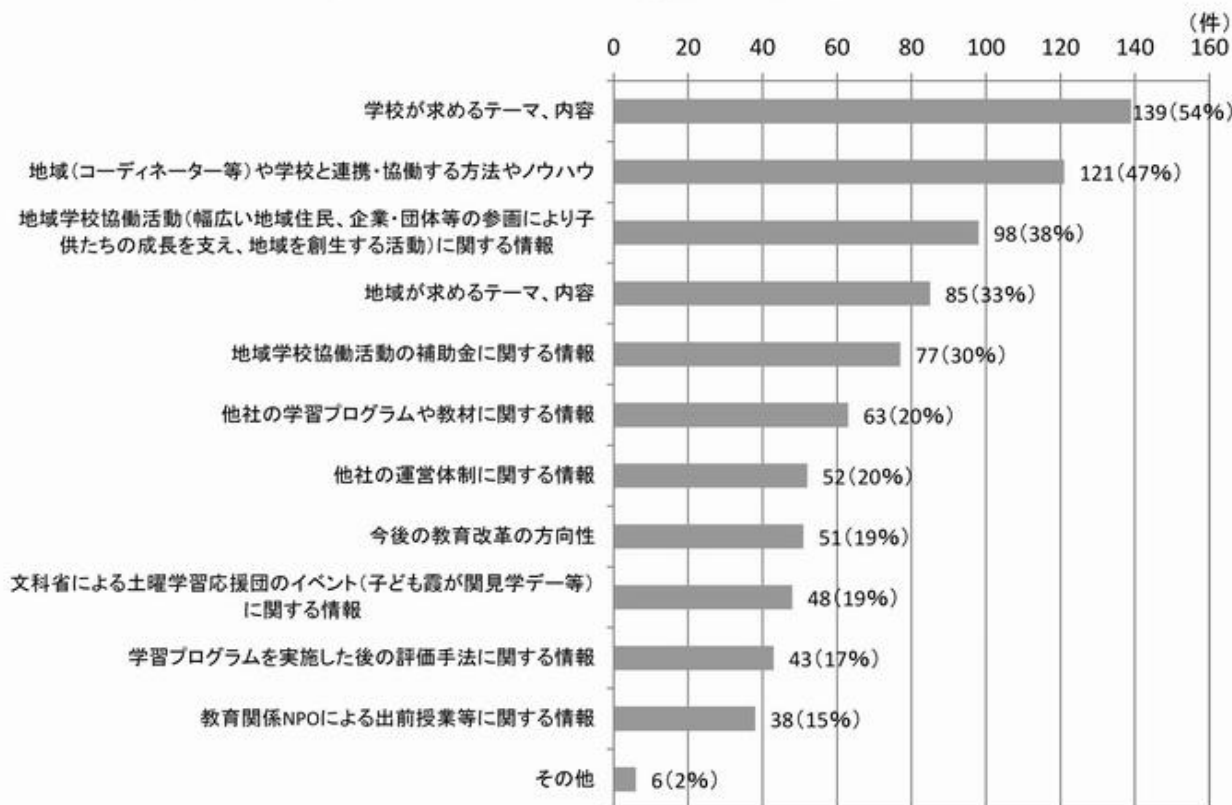
- ・学校や教育委員会側の潜在的なニーズの把握と、それに即した学習プログラムの提案
- ・学校側のニーズに合致した学習プログラムを提供できるか検討が必要

<その他>

- ・学習プログラム実施後に児童・生徒からの感想だけではなく、学校からも感想や要望などを聞けると、今後の活動の励みになる
- ・地域の民間企業と学校が長年の取組で信頼関係を築いて継続した事業を展開している

「学校の求めるテーマ、内容」へのニーズを持つ民間企業・団体等は過半数を占め、次いで「地域（コーディネーター等）や学校と連携・協働する方法やノウハウ」となっている。今後の学習プログラム実施にあたって知りたい情報や要望については、「学校が求めるテーマ、内容」が257件中139件、54%、次いで「地域（地域コーディネーター等）や学校と連携・協働する方法やノウハウ」が47%。「地域学校協働活動に関する情報」へのニーズも38%と高い結果となった。

6. 今後の学習プログラム実施にあたり、知りたい情報や要望があれば教えてください



N=257

【その他の具体的な回答例】

- ・同じ業界の他社の学習プログラムの授業内容を知りたい・企業の教育支援を評価、表彰する制度についての情報があればいただきたい(全国規模のものから地方限定のものまで)
- ・とても好評だが、短期的で継続性がない助成金頼みでは、事業の持続性に不安がある。ニーズがあるのに、もったいない。いい事業を選別し、長期的に支援して育てる仕組みがあると、社会的に好循環が生まれると思う。
- ・現在の活動については定着してきているので特に必要なものはない。
- ・他の金融機関の金融教室の授業内容

7. 今後の学習プログラム実施にあたり、支援してほしいことやご意見、ご要望、ご質問等、自由にお聞かせください

【ご意見・ご要望】

＜学校等への周知と調整の要望＞

- ・学習プログラムを学校関係者に知っていただくために、直接紹介できるフォーラムのようなものがあるとよい
- ・学校との調整にメール等が利用しづらいことから、土曜学習応援団と学校等をつなげる機能が欲しい
- ・コーディネーターの方にもっと積極的に土曜学習応援団の活用をお願いしたい

＜意見交換や交流の機会＞

- ・地域の方との交流会等を設定してほしい

＜授業実施後の評価を知りたい＞

- ・学校が何を求めているのか知る機会として、学校からの授業後の評価を聞きたい

＜その他＞

- ・地域学校協働本部が設立された際には、各学校毎の本部及び担当者を公開し、広く連携・協働の門戸を広げてほしい
- ・異業種とのコラボレーションによる学習プログラムの提供を考えたい
- ・複数の民間企業・団体等のプログラムを束ねた総合カリキュラムを作っても良い

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

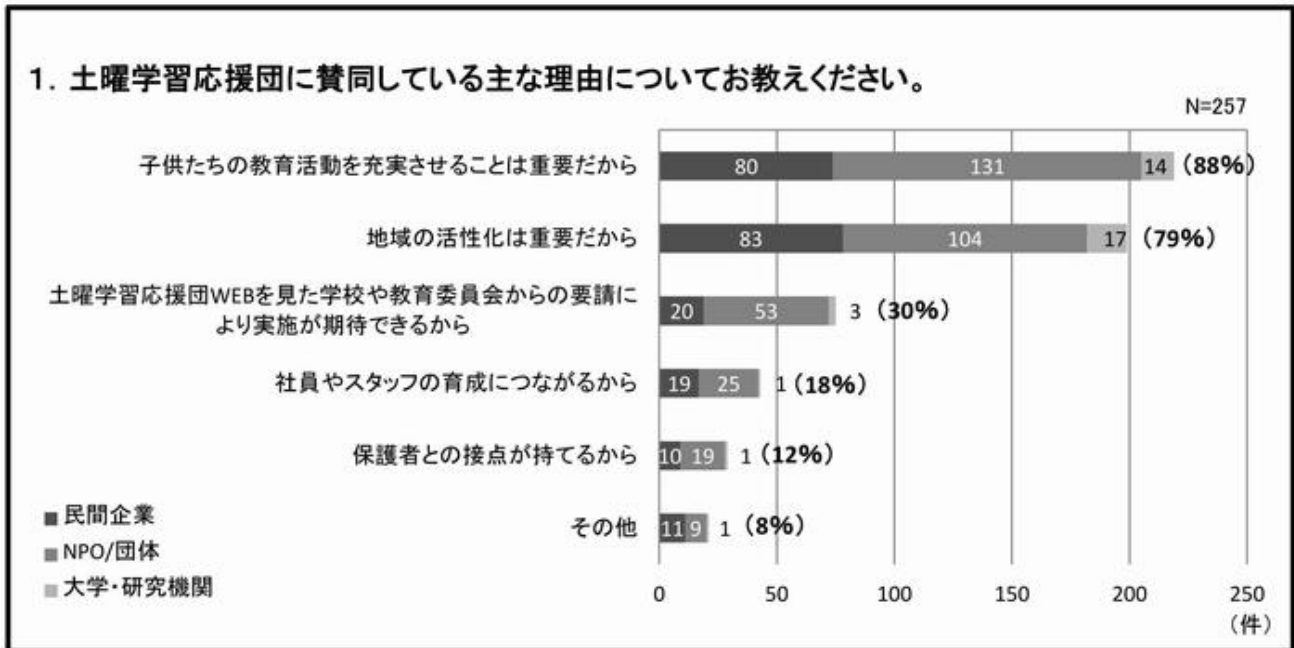
□クロス集計結果

<民間企業、NPO/団体、大学・研究機関の回答者属性別に比較>

賛同している理由は、「子供たちの教育活動の充実」、「地域の活性化」と考える民間企業・団体等が大半である中、NPO/団体は実施先を増やす可能性のひとつとして考えている傾向もある

土曜学習応援団に賛同している理由は、①「子供たちの教育活動を充実させることは重要だから」と②「地域の活性化は重要だから」の2つの理由でほぼ占められている。

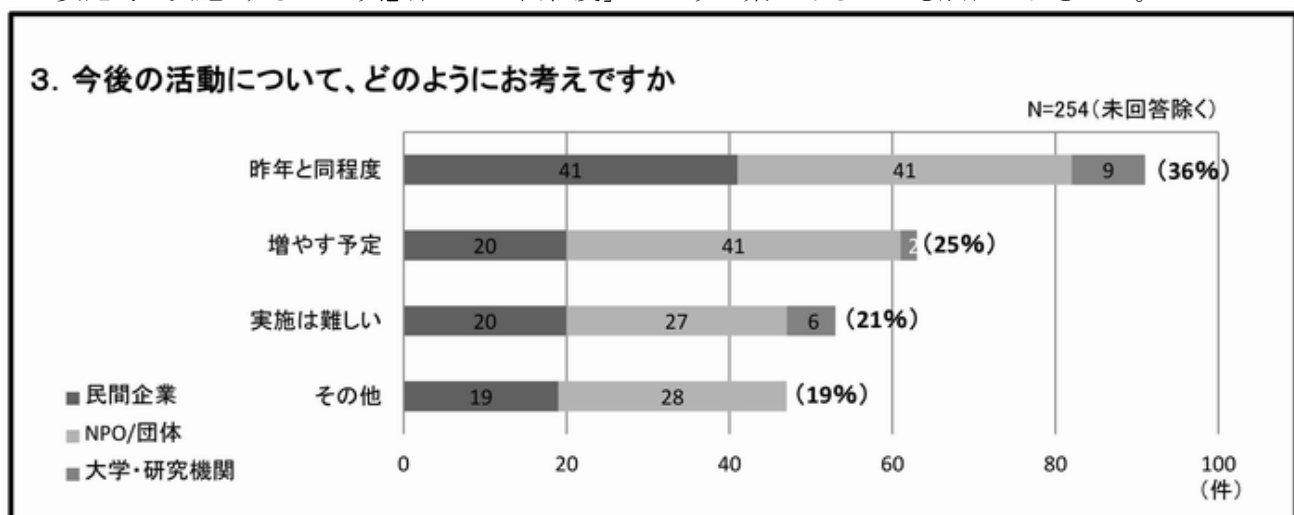
回答者属性別では、NPO/団体の回答の特徴として③「土曜学習応援団WEBを見た学校や教育委員会からの要請により実施が期待できるから」の理由が53件/139団体中と高く、実施先を増やす可能性のひとつとして考えられている。



今後の活動については、学習プログラムの実施回数を「昨年と同程度」と考える民間企業・団体等が多い。中でもNPO/団体は「活動を増やす」意欲が高い

回答者属性別に比較すると、今後の実施については、企業・団体では「実施回数は昨年と同程度」という回答が「増やす」という回答の倍以上あるのとは逆に、NPO/団体では、「増やす」という意向が「同程度」と同じ41件となっている。

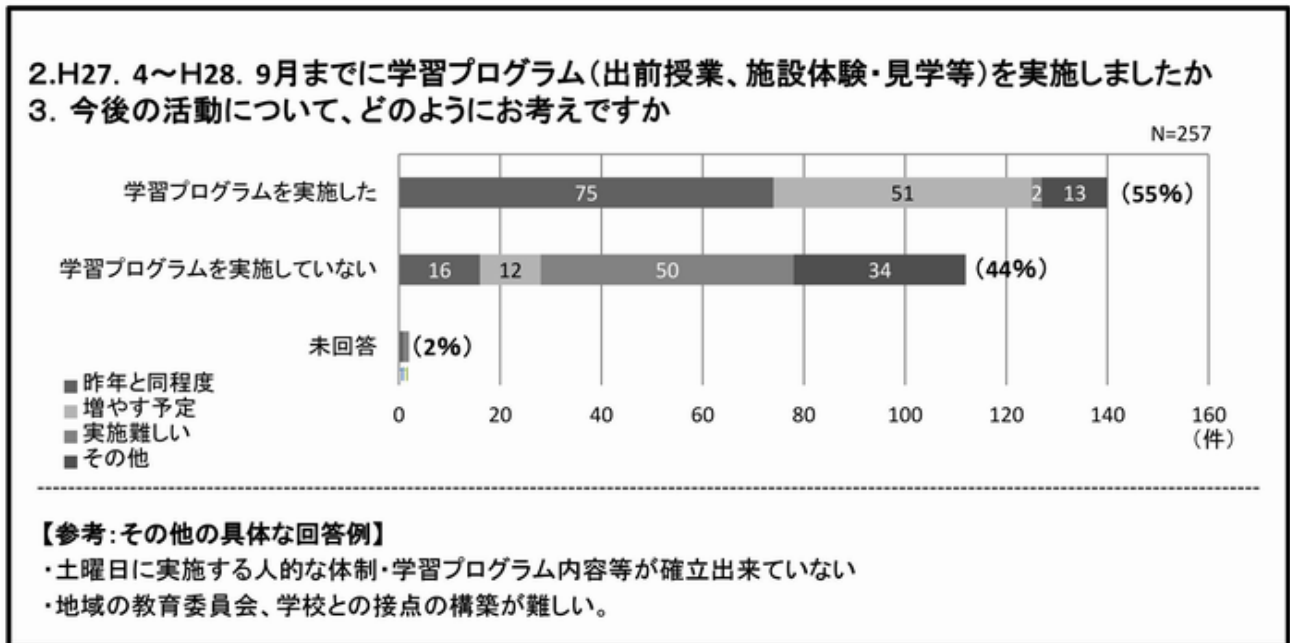
ただし民間企業の中には、既に年間実施回数が何百回という、実施規模のところもあり、教育貢献として安定的に実施するという意味での「同程度」という企業があることも触れておきたい。



<実施意向別に比較>

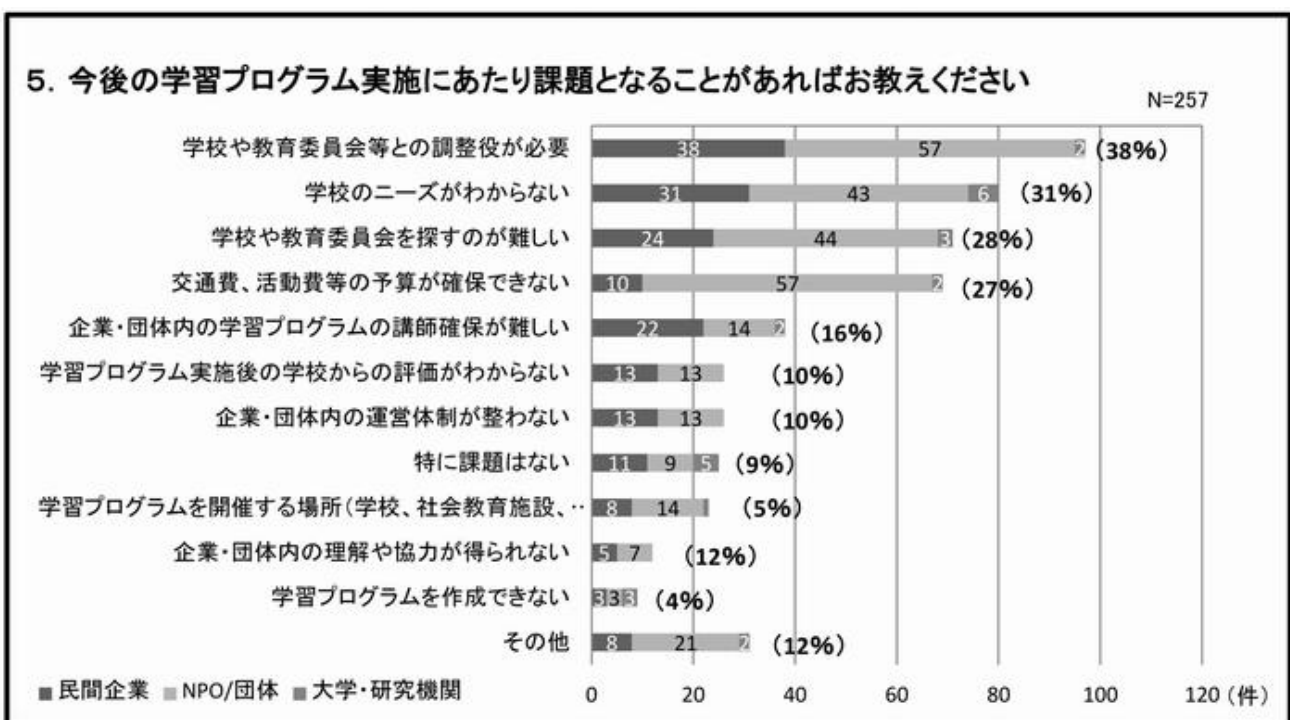
学習プログラムを実施した民間企業・団体等は、実施への意向は高い
実施実績がない民間企業・団体等であっても4割近くは「昨年と同程度」もしくは
「増やす予定」と回答

今後の実施意向別に、プログラムの実施有無を比較したところ、実施した企業・団体については、「昨年同等程度」及び「増やす」と回答している。実施実績がない企業・団体の中でも今後、「増やす予定」が12件ある。



<民間企業、NPO/団体、大学・研究機関の回答者属性別に比較>

「学校や教育委員会との調整役が必要」、「学校のニーズがわからない」を課題にあげる民間企業・団体等が多い。中でもNPO/団体は「交通費、活動費等の予算確保」に関しても課題と考えている



□考察

未来の子供たちのために。地域のために。

土曜学習応援団に賛同する民間企業・団体等の中には、日々の活動を「次代を担う子供たちへの教育貢献であり、地域の課題に対して貢献すること」と捉えているところもあり、土曜学習応援団における本質的な意義の理解が進んでいることが確認できた。

また、従来より自社のCSRの位置づけや、社会貢献の位置づけで行っている学校支援活動のさらなる拡大につながる取組として、土曜学習応援団への賛同・登録に期待しているNPO/団体が非常に多いこともわかった。

実施状況としては、講師が出向いて実施する出張授業や、平日の施設見学の受入れなど、学校における「授業」の位置づけで活動しているケースも多かった。また、地域学校協働活動に関する情報を求める民間企業・団体等が4割近くにのぼり、今後、土曜日や長期休み中の活動が増えることに期待したい。

活動については、直接的に学習プログラムを受けた子供たちだけでなく、参加した大人に対しても手応えが大きかったこともわかる。好評価の中でも最も多く聞かれた声は、「学校では体験できないことを学べるという点だった。

学習プログラムのテーマとして多いのは、「理科・実験」、次いで「キャリア教育」、「環境教育」、「ものづくり」等、学校の教科・単元をサポートする位置づけであったり、今後子供たちが社会で活躍するに当たり、必要不可欠な学習テーマが設定されていることがわかる。

どの民間企業・団体等も、学校と実社会をつなぐ情報や子供たちにとって効果的な学習手法を工夫しており、その強みが、学校と社会をつなぐ橋渡し役としての役割につながっている。

「実施のきっかけ」を見ると、土曜学習応援団から連携先・実施先への能動的アプローチよりも、実施希望する学校等からの依頼により実施が実現しているケースの方がはるかに多かった。

土曜学習応援団の課題意識としては、土曜学習応援団側からの学校・地域への能動的なアプローチを促進するための情報発信やアプローチの方法、タイミング等がわからない、という声も多く、今後の支援が期待されている。

土曜学習応援団に賛同する民間企業・団体等の課題意識は、以下の2点。

- ①土曜学習応援団の持つ学習プログラムのテーマ・内容と学校ニーズとの効果的、効率的なマッチング
- ②学校と連携・協働する方法やノウハウ、またそれを有する人材（コーディネーター等）確保

本アンケートで明確になった、上記の土曜学習応援団の課題を解決することが、地域学校協働活動の普及・拡大につながると考えられる。学校と地域が協働体制を構築し、地域で子供たちを育てていくという方針に対する、土曜学習応援団への期待は、今後ますます高まると思われる。

■山形における教育フォーラム（分科会）での事例発表

【概要】

日時	2016年11月12日（土）13:30-16:30	
会場	山形ビックウイング 〒990-0076 山形県山形市平久保 100 番地	
対象	山形県下の教育関係者、コーディネーター等	
目的	土曜学習応援団の実情調査、および地域学校協働活動における全国の好事例集の収集	
実施協力	NPO法人ファザーリング・ジャパン	
	時間	内容
第1部	10:00～ 10:30	【活動紹介】 「地域全体で子供たちの成長を支え、地域を創生する “地域学校協働活動 “について” 発表者：文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課 地域・学校支援推進室長 渡辺 栄二 氏
	10:30～ 11:00	【事例紹介】（30分） 「地域と学校が連携・協働して学習活動を行っている山形県の事例紹介」 発表者①:新庄市立北辰小学校 佐藤 雅彦 氏 発表者②:やまがたメイカーズネットワーク 齋藤 秀志 氏
第2部	11:00～ 12:00	【山形県で活動できる土曜学習応援団のプログラム体験】 地域学校協働活動に土曜学習応援団を活用していただくための プログラム紹介 出展企業及びプログラム名 ①NPO 法人日本交流分析協会 自分の良さに気づき言葉で表現できる「長所発見ワーク」 ②独立行政法人製品評価技術基盤機構 暮らしの中の身近な製品事故（小学校高学年向け） ③山形信用金庫 しんきんマネースクール “考えようお金の大切さ”




【※山形におけるイベント参加の詳細】

- イベント主催： ファザーリング全国フォーラム in やまがた実行委員会
 （NPO法人ファザーリング・ジャパン、山形県、NPO法人ファザーリング・ジャパン
 東北、やまがたイクメン共和国、山形市、山形県男女協働参画センター）
- 後援:内閣府、財務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、日本労働組合総連合会、
 につぼん子育て応援団、山形県教育委員会、山形市教員委員会
- イベントタイトル 『ファザーリング全国フォーラム in やまがた』
 内容詳細は WEB サイトをご覧ください (<http://fj-zenkoku.net/yamagata/>)

□会場の様子（写真）

		
<p>挨拶・主旨説明</p>	<p>事例紹介① 新庄市立北辰小学校</p>	<p>事例紹介② やまがたメイカーズネットワーク</p>

		
<p>プログラム紹介① 自分の良さに気づき言葉で表現できる 「長所発見ワーク」 NPO 法人日本交流分析協会</p>	<p>プログラム紹介② くらしの中の身近な製品事故 (小学校高学年向け) 独立行政法人製品評価技術基盤機構</p>	<p>プログラム紹介③ しんきんマネースクール“考えよう お金の大切さ” 山形信用金庫</p>

		
<p>ブース説明会① 自分の良さに気づき言葉で表現できる 「長所発見ワーク」 NPO 法人日本交流分析協会</p>	<p>ブース説明会② くらしの中の身近な製品事故 (小学校高学年向け) 独立行政法人製品評価技術基盤機構</p>	<p>ブース説明会③ しんきんマネースクール“考えよう お金の大切さ” 山形信用金庫</p>


<p>ブース説明会の様子</p>

<p>「地域と学校の連携・協働の推進について」</p> <p>文部科学省地域社会教育課地域・学校連携推進室 課長 渡辺 隆二</p>	<p>本日の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己紹介～ファザリングと私 ○ 地域学校協働活動とは？ ○ 保護者の皆様への期待 ○ 企業等による出前授業の推進 <p><参考資料></p>	<p>自己紹介</p> <p>ファザリングと私</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父親であることを楽しんでいるか？ ・育メン？ ・域メン？ 	<p>新しい構内の教育や地域連携の取組について</p> <p>【重要】</p> <p>【重要】</p> <p>【重要】</p>
<p>「教育の場としての学校の役割の再考について（中継室からの生中継）」</p>	<p>「次期学習指導要領に向けたこれまでの取組のまとめ」</p> <p>これからの教育課程の理念</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会や世界の状況と幅広く親しく入れ、よりよい学校教育を通してよりよい社会を築くという目標を共有し、教育課程を軸とした学びの機会を社会と共有していくこと。 2. これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に真意を込め、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確にし、育んでいくこと。 3. 教育課程の実践に当たって、関係者の内、特に教師を支援したり、協働や共同学習を促したりした社会関係との連携を軸として、学校教育を学校教育とし、その領域を社会と共有し、連携し保証が実現されること。 	<p>次期学習指導要領に向けたこれまでの取組のまとめ</p> <p>これからの教育課程の理念</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会や世界の状況と幅広く親しく入れ、よりよい学校教育を通してよりよい社会を築くという目標を共有し、教育課程を軸とした学びの機会を社会と共有していくこと。 2. これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に真意を込め、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確にし、育んでいくこと。 3. 教育課程の実践に当たって、関係者の内、特に教師を支援したり、協働や共同学習を促したりした社会関係との連携を軸として、学校教育を学校教育とし、その領域を社会と共有し、連携し保証が実現されること。 	<p>次期学習指導要領に向けたこれまでの取組のまとめ</p> <p>これからの教育課程の理念</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会や世界の状況と幅広く親しく入れ、よりよい学校教育を通してよりよい社会を築くという目標を共有し、教育課程を軸とした学びの機会を社会と共有していくこと。 2. これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に真意を込め、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確にし、育んでいくこと。 3. 教育課程の実践に当たって、関係者の内、特に教師を支援したり、協働や共同学習を促したりした社会関係との連携を軸として、学校教育を学校教育とし、その領域を社会と共有し、連携し保証が実現されること。
<p>学校と地域との関係の再考（連携・協働のイメージ）</p>	<p>地域学校協働活動の推進（イメージ）</p>	<p>地域学校協働活動の推進（イメージ）</p>	<p>地域学校協働活動を推進するための仕組み（イメージ）</p>
<p>地域学校協働活動推進事業</p>	<p>地域学校協働活動の実地</p>	<p>地域学校協働活動に活用する関係機関</p>	<p>「地域学校協働活動」について紹介するイメージ</p>
<p>保護者がPTA活動を通じ、地域学校協働活動と連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域行事への参加、防災訓練、学校周辺環境整備、登下校の見守り 等 ● 地域ボランティアとしての参加 ● 地域コーディネーターとしての参加 	<p>地域学校協働活動への保護者・PTA関係者の参加状況</p> <p>調査結果（PTA関係者）</p> <p>調査結果（保護者）</p>	<p>地域学校協働活動に関する保護者への要望</p>	<p>保護者・地域学校協働活動の推進（イメージ）</p>
<p>協働型小規模小学校における「学校連携推進事業」</p>	<p>地域コーディネーターとして活動するPTA活動継続者</p>	<p>放課後子供教室の推進</p>	<p>放課後子供教室の推進</p>
<p>外国人材を活用した上場目的教育支援活動</p>	<p>外国人材を活用した上場目的教育支援活動</p>	<p>外国人材を活用した上場目的教育支援活動</p>	<p>外国人材を活用した上場目的教育支援活動</p>
<p>地域学校協働活動に関する参考事例</p>	<p>地域学校協働活動に関する参考事例</p>	<p>地域学校協働活動に関する参考事例</p>	<p>地域学校協働活動に関する参考事例</p>



<p>広がれ けやきの森プロジェクト</p>  <p>地域と学校の連携・協働の推進 新庄市立北辰小学校</p>	<p>全国緑化推進協議会理事長賞受賞</p> 	<p>学校紹介</p>  <p>山形県新庄市の北部に位置し、学区中心部に指首野川があり、肥沃な土地をもち、かつては農業の中心は農業でした。</p> <p>川原の中に位置する学校です。豊かな自然が広がっています。</p>	<p>けやきの森プロジェクトの背景</p>  <p>破壊が危惧されている淡水魚「イバラトミヨ」が生息しています。豊かな自然環境を生き、環境を守るために自分ができることや環境型社会(けやきの森プロジェクト)を地域協働のもと目指すことが大切と考えました。</p>
<p>環境教育から地域学校協働活動へ</p> <p>1 けやきの森プロジェクトA 2 元気創出プロジェクトB</p> 	<p>北辰小 地域学校協働活動のイメージ</p> 	<p>地域学校協働活動のメリットは？</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは？ <ul style="list-style-type: none"> 学びの場が広がります。 自分の力に自信が持てます。 学校・先生たちは？ <ul style="list-style-type: none"> 授業の幅が広がります。 一人一人の子どもが活躍の場が広がります。 教師の負担が軽減されます。 地域住民の方にとっては？ <ul style="list-style-type: none"> 子どもが活躍の場が広がります。 学校を核とした地域づくりができます。 	<p>クリーン作戦</p>  <p>1年生から4年生は、学校周辺のごみ拾い、5・6年生は、通学路のごみ拾いを進んでいます。</p>
<p>花いっぱい運動</p>  <p>新庄市花いっぱい運動地域ネットワーク協議会の方と、思いやりの気持ちも育つよう人権の花を植えました。</p>	<p>落ち葉拾い</p>  <p>北辰小では、校庭の落ち葉を堆肥化して再利用する「循環型社会」をめざして、毎年、落ち葉拾いをしています。</p>	<p>学校林の世話</p>  <p>「種取り下見回り」を行う児童会委員との協働活動</p>	<p>イバラトミヨの観察</p>  <p>年4回 春夏秋冬イバラトミヨの生態調査を行い、淡水環境の保全に努めています。</p>
<p>春と夏のイバラトミヨ観察</p> 	<p>秋と冬のイバラトミヨ観察</p> 	<p>指首野川調査</p>  <p>指首野川の水质調査も行いました。PHは7.0、汚れも最低ランクに入り、きれいなことが分かりました。</p>	<p>北辰米づくり</p> 
<p>生活科・理科・総合</p>  <p>1・2年生の生活科「暮らさじ」「植物の観察」など 3年生以上では理科・総合「水の博士になろう」「メダカの観察」「虫類展を考える」など</p>	<p>地域を活かし、人を育てるESD環境教育</p>  <p>「けやきの森プロジェクト」学習・交流・遊びでは、命の大切さ、人々のつながりの大切さ。</p>	<p>「北辰学区元気創出プロジェクト」実行委員会 会則</p>  <ul style="list-style-type: none"> 第1条 本会の名称を「北辰学区元気創出プログラム」とし、事務局を北辰小の学校に置く。 第2条 本会は、子ども達や地域住民と外部組織(大学生や教育ボランティア)とのふれあいを通じて、人と人とのつながり地域社会を目指し、北辰学区の活性化を図る。 第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 地域協働型ESD活動と環境教育ネットワークの作成 地域のお宝を題材にした郷土教材の実施 子ども達の学習活動、学習会の実施 	<p>北辰学区元気創出プロジェクト連携図</p> 
<p>「地域のお宝探しテキスト作成」</p> 	<p>「学習会・おもしろ実験・合同昼食」</p> 	<p>「お宝探しウォークラリー①」</p> 	<p>「お宝探しウォークラリー②」</p> 
<p>北辰小 地域学校協働活動事業「広がれ けやきの森プロジェクト」(活動期間:2017年度)にご清聴ありがとうございました。</p> 			

□事例発表者 事例②やまがたメイカーズネットワーク

<p>YMN ものづくりを通して、 やまがたの次世代を担う 人財を育成する！ — 3Dプリンターを活用し、次世代を担う学校・地域の活動 — やまがたメイカーズネットワーク(YMN) 理事長 山形県立未来学園高等学校 菅野 秀志</p>	<p>やまがたメイカーズネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育界・産業界・行政等関係機関の有志で構成 ・ 平成26年2月設立 ・ ものづくりを通じて、やまがたの次世代を担う“人財”を育成することを目的して活動 	<p>教育用3Dプリンター導入プロジェクトの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地産地消3Dプリンターを作る — 手作り3Dプリンターを学校教育へ導入、活用 — — 全国・世界に類をない仕組み(先進性・独創性) ・ 山形県の“未来”を創る — 人材育成や研づくり — — 地方あるコミュニティの形成等 ・ 「良い仕組み」をつくる — 地域社会の「夢・希望・未来」 — — 持続可能な地域社会を実現 	<p>YMNの役割</p> <p>YMNの役割は、 ① 児童・生徒・教員・産業界・地域 ② 児童・生徒・教員・産業界・地域 ③ 児童・生徒・教員・産業界・地域 ④ 児童・生徒・教員・産業界・地域</p> <p>ネットワークは、 絆の強い力あるコミュニティの形成、自立・発展型の 社会づくり・地域づくり、持続可能な地域社会の構築、等</p>
<p>YMN設立のきっかけ</p> <p>1枚の企画書の影響、YMN設立 — 3Dプリンターを活用し、次世代を担う学校・地域の活動 — — 3Dプリンターを活用し、次世代を担う学校・地域の活動 — — 3Dプリンターを活用し、次世代を担う学校・地域の活動 —</p> <p>産業教育活性化 普通高校、特別支援 学校への広がり</p> <p>第6次山形県教育振興計画“つながり” 次期学習指導要領 “社会に開かれた教育課程” “地方創生”への取組のアプローチ</p>	<p>これまでの“あしあと”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2013年(平成25年) <ul style="list-style-type: none"> — 7月 3Dプリンター製作を決定、部品入手開始。 — 10月 3Dプリンター製作開始、初プリント成功。 — 11月 県内コンピュータ関連団体、県工業技術センターへ参画。 — 12月 産業界交流会でプレゼン、YMN設立を決定。 ・ 2014年(平成26年) <ul style="list-style-type: none"> — 2月 YMN設立総会の開催。 — 4月 産業界センター「3Dプリンターサポート事業」スタート。 — 8月 3Dプリンター組立て研学会の開催(教員対象)。 ・ 2015年(平成27年) <ul style="list-style-type: none"> — 8月 3Dプリンター組立て研学会の開催(高校生対象)。 	<p>教員対象3Dプリンター組立て研学会(H26)</p> <p>平成26年8月、山形県教育センターを会場に、工業技術センターを支援し、3Dプリンター組立て研学会を開催した。3Dプリンター組立て研学会は、県立工業高校へ3Dプリンターが導入された。</p>	<p>教育用3Dプリンター導入により、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校で創造的・探究的な教育活動がスタートする。 <ul style="list-style-type: none"> — 変化が激しい時代を生き抜くための21世紀型能力を高める教育 — 3Dコミュニケーション・コラボレーションを通じて、新たなイノベーションを創出するための教育 — 山形県教育センター「3Dプリンターサポート事業」と連携 ・ 学校間・地域社会と連携した協働事業がスタートする。 <ul style="list-style-type: none"> — 地域の小中学校での出前授業 — 特別支援学校との連携 — 各地区の産業フェア等のイベントでの展示や体験活動
<p>教育用3Dプリンター導入効果</p> <p>平成27年8月、県内4校にて、県立工業高校へ3Dプリンターを導入し、特別支援学校へも導入した。</p> <p>次世代を担う子どもたちにも、ものづくりの楽しさや意義を伝えるとともに、“創る心”の“創造する心”を育て、親身に言葉と誇りをもった人財を育成するための体験活動の機会を提供している。 — ものづくり意義の理解の広がり</p>	<p>【事例1】SSH指定校での探究的な学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ルービックキューブの数学的アプローチ ・ 集合論、魔法体積 	<p>学校を越えた学びへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一回高校生3Dプリンタ教室 ・ 新ファブ・3D実習 	<p>【事例2】特別支援学校と工業高校の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共生社会形成に向けた、インクルーシブ教育システム構築のための先進的な実践事例である。 ・ 盲学校の児童生徒は、見えない見えにくい9分、手で見る。 ・ 3D模型は児童生徒が理解するまでの時間が非常に短く学習効果が高い。 ・ 3D模型は全盲のみならず、弱視の児童生徒にとっても役立つ「ユニバーサルデザイン」教材である。
<p>盲学校と工業高校のコラボレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 盲学校の教員が必要とする教材は、設計依頼を元に、工業高校生が授業の一環として3Dデータを制作し、具現化し提供する仕組みを構築した。 <p>盲学校での“わかる授業”の実現とともに、工業高校生自身の有する技能が役立つことで、専門教科を学ぶ意欲や社会での役割、地域貢献や地域社会とのつながり等を学習する高い機会である。→ 心を育てる教育</p>	<p>【現在進行中】Yahoo!基金 2015年度復興支援助成 通年プログラム</p> <p>手作り3Dプリンターでつなぐ “未来・絆”プロジェクト</p> <p>やまがたメイカーズネットワーク 本県工業高校生 福島県立小高工業高等学校 (福島県立ふたば未来学園高等学校)</p>	<p>◎3Dプリンター組立てワークショップ 3/28</p> <p>◎3Dプリンター活用イベントの実施 7/12</p>	<p>福島県立ふたば未来学園高等学校との連携 ～キックオフ会議～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山形県立清田光雄高等学校(SH指定校)の生徒が、3Dプリンターを製作し、福島県立ふたば未来学園高等学校へ寄贈した。 ○贈呈式に際し、TV会議を利用して、交流を深め、今後連携していくことを確認した。
<p>グローバルな連携へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3Dプリンター組立てワークショップ IN イタリア 	<p>ご清聴ありがとうございました。</p> <p>YMNのサイト、Facebookページも、よろしくお楽しみください。 http://www.yminet.net/ https://www.facebook.com/yamagata.makers.network</p> <p>やまがたメイカーズネットワーク 検索</p>		

□学習プログラム体験① 自分の良さに気づき言葉で表現できる「長所発見ワーク」

<p>土曜学習応援推進プログラム 基本的な自尊感情を育てるワーク ～「エゴグラムSHE」を活用する～</p> <p>フォーラム主催の土曜プログラムの中で 平成29年(10/12)に、399～(29)</p> <p>NPO法人 日本交流分析協会 TA学校教育心の開発研究会 所長 山本 昭一</p>	<p>交流分析 TA(Transactional Analysis)</p> <p>自分らしく生きることを目指す人間性心理学のひとつ</p> <p>★長所探し活動の目標は、「活動中自分が大人気な人達と交流できること」</p> <p>自分らしさを知る → 平均より(空想)のせがわかる 相手を知解する → 強い人間関係がわかる 私もあなたもOK: DR-ORの心理学</p> <p>交流分析の哲学 ①人は誰でもOKである ②人は誰でも考える力を持っている ③人は誰でも自分で決めた運動を変えられる</p>	<p>NPO法人日本交流分析協会 TA学校教育心の開発研究会 http://jca-net/ 2009年10月 日本交流分析協会の社会貢献活動として目的 目的: ジョングリニカルな交流分析を、学校教育に活用する</p> <p>教材交換 ・資料類(エゴグラム分析、標準化記入紙、 ・お礼状等)を持ってエゴグラムの活用、活用 ・テキスト(教師のための交流分析)</p> <p>研修内容 ・「教員研修」(PTA研修「授業」) ・講座(授業)「教科書と授業」(教科書と授業) ・PTA研修(1日1時間)研修</p> <p>定員超過の場合 ・土曜学習応援プログラムを併用する ・研修料(研修費) (中学生～高校生) ・研修料(研修費) (小学生～中学生)</p>	<p>土曜学習応援推進プログラム 「基本的な自尊感情」を育てるワーク ①</p> <p>テーマ 自分らしさを「エゴグラムSHE」で知ろう！ ～自分の心を5つの特性で理解できます～</p> <p>目標 自分らしさに気づき 「あなたの長所は何ですか？」 に答えられるようになる。</p> <p>(注)質問紙「エゴグラム分析シート」 60の質問に答えることで、学校(School)と家庭(Home) の心のエネルギーの違いが分かる</p>																		
<p>土曜学習応援推進プログラム 「基本的な自尊感情」を育てるワーク ②</p> <p>Scene 1 個人ワーク 自分のことを誰かに見つめられる環境で行なう 目的 対人関係(友達、兄弟、先生)で使っている 自分の心エネルギーの特性を知る。</p> <p>①「エゴグラムSHE」を体験する。 (資料) ①資料② ③記入紙</p> <p>② 自分の心の5特性 (CP・NP・A・FC・AC) を理解する。 (資料) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <p>③ 心の5特性の具体的な体験から、自分らしさを理解する。 (資料) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>	<p>エゴグラムSHEの実施方法 授業中、休憩時間から、取り上げて実施している</p> <p>準備 準備で、友だちが名前を呼ぶときは、名前を返さない 授業の最中は、遅刻しませんが 授業が終わるまで待たせられず、退席します 友だちの名前を呼ぶときは、遅くても遅くても 友だちの名前を呼ぶときは、遅くても遅くても 友だちの名前を呼ぶときは、遅くても遅くても</p> <p>① 長所について、空想に 「いいところである」ときは、 「いいところである」ときは、 「いいところである」ときは、</p> <p>② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>	<p>「エゴグラムSHEから分かること」(活用例) 高校女子</p>	<p>エゴグラムSHEから分かること すべて高得点に つなげた人へのアドバイス (高得点に達するまでのヒント)</p>																		
<p>土曜学習応援推進プログラム 「基本的な自尊感情」を育てるワーク ③</p> <p>Scene 2 グループワーク (4人1組でやる) (注) 相手のワークでも可能 目的 グループワークを通して、自分の良さに気づく。</p> <p>① Work インタビュー (ワーク) に自分の名前を記入して、他の人に自分の インタビューを受ける人 (A) を決める。 ② 質問を準備し、Aの人一人一人の質問を準備して伝える。 ③ ④から、自分の名前を呼ぶ人一人一人の質問を準備して伝える。 (記入紙) を準備してインタビューを受ける。 ④ ⑤から、自分の名前を呼ぶ人一人一人の質問を準備して伝える。 (記入紙) を準備してインタビューを受ける。 ⑤ ⑥から、自分の名前を呼ぶ人一人一人の質問を準備して伝える。 (記入紙) を準備してインタビューを受ける。</p>	<p>いいところ発見シート</p> <table border="1"> <tr> <th>場面</th> <th>自分について思うこと</th> <th>他人から思われること</th> </tr> <tr> <td>CP</td> <td>● 思いやりが強い ○ 思いやりが弱い</td> <td>● 思いやりが強い人 ○ 思いやりが弱い人</td> </tr> <tr> <td>NP</td> <td>● 自信を持って行動する ○ 自信を持って行動しない</td> <td>● 自信を持って行動する人 ○ 自信を持って行動しない人</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>● 他人の意見を受け入れる ○ 他人の意見を受け入れない</td> <td>● 他人の意見を受け入れる人 ○ 他人の意見を受け入れない人</td> </tr> <tr> <td>FC</td> <td>● 責任を自分で取る ○ 責任を自分で取らない</td> <td>● 責任を自分で取る人 ○ 責任を自分で取らない人</td> </tr> <tr> <td>AC</td> <td>● 責任を自分で取る ○ 責任を自分で取らない</td> <td>● 責任を自分で取る人 ○ 責任を自分で取らない人</td> </tr> </table>	場面	自分について思うこと	他人から思われること	CP	● 思いやりが強い ○ 思いやりが弱い	● 思いやりが強い人 ○ 思いやりが弱い人	NP	● 自信を持って行動する ○ 自信を持って行動しない	● 自信を持って行動する人 ○ 自信を持って行動しない人	A	● 他人の意見を受け入れる ○ 他人の意見を受け入れない	● 他人の意見を受け入れる人 ○ 他人の意見を受け入れない人	FC	● 責任を自分で取る ○ 責任を自分で取らない	● 責任を自分で取る人 ○ 責任を自分で取らない人	AC	● 責任を自分で取る ○ 責任を自分で取らない	● 責任を自分で取る人 ○ 責任を自分で取らない人	<p>ワークで育てたい「自尊感情」とは?</p> <p>自己肯定感 自己肯定感とは、 「自分自身を大切に思うこと」 を指します。</p> <p>基本的自尊感情 基本的自尊感情とは、 「自分自身を大切に思うこと」 を指します。</p> <p>自己肯定感と基本的自尊感情 自己肯定感と基本的自尊感情 自己肯定感と基本的自尊感情</p>	<p>「自尊感情」の何が低下しているのか?</p> <p>自尊感情とは、 「自分自身を大切に思うこと」 を指します。</p> <p>自己肯定感と基本的自尊感情 自己肯定感と基本的自尊感情 自己肯定感と基本的自尊感情</p>
場面	自分について思うこと	他人から思われること																			
CP	● 思いやりが強い ○ 思いやりが弱い	● 思いやりが強い人 ○ 思いやりが弱い人																			
NP	● 自信を持って行動する ○ 自信を持って行動しない	● 自信を持って行動する人 ○ 自信を持って行動しない人																			
A	● 他人の意見を受け入れる ○ 他人の意見を受け入れない	● 他人の意見を受け入れる人 ○ 他人の意見を受け入れない人																			
FC	● 責任を自分で取る ○ 責任を自分で取らない	● 責任を自分で取る人 ○ 責任を自分で取らない人																			
AC	● 責任を自分で取る ○ 責任を自分で取らない	● 責任を自分で取る人 ○ 責任を自分で取らない人																			
<p>エゴグラムの「5つの特性」とは? (10分程度)</p> <p>CP Controlling Parent 「支配的な親」 NP Nurturing Parent 「養育的な親」 A Adult 「成人」 FC Free Child 「自由な子ども」 AC Adapted Child 「順応した子ども」</p>	<p>エゴグラムSHEの目指すもの</p> <p>① 子どもの、そのまますべての長所が認められること ② 子どもの、そのまますべての長所が認められること ③ 子どもの、そのまますべての長所が認められること</p>	<p>「エゴグラム SHE」から分かることは?</p> <p>質問(行動パターン)から CP: 自己主張する力(自己肯定感) AC: 身を守る力(自己否定感) NP: 人間関係を築きで作る力 FC: 人間関係を築きで作る力 A: 努力から自分をコントロールする力へ などの発達・成長が読み取れる。</p> <p>「エゴグラム SHE」が役に立つことは?</p> <p>思春期・青年期の若者が、自己理解、対人関係の改善をすること 大人(親・教師等)が、児童理解を深め、援助をサポートすること</p>	<p>分科会 学校教育 グループ討議</p> <p>● 校種によるグループ分けを行いません。 ① 幼稚園・保育所・認定こども園 ② 小学校 ③ 中学校 ④ 高校 ⑤ 専門・短大・大学(学生が1～4で講師をする等)</p> <p>※現在申請しているのは、小学校高学年～高校</p>																		
<p>分科会 学校教育 グループ討議</p> <p>● 討議内容 校種別に、「土曜学習応援推進」のプログラムを作成 してください。協会の会員として「私たちにできること」 「子どもに体験させたいこと」を提案してください。</p> <p>● グループごとに、係を決めてください。 ① 進行係(自己紹介をしながら、討議を進めてくだ さい。11:45には発表準備を終えてください。)</p>	<p>分科会 学校教育 グループ討議</p> <p>● 討議内容 校種別に、「土曜学習応援推進」のプログラムを作成 してください。協会の会員として「私たちにできること」 「子どもに体験させたいこと」を提案してください。</p> <p>● プログラム内容 ① テーマと目標 ② プログラムの内容 ③ ツール(交流分析のジャンル等)</p>	<p>ご静聴 ご協力 ありがとうございました</p> <p>土曜学習応援推進プログラム TA学校教育心の開発研究会 所長 山本 昭一</p>	<p>分科会 学校教育 グループ討議</p> <p>● 校種によるグループ分けを行いません。 ① 幼稚園・保育所・認定こども園 ② 小学校 ③ 中学校 ④ 高校 ⑤ 専門・短大・大学(学生が1～4で講師をする等)</p> <p>※現在申請しているのは、小学校高学年～高校</p>																		

□学習プログラム体験② 暮らしの中の身近な製品事故（小学校高学年向け）

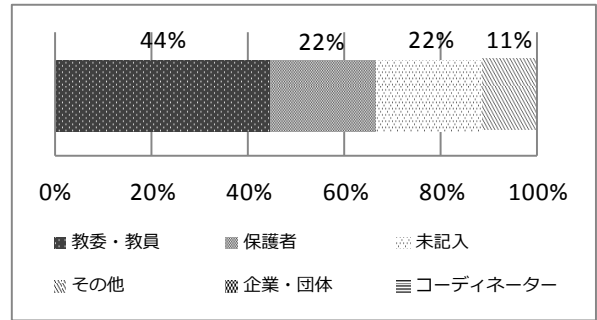
□学習プログラム体験③ “しんきんマネースクール” 考えようお金の大切さ”

□アンケート結果

参加者の属性

回答	回答数	構成比
教委・教員	4	44%
企業・団体	0	0%
コーディネーター	0	0%
保護者	2	22%
未記入	2	22%
その他	1	11%
計	9	100%

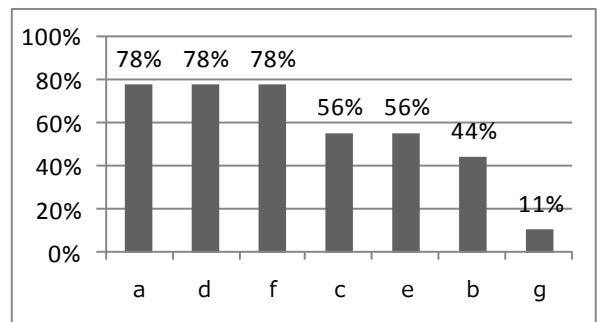


1. 本日のプログラムについて、ご意見をお聞かせください。

1) 本日のプログラムで話を聞いて良かったと思うものを教えてください。(複数回答可)

■全体集計

回答	回答数	相対度数
a.文部科学省の活動紹介	7	78%
d.プログラム紹介「日本交流分析協会」	7	78%
f.プログラム紹介「山形信用金庫」	7	78%
c.事例紹介「やまがたメカースネットワーク」	5	56%
e.プログラム紹介「製品評価技術基盤機構」	5	56%
b.事例紹介「新庄市立北辰小学校」	4	44%
g.その他(コメントなし)	1	11%



N=9

回答	教委・教員	企業・団体	その他	未記入	合計
a.文部科学省の活動紹介	4	2	0	1	7
b.事例紹介「新庄市立北辰小学校」	4	0	0	0	4
c.事例紹介「やまがたメカースネットワーク」	2	2	1	0	5
d.プログラム紹介「日本交流分析協会」	4	2	0	1	7
e.プログラム紹介「製品評価技術基盤機構」	4	1	0	0	5
f.プログラム紹介「山形信用金庫」	4	2	0	1	7
g.その他(コメントなし)	1	0	0	0	0

N=9

2) 上記で「よかった(参考になった)」とご回答の場合、そのうち1つについて、どういった点がよかった(参考になった)か、理由も一緒に教えてください。(自由記入)

【a,b,c,d,e,f】

- ・国の施策がわかりやすく説明していた

【a,b,c,d,e,f,g】

- ・土曜学習応援団の実際の体験を、より多くのコーディネーターや教育活動推進員の方々、教員にもしていただき、その有効性を実感してほしいと思いました。

【a,b,d,e,f】

- ・文部科学省の動向がわかってよかった。事例を聞くことができてよかった。

【a,b,d,e,f】

- ・f.子どもたちの出前授業のネタづくり

【a,c,d,e,f】

- ・動画を見たり、質問など参加することで子どもの理解も高まり良いと思いました。

【a,d】

- ・出前授業のそんざいを知った

【c】

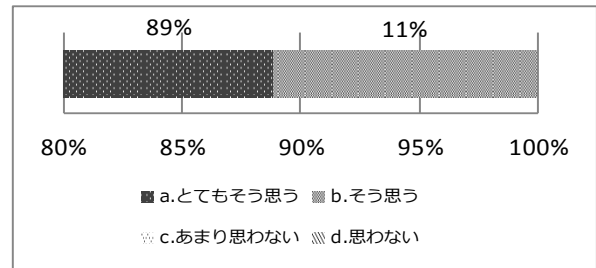
- ・先進的な取り組みであり、子供の成長に実用的な面で繋がると感じたから

※自由記述は主なものの一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

2. 本日のご参加を踏まえ、今後の土曜学習応援団などによる活動全般について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

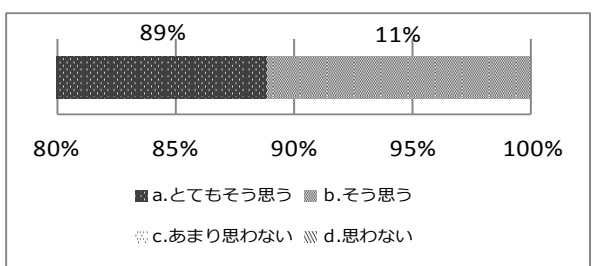
1) 本日のフォーラムに参加して、あらためて、学校だけでは難しいテーマや内容、体験等について、土曜学習応援団（地域や企業）等が出前授業などによる学習支援を行うことは、これからの子供たちの学習に有効だと感じた。（1つ選択）

回答	回答数	構成比
a.とてもそう思う	8	89%
b.そう思う	1	11%
c.あまり思わない	0	0%
d.思わない	0	0%
計	9	100%



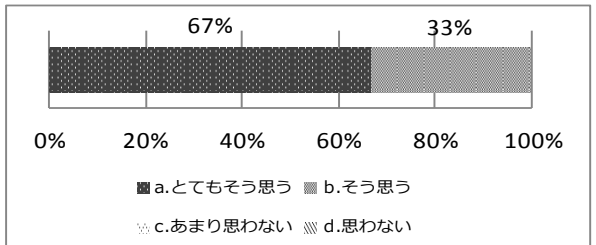
2) 子どもたちの学びを豊かにする、土曜学習応援団（地域や企業）等による学習支援が、今後ますます広がってほしいと感じた。（1つ選択）

回答	回答数	構成比
a.とてもそう思う	8	89%
b.そう思う	1	11%
c.あまり思わない	0	0%
d.思わない	0	0%
計	9	100%



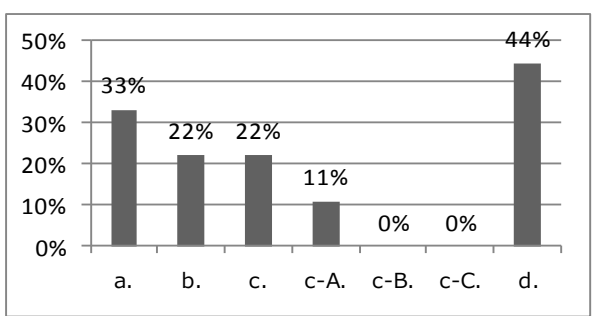
3) 今後の「地域学校協力活動」への協力について、自分もできることから「地域学校活動」に協力したいと思う。（1つ選択）

回答	回答数	構成比
a.とてもそう思う	6	67%
b.そう思う	3	33%
c.あまり思わない	0	0%
d.思わない	0	0%
計	9	100%



4) 「地域学校協力活動」に協力していくに当たり、課題となることは何ですか。（複数回答可）

回答	回答数	相対度数
c-B.時間が取れない/学校との打ち合わせ	3	33%
b.窓口など段取り、手順がわからない	2	22%
c.時間が取れない（理由なし）	2	22%
a.自分に何ができるかわからない（テーマや方法）	1	11%
c-A.時間が取れない/教材の準備	0	0%
c-C.時間が取れない/授業実施	0	0%
d.その他	4	44%



N = 9

「d. その他」コメント

- ・学校のやる気
- ・コーディネーターの人材不足
- ・学校支援地域本部が設置されていない学校などがまだ多く、学校現場の教員が、このシステムを知らないのではないかな。
- ・費用

3. その他、本日まで参加されてのご意見、ご感想などご自由にご記入ください。

- ・学校への理解が必要。地域の人たちを巻き込むための説明も必要。
- ・県内の教委職員、教員の参加が少なくて申し訳ありませんでした。本日、「やまがた教育の日」イベント等が各地で行われていますので…。
- ・社会教育の重要性が高まっていると感じた。また、実施する団体がこれだけ多いということに驚いた。

※自由記述は主なものを一部抜粋し、文意を損なわない範囲で語句等の加筆修正を行っています。

④地域と学校の連携・協働の推進に向けた民間企業・団体等による教育活動普及啓発映像の制作

映像仕様	DVD 全約7分30秒
タイトル	地域と学校の連携・協働の推進に向けた民間企業・団体等による教育活動 「土曜学習応援団とは」
映像構成	<p>I. 地域学校協働活動</p> <p>II. 土曜学習応援団</p> <p>III. 土曜学習応援団の事例</p> <p>*学習プログラム事例紹介については、2017年2月4日（土）に開催されたフォーラム内でのプログラム内容を撮影</p> <p>事例① 日本電信電話株式会社 「Ichigo Jam を使ってBASICプログラミング」</p> <p>事例② 一般社団法人防災ジオラマ推進ネットワーク 「段ボールジオラマ防災授業」</p> <p>事例③ 株式会社日立製作所 「みんなで考える情報活用の“秘訣”」</p>

《DVD 盤面》



地域学校協働活動推進フォーラム報告書

主催:文部科学省

企画:株式会社キャリアリンク

発行:2017年3月
